

立川の教育

平成26年度版
(2014)



建て替えた第一小学校等複合施設

立川市教育委員会

はじめに

「立川の教育」の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

先行き不透明な経済状況の中、日本は平成23年から人口減少となっており、毎年20から30万人の人口が失われています。また、高齢化率も2013年には25.1%だったものが、2035年には、33.4%になると推計されています。このように少子高齢化が世界最速で進むわが国は大きな時代の転換点にあり、具体的対策が喫緊の課題となっております。一方、教育はグローバル化の進展の中、成熟社会を担う人材の育成という観点から、ますますその重要性が高まっています。

このような中、立川市教育委員会は、本市の教育目標の具現化に向けて、学校、家庭、地域と連携して学校教育、社会教育それぞれの分野で多様な取り組みを展開しています。

平成26年度は、本市の教育にとっても大きな動きのある年となっております。1つは教育施設の拡充です。第一小学校の新校舎は、図書館や地域学習館、学童保育所を合築した本市初めての複合施設として8月に開設します。また、第九小学校は年度末の完成を目指して大規模改修工事に着手します。この他中学校の少人数教室の空調機の設置や、老朽化した諸設備の更新、陸上競技場の実施設計などに取り組んでまいります。2つ目は、平成27年度から始まる第4次長期総合計画の策定に合わせた、学校教育振興基本計画や図書館基本計画、スポーツ振興計画、生涯学習推進計画などの各種計画策定です。市民や専門家などによる検討委員会のご意見を伺いながら、施策の指針となる計画づくりに取り組んでまいります。

また、今年度の学校教育分野では、市民力を生かしたネットワーク型の学校経営のもと、学力・体力向上、特別支援教育の充実に引き続き全校で取り組んでまいります。また、社会教育分野では地区図書館3館への指定管理者の導入や、生涯学習の人材育成の一環として学校ボランティアの育成事業などについても取り組んでまいります。

さて、上記のような事業を進めるにあたりましては、市民の皆さまのご理解とご協力をいただくことが重要であります。そこで、関連するデータや資料も入れて、分かりやすくまとめた「立川の教育」を本年度も発行することとしました。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続き教育委員会へのご指導、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成26年 8 月

立川市教育委員会

教育長 小 町 邦 彦

立川市教育委員会の教育目標

立川市教育委員会は、教育基本法の内容にのっとり、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成と、新しい文化の創造を目指す。

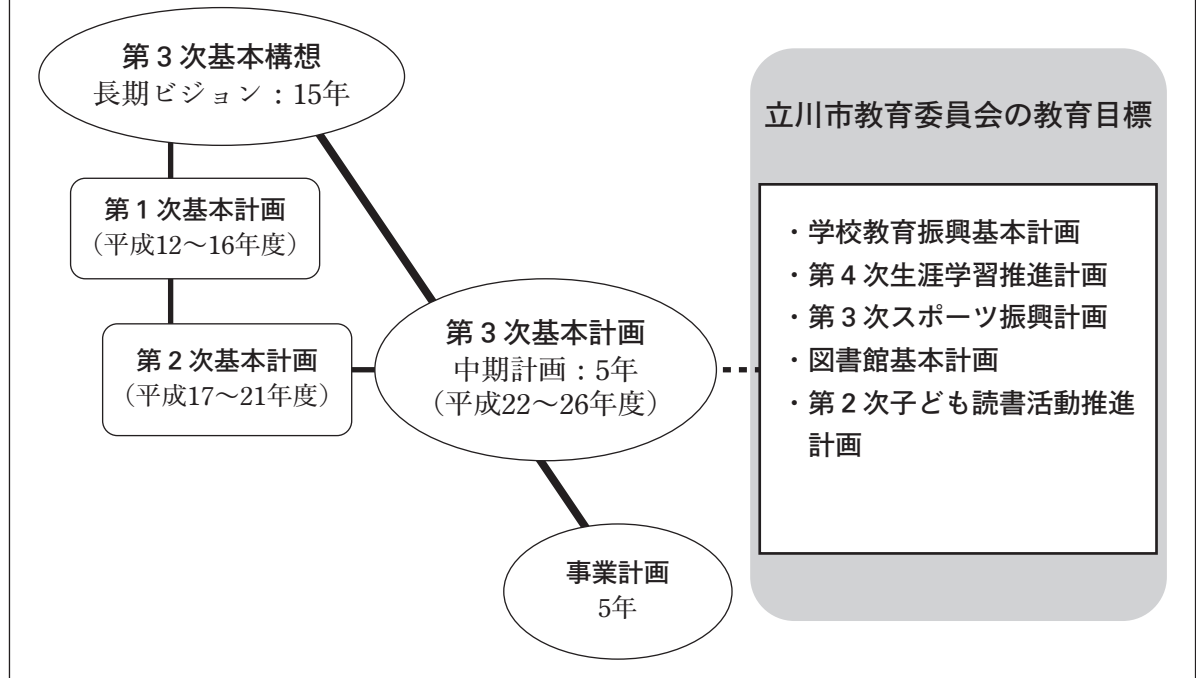
市政の基本理念「心のかよう緑豊かな健康都市立川」の実現のために、生命尊重と人間尊重の精神を基調とし、家庭教育、学校教育及び社会教育の緊密な連携のもとに、すべての市民が生涯を通じて自主的に学び、充実した人生を送ることができる生涯学習社会の実現と、子どもたちが心身ともに健康で知性に富み、道徳心と体力を育み、人間性豊かに成長することを願い

- 生きる力をはぐくみ、確かな力、やさしい心、個を輝かせ、社会のために役立とうとするひとづくり
- いつでも、どこでも、だれでも自由に学ぶひとづくり
- いきいき健康、生涯スポーツを目指すひとづくり
- 歴史や伝統文化を継承し発展させるひとづくり
- 国際社会で主体的に貢献し活躍するひとづくり

に向けた教育を推進する。

(平成24年 3 月21日立川市教育委員会決定)

立川市の計画体系と教育目標のイメージ



目 次

I 教育委員会と教育予算

1. 教育委員会	11
(1) 教育委員会のしくみ	11
(2) 教育委員	11
(3) 歴代教育委員および委員長・教育長	12
① 歴代教育委員	
② 歴代教育委員長	
③ 歴代教育長	
(4) 教育委員会年表	15
(5) 平成25年度教育委員会審議状況	22
(6) 教育委員会表彰	27
(7) 教育委員会組織図	28
(8) 事務分掌	29
(9) 教育委員会職員数	31
2. 平成26年度 教育部の運営方針	32
(1) 学校教育の充実	32
(2) 生涯学習社会の実現	34
(3) スポーツ活動の推進	34
(4) 学習活動の推進	35
3. 平成26年度予算のあらまし	36
① 平成26年度一般会計予算額（歳出）に 占める教育予算額の割合	
② 平成26年度教育予算額（歳出）の内訳	
③ 平成26年度教育予算額（歳出）の対前 年度比較	
④ 教育予算額（歳出）の推移	

II 学校教育

1. 立川市学校教育振興基本計画	41
2. 教育指導	42

(1) 平成26年度学校教育の指針	42
(2) 平成26年度学校別教育目標	47
(3) 教職員研修	49
① 平成26年度立川市学校教育における 「教育課程への対応」に関する事業に ついて	
② 研修事業	
③ 教育研究事業	
(4) 立川市立学校使用教科用図書	54
(5) 教育相談	55
① 教育相談	
② 巡回相談	
③ 適応指導教室	
④ ハートフルフレンドの派遣	
⑤ スクールカウンセラーの配置	
⑥ スクールソーシャルワーカーの派遣	
⑦ 学校と家庭の連携推進事業	
(6) 特別支援教育	56
① 特別支援学級	
② 特別支援教育支援員の配置	
③ 就学・転学相談	
(7) 国際理解教育	58
① 外国人留学生・研修生との交流	
② 市内の外国人学校との交流	
③ 外国語指導助手（ALT）の配置	
④ 通訳協力員の配置	
(8) 情報教育	59
① コンピュータ機器の整備	
② インターネットの活用	
③ 地上デジタル放送対応テレビの整備	
④ 学校ホームページの再構築	
(9) キャリア教育・進路指導	60
① 平成26年度（25年度卒業）中学校課程 ・学科別進学状況	
② 年度別進路状況の推移	

(10)旅行・集団宿泊的行事……………61	(2)中学校給食……………69
①八ヶ岳自然教室	①実施方法
②日光移動教室	②献立
③中学校移動教室	③食材料
④中学校修学旅行	④調理及び配送
(11)立川教育フォーラム……………61	⑤給食費
	⑥利用方法
3. 就学援助……………62	⑦給食実施回数（平成25年度実績）
(1)認定者数の推移……………62	⑧中学校給食の喫食率推移（年度別）
(2)支給費目と金額……………62	(3)衛生管理……………71
	①施設・設備
4. 学校保健……………62	②従事者
(1)主な検診と事業……………62	③食材料
①定期健康診断	④調理・献立
②結核検診	⑤その他
③心臓検診	(4)小学校給食食物アレルギー対応……………72
④尿検査（腎臓病検査）	(5)主要事業……………73
⑤ぎょう虫卵検査	①食教育支援指導事業
⑥就学時健康診断	②学校給食共同調理場整備運営事業
⑦健康努力児童・生徒の表彰	(6)放射性物質の検査と産地公表……………73
⑧歯と口の健康週間児童・生徒ポスター展	
⑨AED（自動体外式除細動器）の設置	8. 学校施設……………73
(2)児童・生徒の体位平均値（平成25年度）……………64	(1)教育環境の整備……………73
(3)平成25年度定期健康診断結果……………65	①校舎建替え
(4)災害共済給付……………65	②校舎大規模改修
①給付件数・金額推移	③体育館大規模改修
②傷病別事故件数推移	④校舎・体育館耐震補強
	⑤プール大規模改修
5. 子どもの安全安心……………66	⑥便所改修
	⑦余裕教室の活用
6. 学校規模適正化……………66	⑧水飲栓直結化
	⑨小学校校庭の芝生化
7. 学校給食……………67	⑩第一小学校建替え事業
(1)小学校給食……………67	⑪小中学校普通教室空調機設置工事
①実施方法	⑫西砂小学校増改築工事
②食材料	(2)学校施設の現況……………76
③給食指導	
④給食費	9. 小・中学校……………77
	(1)小・中学校一覧……………77
	(2)児童・生徒数および学級数……………79

(3) 児童・生徒数の推移	80
(4) 学校職員数	81
(5) 通学区域	82
① 通学区域一覧	
② 指定校変更制度	

Ⅲ 社会教育

1. 社会教育

(1) 社会教育の振興方針	87
① 家庭教育の振興方針	
② 青少年教育の振興方針	
③ 成人教育の振興方針	
④ 高齢者教育の振興方針	
⑤ 市民体育の振興方針	
⑥ 芸術・文化活動の振興方針	
(2) 生涯学習推進計画	89
① 生涯学習施策の目標	
② 施策の体系	
(3) 社会教育関係団体の育成	93
① 社会教育関係団体登録制度	
(4) 生涯学習情報の提供	93
① 生涯学習情報コーナー	
② 生涯学習指導協力者（市民リーダー）登録制度	
③ 生涯学習情報システム	
(5) たちかわ市民交流大学	94
① たちかわ市民交流大学の講座	
② たちかわ市民交流大学講座実施状況（平成25年度）	
(6) 地域学習館	96

I 地域学習館施設

- ① 施設一覧
- ② 平成25年度利用状況
- ③ 夏休み学習室の開放

II 地域学習館事業

- ① 高齢者対象事業
- ② 社会福祉対応事業
- ③ 視聴覚関連事業
- ④ 国際化社会への対応事業

⑤ 環境問題対応事業	
⑥ 平和・人権学習事業	
⑦ 地域活性化講座	
⑧ 家庭教育講座	
⑨ 子ども対象講座	
⑩ パソコン講座	
⑪ 平成25年度に開催されたその他の催し	
(7) 学習等供用施設	105
① 施設一覧	
② 平成25年度利用状況	
(8) 文化財	107
① 指定文化財等	
② 埋蔵文化財の保護・保存	
③ 歴史民俗資料館	
④ 川越道緑地古民家園	

2. 青少年教育

(1) 青少年健全育成市民行動方針	112
(2) 主な青少年健全育成事業	113
① 青少年健全育成市民運動	
② 中学生の主張大会	
③ 子ども・若者自立支援ネットワーク事業	
④ 放課後居場所づくり事業	

3. 社会体育

(1) スポーツ振興計画	115
① 市民力と連携したスポーツの振興	
② ニーズの多様化に対応した新たな事業の展開	
③ 健康づくりの推進	
④ 関連行政分野との連携の強化・協働事業の実施	
⑤ スポーツ施設の利用拡大及び整備・充実	
(2) 体育施設	117
① 施設一覧	
② 平成25年度利用状況	
(3) 体育推進事業	120
① 立川市民体育大会	

②立川スポレクフェスタ	
③立川シティハーフマラソン2014	
④平成25年度に開催されたその他の競技 大会・事業	
⑤各種スポーツ教室	
(4)学校体育施設開放	124
①平成25年度利用状況	
(5)ハヶ岳山荘	125
①施設概要	
②平成25年度利用状況	
4. 図書館	126
(1)図書館施設	127
①施設一覧	
②施設利用時間	
③平成25年度利用状況	
④蔵書冊数	
(2)図書館サービス	131
①図書・視聴覚資料の貸し出し	
②リクエストサービス	
③レファレンスサービス	
④ハンディキャップサービス	
⑤他市図書館との相互利用実施状況	
(3)図書館事業	133
①図書館全体事業	
②図書館別事業	
③図書のリサイクル事業	
④小・中学校向け利用案内等	
⑤小・中学校との連携	
⑥職場体験（職場訪問含む）等	
⑦図書ボランティア支援等	
立川市の教育施設所在略図	136

I 教育委員会と教育予算



1. 教育委員会

(1) 教育委員会のしくみ

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、教育に関する事務を処理するために、地方公共団体の長から独立して設置された合議制の執行機関です。

立川市教育委員会は市長が市議会の同意を得て任命した5人の委員で組織されており、委員の任期は4年。委員長は委員の中から選挙によって選ばれ、会議を主宰し委員会を代表します。また、委員会の権限に属するすべての事務を管理執行するために、委員の中から教育長を選出し、任命します。

教育委員会の会議は定例会と臨時会があり、定例会は原則として毎月第2・第4木曜日に、臨時会は必要に応じて開催されます。

(2) 教育委員



福田委員長



田中委員(委員長職務代理者)



平山委員



伊藤委員



小町教育長

(平成26年8月1日現在)

職 名	氏 名	住 所	任 期
委 員 長	ふく だ いっ べい 福 田 一 平	国分寺市北町	自23. 12. 25 至27. 12. 24
委 員 長 職務代理者	た なか けん いち 田 中 健 一	立川市砂川町	自24. 12. 24 至28. 12. 23
委 員	ひら やま いづ み 平 山 い づ み	立川市砂川町	自23. 12. 25 至27. 12. 24
委 員	い とう のり はる 伊 藤 憲 春	立川市柴崎町	自24. 12. 24 至28. 12. 23
教 育 長	こ まち くに ひこ 小 町 邦 彦	府中市府中町	自24. 11. 21 至28. 11. 20

(任期は委員任期)

(3) 歴代教育委員および委員長・教育長

立川市教育委員会の教育委員については、旧教育委員会法の規定に基づき、昭和25年11月10日に、また、旧砂川町教育委員会の教育委員については、昭和25年10月5日にそれぞれ第1回の選挙を行い、公選制の委員を選出。その後、昭和31年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の施行によって、昭和31年10月1日から、市長、町長の任命制の委員となりました。昭和38年5月1日の立川市・砂川町の合併により、旧砂川町委員は、砂川地区教育行政諮問委員（4名）として、昭和40年3月まで存置され、昭和38年6月25日、1名の委員が任期満了となったので、この機会に砂川地区から委員を選出して、現在に至っています。

①歴代教育委員

ア 立川市教育委員

氏 名	在 職 期 間	氏 名	在 職 期 間
鈴木 貞 治	S 25. 12. 1～S 31. 9. 30	塚 田 清	S 47. 12. 18～S 51. 12. 17
村 瀬 正 成	S 25. 12. 1～S 31. 9. 30	荒 井 久 義	S 38. 6. 26～S 42. 6. 25
	S 32. 10. 3～S 36. 10. 2		S 42. 6. 26～S 46. 6. 25
	S 36. 10. 3～S 40. 10. 2		S 46. 6. 26～S 50. 6. 25
	S 41. 9. 28～S 45. 9. 27		
野 田 芳 作	S 25. 12. 1～S 31. 9. 30	天 谷 貞 三	S 39. 3. 26～S 43. 3. 25
	S 31. 10. 1～S 32. 10. 1		S 43. 3. 29～S 47. 3. 28
関 球 子	S 25. 12. 1～S 27. 11. 30	榎 戸 辰 二	S 45. 9. 30～S 49. 9. 29
高 島 豊 作	S 25. 12. 1～S 26. 5. 24	植 田 栄 一	S 45. 9. 30～S 47. 5. 1
平 三 郎	S 26. 5. 25～S 27. 6. 22		S 50. 11. 5～S 51. 5. 1
馬 場 操	S 27. 6. 23～S 28. 6. 10		S 51. 5. 2～S 55. 5. 1
青 木 千 尋	S 27. 12. 1～S 31. 9. 30	砂 川 昌 平	S 47. 5. 2～S 50. 6. 4
大 路 権次郎	S 28. 6. 11～S 29. 6. 3	五十嵐 栄 治	S 47. 12. 18～S 51. 12. 17
浜 田 禎 三	S 29. 6. 4～S 30. 4. 30		S 51. 12. 23～S 55. 12. 22
早稲田 英 章	S 30. 5. 13～S 31. 9. 30		S 55. 12. 23～S 59. 12. 22
木 村 政 長	S 31. 10. 1～S 32. 10. 2		S 59. 12. 24～S 62. 5. 26
	S 31. 10. 1～S 32. 10. 2	望 月 イ ト	S 50. 6. 26～S 54. 6. 25
中 村 富 雄	S 31. 10. 1～S 32. 10. 2		S 54. 7. 9～S 58. 7. 8
西 田 稔	S 31. 10. 1～S 32. 7. 25	宮 崎 紵	S 50. 6. 26～S 54. 6. 25
青 木 義 雄	S 31. 10. 1～S 35. 9. 30		S 54. 7. 9～S 58. 7. 8
	S 35. 10. 1～S 39. 9. 30	櫻 井 喬	S 51. 12. 23～S 55. 12. 22
	S 39. 10. 10～S 43. 10. 9		S 55. 12. 23～S 59. 12. 22
	S 43. 10. 10～S 45. 9. 10	比留間 明	S 55. 9. 6～S 59. 9. 5
山 口 福太郎	S 32. 10. 3～S 35. 10. 2		S 59. 9. 7～S 63. 9. 6
三 科 浩 三	S 32. 10. 3～S 34. 10. 2	小牧 久礼三郎	S 58. 10. 8～S 61. 7. 31
武 田 一 郎	S 32. 10. 3～S 33. 10. 2	清 水 一 郎	S 58. 10. 8～S 62. 10. 7
及 川 啓次郎	S 33. 10. 3～S 37. 10. 2		S 62. 10. 14～H 3. 10. 13
鈴木 辰 三	S 34. 12. 22～S 38. 12. 21		H 3. 10. 14～H 7. 10. 13
守 重 芳	S 35. 10. 24～S 36. 12. 4	笠 井 照 保	S 59. 12. 24～S 63. 12. 23
塚 田 清	S 37. 9. 28～S 39. 10. 23		S 63. 12. 24～H 4. 12. 23
	S 39. 10. 24～S 43. 10. 23		H 4. 12. 24～H 8. 12. 23
	S 43. 10. 24～S 47. 10. 23		H 8. 12. 24～H 12. 12. 23

氏 名	在 職 期 間	氏 名	在 職 期 間
濱 野 成 生	S 61. 10. 6～S 62. 10. 7	大 澤 祥 一	H 12. 11. 21～H 16. 11. 20
	S 62. 10. 14～H 3. 3. 31		H 16. 11. 21～H 20. 6. 25
志 村 順 子	S 62. 11. 14～S 63. 12. 23	森 谷 健 之	H 12. 12. 24～H 14. 3. 14
	S 63. 12. 24～H 4. 12. 23	村 田 有 弘	H 14. 5. 28～H 16. 12. 23
	H 4. 12. 24～H 8. 12. 23	小 林 章 子	H 15. 12. 18～H 19. 12. 17
	H 8. 12. 24～H 12. 12. 23	古 木 光 義	H 16. 12. 24～H 20. 12. 23
	H 12. 12. 24～H 16. 12. 23	牧 野 征 夫	H 16. 12. 24～H 20. 12. 23
中 島 寛	S 63. 11. 21～H 3. 12. 6	宮 田 由 香	H 19. 12. 25～H 23. 8. 31
今 井 弘	H 3. 6. 27～H 3. 10. 13	中 村 祐 治	H 19. 12. 25～H 23. 12. 24
	H 3. 10. 14～H 7. 10. 13	澤 利 夫	H 20. 6. 26～H 20. 11. 20
	H 7. 10. 14～H 11. 10. 13		H 20. 11. 21～H 24. 11. 20
	H 11. 10. 14～H 15. 10. 13	古 岡 邦 人	H 20. 12. 24～H 24. 12. 23
小 山 祐 三	H 3. 12. 26～H 4. 11. 20	田 中 健 一	H 20. 12. 24～H 24. 12. 23
	H 4. 11. 21～H 8. 11. 20		H 24. 12. 24～
	H 8. 11. 21～H 12. 3. 31	平 山 いづみ	H 23. 10. 27～H 23. 12. 24
中 野 隆 右	H 7. 12. 7～H 11. 12. 6		H 23. 12. 25～
藤 本 靖	H 11. 12. 22～H 15. 12. 21	福 田 一 平	H 23. 12. 25～
	H 15. 12. 22～H 19. 12. 21	小 町 邦 彦	H 24. 11. 21～
大 澤 祥 一	H 12. 4. 1～H 12. 11. 20	伊 藤 憲 春	H 24. 12. 24～

イ 旧砂川町教育委員

氏 名	在 職 期 間	名 前	在 職 期 間
宮崎 伝左エ門	S 27. 10. 6～S 30. 4. 20	松 本 一 晴	S 31. 10. 1～S 33. 9. 30
宮 野 卯 一	S 27. 10. 6～S 31. 9. 30	鈴 木 勇	S 31. 10. 1～S 32. 9. 30
園 部 半 三	S 27. 10. 6～S 31. 9. 30	島 田 平四郎	S 32. 10. 1～S 36. 9. 30
天 城 仁 朗	S 27. 10. 6～S 31. 9. 30		S 36. 10. 1～S 37. 3. 31
荒 井 義 美	S 27. 10. 23～S 28. 10. 31	中 丸 長 蔵	S 33. 1. 29～S 35. 9. 30
内 野 茂 雄	S 28. 11. 1～S 30. 4. 30	小谷野 甲 子	S 33. 10. 1～S 37. 3. 31
宿 谷 孫四郎	S 30. 5. 12～S 31. 9. 30	砂 川 昌 平	S 35. 12. 21～S 38. 3
小 林 英 嗣	S 31. 10. 1～S 32. 11. 5	大 道 祖 来	S 35. 12. 21～S 38. 4. 30
網 代 孝	S 31. 10. 1～S 35. 9. 30	吉 沢 浩	S 37. 4. 30～S 37. 9. 30
	S 31. 10. 1～S 34. 9. 30		S 37. 10. 1～S 38. 4. 30
砂 川 ち よ	S 34. 11. 24～S 38. 4. 30	須 崎 志 摩	S 37. 4. 30～S 38. 4. 30

ウ 立川市砂川地区教育行政諮問委員

氏 名	在 職 期 間	氏 名	在 職 期 間
砂 川 ち よ	S 38. 5. 1～S 40. 3. 31	須 崎 志 摩	S 38. 5. 1～S 40. 3. 31
吉 沢 浩	S 38. 5. 1～S 40. 3. 31	大 道 祖 来	S 38. 5. 1～S 40. 3. 31

②歴代教育委員長


氏 名	在 職 期 間
鈴木 貞 治	S 25. 12. 1～S 28. 6. 17
野 田 芳 作	S 28. 6. 18～S 32. 10. 1
村 瀬 正 成	S 32. 10. 3～S 40. 10. 2
塚 田 清	S 40. 11. 26～S 41. 11. 25
天 谷 貞 三	S 41. 11. 26～S 42. 11. 25
荒 井 久 義	S 42. 11. 26～S 47. 6. 29
榎 戸 辰 二	S 47. 6. 30～S 49. 9. 29
五十嵐 栄 治	S 49. 12. 6～S 60. 12. 26
清 水 一 朗	S 60. 12. 27～H 7. 10. 13
笠 井 照 保	H 7. 10. 26～H 9. 12. 23
志 村 順 子	H 9. 12. 24～H 12. 12. 23 H 12. 12. 25～H 16. 12. 23
藤 本 靖	H 16. 12. 24～H 19. 12. 21
古 木 光 義	H 19. 12. 25～H 20. 12. 23
中 村 祐 治	H 20. 12. 24～H 23. 12. 23
福 田 一 平	H 23. 12. 26～


③歴代教育長

氏 名	在 職 期 間
石 川 積	S 25. 12. 1～S 30. 4. 26
青 木 義 雄	S 30. 4. 30～S 45. 9. 10
植 田 栄 一	S 45. 9. 30～S 47. 5. 1 S 50. 11. 5～S 55. 5. 1
砂 川 昌 平	S 47. 5. 2～S 50. 6. 4
比留間 明	S 55. 9. 6～S 63. 9. 6
中 島 寛	S 63. 11. 21～H 3. 12. 6
小 山 祐 三	H 3. 12. 26～H 12. 3. 31
大 澤 祥 一	H 12. 4. 1～H 20. 6. 25
澤 利 夫	H 20. 6. 26～H 24. 11. 20
小 町 邦 彦	H 24. 11. 21～

(4) 教育委員会年表

年 月	事 項	年 月	事 項
明治 3. 3.	・普済寺に郷学校（現一小）が開設される	昭和 4. 9.	・立川第一尋常小学校（現二小）が開校
5. 5.	・砂川 8 番組に共同学舎（現八小）が創立される	10. 4.	・立川青年学校が設立される
	・流泉寺境内に西砂川小学校（現九小）が開設される	12. 1.	・立川第二尋常小学校（現三小）が開校
6.	・砂川 5 番組の私有地に私塾が開かれる		第三小学校（昭和12年）
8.	・郷学校が耦願学舎（現一小）に改称		
7.	・砂川 5 番組の私塾が中砂川小学校となる		
2.	・共同学舎は砂川 9 番組に校舎を新築し移転し東砂川小学校となる	15. 11.	・立川第三尋常小学校（現四小）、立川第四尋常小学校（現五小）が開校
8. 3.	・耦願学舎が柴崎学校（現一小）に改称、普済寺から移転	16. 4.	・立川尋常高等小学校を立川国民学校（現一小）、立川第一尋常小学校を立川第一国民学校（現二小）、立川第二尋常小学校を立川第二国民学校（現三小）、立川第三尋常小学校を立川第三国民学校（現四小）、立川第四尋常小学校を立川第四国民学校（現五小）に改称
14. 4.	・柴崎村が立川村に改称したことにより、柴崎学校が立川学校（現一小）に改称		・砂川尋常高等小学校を砂川国民学校（現八小）、西砂川尋常高等小学校を西砂川国民学校（現九小）に改称
15.	・中里新田の林泉寺に西砂川学校の分校（現西砂小の前身）が開設される	19. 4.	・全市学童疎開始まる
20. 4.	・立川学校が高等科を併置し、立川尋常高等小学校（現一小）に改称		・立川国民学校を柴崎国民学校（現一小）、立川第一国民学校を曙国民学校（現二小）、立川第二国民学校を錦国民学校（現三小）、立川第三国民学校を富士見国民学校（現四小）、立川第四国民学校を高松国民学校（現五小）に改称
23. 10.	・西砂川小学校を西砂川尋常小学校（現九小）に改称	21. 1.	・小学校で学校給食を開始
25. 3.	・立川尋常高等小学校が高等科を廃し、立川尋常小学校（現一小）に改称	22. 4.	・立川第一中学校が都立第二中学校内に立川第二中学校が曙小学校内に開校
28. 4.	・立川尋常小学校が再び高等科を併置し、立川尋常高等小学校（現一小）に改称		・柴崎国民学校を柴崎小学校（現一小）、曙国民学校を曙小学校（現二小）、
33. 7.	・中砂川学校と東砂川学校が合併し、砂川尋常小学校（現八小）となる		
9.	・砂川尋常小学校を砂川尋常高等小学校（現八小）に、西砂川尋常小学校を西砂川尋常高等小学校（現九小）に改称		
42. 2.	・立川実業補修学校（後の立川青年学校）が設立認可される		
大正 3. 10.	・立川尋常高等小学校が現在の一小の地に校舎を新築し、移転		
8. 10.	・立川氏館跡が都の史跡に指定される		
11. 3.	・立川村教育会が発足		

年 月	事 項	年 月	事 項
昭和22. 4.	錦国民学校を錦小学校（現三小）、富士見国民学校を富士見小学校（現四小）、高松国民学校を高松小学校（現五小）に改称	昭和26. 6.	・立川第三中学校の新校舎が現在の七小の地に完成し、移転
	・砂川国民学校を砂川小学校（現八小）、西砂川国民学校を西砂川小学校（現九小）に改称	27. 5.	・立川第三中学校に夜間部を併設
	・砂川中学校（現四中）が西砂川小学校内に開校、砂川小学校内に分校を置く	8.	・小学校の臨海学校（秋谷海岸）始まる
11.	・市民憩いの家（公民館の前身）が開設される	28. 4.	・柴崎小学校を第一小学校、曙小学校を第二小学校、錦小学校を第三小学校、富士見小学校を第四小学校、高松小学校を第五小学校、羽衣小学校を第六小学校に改称
23. 4.	・市立新制高校（定時制・現北多摩高校）が柴崎小学校内に開校。24年に一中内に移り、26年に全日制となり立川短大内に移る	7.	・中学校の林間学校（山中湖）始まる
	・各学校にP T A発足	11.	・普済寺「六面石幢」が国宝に指定される
6.	・砂川中学校が砂川5番に校舎を新築移転、分校も松中地区に新築	29. 4.	・小学校特殊学級が初めて一小内に設置される
	・市民憩いの家は、市に移管され、立川市公民館に改称		・立川公園野球場を開設
		30. 3.	・「普済寺釈迦牟尼坐像」「普済寺保存の板碑群」「八幡神社本地仏像」「満願寺聯」「柴崎分水訴願状」を市指定有形文化財に、「大和田遺跡」「八幡神社本殿跡」「満願寺跡」「柴崎分水」を市指定史跡に、「八幡神社大ケヤキ」を市指定天然記念物に指定
	立川市公民館（昭和30年頃）	31.10.	・市長の任命による教育委員会が発足
24. 3.	・立川第一中学校が柴崎町に、立川第二中学校が曙町に校舎を新築移転		・北多摩高校を都へ移管
10.	・第1回全国地方都市教育長並びに教育課長会議が立川市で開かれる	32. 3.	・各小学校の防音改築工事始まる
25. 4.	・羽衣小学校（現六小）が開校	33. 1.	・立川第三中学校が羽衣町に移転、中学の特殊学級も開設される
11.	・教育委員会設置、初の教育委員選挙を執行（定数4人に8人が立候補）	3.	・第七小学校が三中あとに開校
12.	・市教育委員会が発足、第1回委員会を開会し、鈴木貞治を委員長に推薦	34. 4.	・教育研究室を市役所内に開設
26. 2.	・小学校で完全給食を実施		・第四小学校に北多摩地区科学センターが設置される
4.	・立川第三中学校が至誠学舎内に開校	7.	・臨海学校が岩井海岸へ移る
		10.	・立川公園陸上競技場を開設
		38. 5.	・立川市と砂川町の合併により、砂川町立砂川中学校を立川市立砂川中学校（現四中）、砂川町立砂川小学校を立川市立砂川第一小学校（現八小）、砂川町立西砂川小学校を立川市立砂川第二小学校（現九小）に改称

年 月	事 項	年 月	事 項
昭和38. 5.	・砂川町公民館を立川市公民館砂川分館に改称	昭和41. 9.	・けやき台小学校が開校
38. 6.	・「諏訪神社獅子頭及び太鼓胴」を市指定有形文化財に指定	42. 4.	・西砂小学校が九小分校より独立開校
39. 4.	・練成館を開設	9.	・「獅子舞」を市無形民俗文化財に指定
	・砂川中学校を砂川第一中学校（現四中）に改称	12.	・南富士見小学校が開校
	・砂川中学校の分校は廃止され、砂川町に砂川第二中学校（現五中）が独立開校	43. 6.	・見影橋公園（野球場兼陸上競技場）を開設
	・砂川第一小学校に分校（後の十小）を設置	7.	・移動図書館「大空号」が巡回開始
7.	・立川公園水泳場開設	9.	・教育相談室が第三小学校内に移転
8.	・「砂川分水・柴崎分水取水口」「蚕影神社跡」「巴河岸跡」「残堀川旧水路跡」を市指定史跡に指定	44. 1.	・第一学校給食共同調理場が完成し、小学校5校（九小・十小・けやき台小・西砂小・南富士見小）でセンター方式の学校給食始まる
12.	・全中学校でミルク給食始まる	12.	・岩井臨海施設の廃止決める
40. 4.	・砂川第一小学校を第八小学校、砂川第二小学校を第九小学校、砂川第一小学校分校を第十小学校、砂川第一中学校を立川第四中学校、砂川第二中学校を立川第五中学校に改称	45. 3.	・第一小学校、創立100周年記念式典を挙る
	・第十小学校が第八小学校内に開校	4.	・南砂小学校が開校
5.	・立川第四中学校が校舎を新築移転、あとに第十小学校が移る	11.	・「諏訪神社本殿附棟札」「旧八幡神社本殿附棟札」「阿豆佐味天神社本殿附棟札」「公私日記」「勝坂式土器」を市指定有形文化財に指定
7.	・八ヶ岳山荘（旧第一山荘）を開設、同時に山荘を利用した中学生の林間学校を始める	46. 2.	・立川市公民館改築、図書室を設置
		4.	・幸小学校、若葉小学校、松中小学校が開校
	八ヶ岳第一山荘（取壊済）での林間学校	6.	・心身障害児指導室が福祉会館に開設される
11.	・「銅鉦鼓」が都有形文化財に指定される	8.	・大和田遺跡の発掘調査始まる（第3次）
41. 4.	・市青少年問題協議会が「家庭の日」（毎月第2日曜日）を設ける	10.	・公民館砂川分館を幸分館に改称
		47. 4.	・大山小学校が開校
		48. 3.	・公民館本館を中央公民館に改称
		4.	・多摩川緑地野球場を開設
		6.	・砂川公民館が新築開館、図書室を設置
		7.	・見影橋公園水泳場を開設
		49. 7.	・立川第六中学校が開校
		50. 5.	・生活指導相談員制度が発足、三小に相談室を設置
		7.	・山梨県清里高原にハイキングコースを設定
		9.	・第二学校給食共同調理場を開設
		51. 3.	・「柴崎村野帳附柴崎村絵図」「立川村十二景」を市指定有形文化財に指定

年 月	事 項	年 月	事 項
昭和51. 7.	・立川第二中学校で初の校庭スポーツ開放を開始	昭和61. 3.	・第5回立川マラソンを開催。ハーフマラソンが日本陸連の公認となる
52. 2.	・柏小学校が開校	4.	・泉町野球場を開設
5.	・初の五月祭を中央公民館で開催	5.	・若葉会館が開館
53. 4.	・立川第七中学校、立川第八中学校、多摩川小学校が開校	11.	・若葉図書館が開館
7.	・立川市図書館設置。公民館図書室（柴崎・砂川・幸）と移動図書館を図書館へ移管	62. 5.	・教育委員会事務局が民間ビル（中村LKビル）に移転
	・西砂図書館が開館		・こぶし会館が開館
	・西砂公民館が開館	7.	・幸図書館が開館
54. 1.	・多摩川図書館が開館	8.	・一番町少年野球場を開設
4.	・立川第九中学校が開校	63. 6.	・羽衣中央会館が開館
	・中里野球場を開設	7.	・泉町運動場庭球場・ゲートボール場を開設
11.	・第九小学校が創立100周年記念式典を挙行	8.	・大町市で初めてのふるさと体験交流を実施
55. 3.	・市民体育館が開館		・外国人英語指導制度を導入
4.	・高松公民館が開館	12.	・全図書館にブックポストを設置
	・西砂庭球場を開設	平成元. 4.	・中学校情緒障害（登校拒否）生徒受入学級を開設
6.	・高松図書館が開館	6.	・天王橋会館が開館
12.	・市教育委員会発足30周年で記念講演会開く	10.	・公民館4館にパソコンルームを開設
56. 9.	・第1回心身障害者スポーツ大会を開催	12.	・「小林家住宅」を市指定有形文化財に指定
57. 3.	・第1回立川マラソンを開催	2. 6.	・幸公民館が開館
7.	・「多摩川魚撈具」を市指定有形民族文化財に指定	7.	・柴崎会館が開館
58. 1.	・練成館に相撲場を開設	3. 3.	・「砂川十番組大のぼり」を市指定有形文化財に指定
4.	・上砂川小学校が開校	7.	・ハヶ岳山荘本館・体育館等を開設
5.	・滝ノ上会館が開館		・歴史民俗資料館、体験学習室等を増築
7.	・こんぴら橋会館が開館	4. 5.	・小学校のハヶ岳自然教室を始める
59. 4.	・緑町運動広場を開設	8.	・生涯学習推進計画を策定
5.	・高松会館が開館	9.	・学校週5日制がスタート
60. 7.	・教育相談室が錦地域センター内に移転	10.	・市民体育館を泉市民体育館に改称
	・錦公民館が開館		・多摩川図書館屋外閲覧所を開設
	・ハヶ岳第二山荘（現在の宿泊棟）を開設	5. 2.	・柴崎市民体育館を開館
8.	・第1回中学校総合体育大会を開催	5.	・教育委員会事務局が民間ビル（錦町秀栄ビル）に移転
12.	・歴史民俗資料館が開館	6.	・さかえ会館が開館
	・錦図書館が開館	9.	・社会教育関係団体登録制度スタート
		10.	・川越道緑地古民家園が開園

年 月	事 項	年 月	事 項
平成 5. 10.	・中里多目的運動広場を開設	平成13. 2.	挙 行
6. 2.	・図書館 5 館に蔵書検索端末機を設置 ・諏訪神社の本殿等が全焼	7.	・開かれた教科書採択、市民参加で実施 ・学校規模適正化地域協議会設置 ・我が国初の狂牛病（B S E）感染牛 が発見され、牛肉・牛加工品の学校 給食使用自粛
7. 1.	・中央図書館が開館	9.	・「立川氏文書」を市指定有形文化財 に指定
2.	・西砂会館が開館 ・学校週 5 日制、月 2 回実施 ・普済寺が全焼	14. 3.	・池田小学校児童殺傷事件に伴い、安 全対策として全校に監視カメラ設置
8. 7.	・いじめ相談カードを配布	4.	・学校週 5 日制完全実施 ・中学校給食全校で実施
9. 2.	・体育施設電話予約システムスタート	15. 1.	・小・中学校全校の校舎、体育館の耐 震診断が終了
3.	・「普済寺釈迦牟尼坐像」焼失のため 指定解除	4.	・小学校 1 校、中学校 4 校で二学期制 を導入 ・学校指定変更の条件緩和
6.	・立川公園新堤防運動広場を開設	6.	・教育情報紙「たち」創刊
10.	・中学校給食の試行を開始 ・移動図書館廃止 ・「諏訪神社本殿附棟札」「八幡神社 本殿附棟札」焼失のため指定解除	8.	・「玉川上水」が指定史跡に指定される
11.	・立川市公民館が開設50周年迎える ・砂川中央地区北野球場・多目的運動 広場を開設	12.	・教育委員会委員に保護者委員の公募 を実施
10. 2.	・C A T V 双方向通信実験を開始	16. 3.	・「旧梅田診療所」が国登録有形文化 財に登録される
3.	・立川市立学校適正規模等審議会答申	4.	・南富士見小学校、多摩川小学校を廃 し、新生小学校を開校 ・小学校 3 年生以上の全学級で算数の 少人数指導を実施 ・小学校 1 年生31人以上の学級に学校 生活協力員を派遣
4.	・教育委員会事務局組織の改正（2 部 制の廃止）	17. 1.	・立川教育フォーラムを開催
6.	・適応指導教室「おおぞら」を開設	4.	・中学校の全校で二学期制を導入 ・中学校の全学級で数学の少人数指導 を実施 ・学校教育サポートセンター準備室を 開設
11.	・中央公民館全国優良公民館表彰受賞 ・砂川中央地区支所前庭球場・多目的 運動広場・ゲートボール場を開設	9.	・適応指導教室「たまがわ」を開設
11. 3.	・歴史民俗資料館常設展示室模様替え ・緑町運動広場を廃止	18. 3.	・昭島市と共催で「第25回立川・昭島 マラソン」を開催
4.	・砂川中央地区支所東野球場・ゲート ボール場を開設	4.	・第七小学校に言語障害学級「ことば の教室」を開設
9.	・インターネットを全校に導入		
12. 4.	・上砂図書館、上砂会館が開館 ・中学校給食本格実施 ・「中野家住宅」が国登録有形文化財 に登録される		
6.	・第 2 次生涯学習推進計画を策定		
11.	・立川市立学校規模適正化実施方針を 策定		
13. 2.	・第八小学校、創立100周年記念式典を		

年 月	事 項	年 月	事 項
平成18. 4.	<ul style="list-style-type: none"> ・松中小学校に情緒障害学級「はらっぱ学級」を開設 ・錦町庭球場・フットサル場を開設 ・見影橋公園水泳場を廃止 	平成21. 7.	る
10.	<ul style="list-style-type: none"> ・学習等供用施設に指定管理者制度導入 	22. 3.	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金等を活用し、全校に地上デジタル放送対応テレビ設置
19. 4.	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育サポートセンターを開設 ・特別支援教育ヘルプデスクを開設 ・特別支援教育の実施 ・生涯学習推進センターを設置 	4.	<ul style="list-style-type: none"> ・柴崎市民体育館へ指定管理者制度を導入
9.	<ul style="list-style-type: none"> ・たちかわ市民交流大学情報誌「きらり・たちかわ」創刊 	5.	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会が市役所新庁舎（泉町）へ移転 ・「教育センター」を開設 ・第4次生涯学習推進計画を策定
10.	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館を廃止、新たに地域学習館として開設 ・「たちかわ市民交流大学」を開講 	6.	<ul style="list-style-type: none"> ・幸・錦図書館へ指定管理者制度を導入 ・地域学習館運営協議会発足
20. 3.	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育報告会を開設 ・生涯学習情報システムを導入 	9.	<ul style="list-style-type: none"> ・「スクールソーシャルワーカー」の導入
4.	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省「人権教育総合推進地域事業」の地域指定 ・「スクールインターンシップ」の導入 ・「就学支援シート」の実施 ・見影橋公園ミニ・スポーツ施設を開設 	10.	<ul style="list-style-type: none"> ・砂川学習館に立川市砂川地域歴史と文化の資料コーナーを開設
5.	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校に特別支援教育支援員を配置 	12.	<ul style="list-style-type: none"> ・市指定史跡「巴河岸跡」「残堀川旧水路跡」「柴崎分水・砂川分水取入口」の指定を解除 ・新学校給食共同調理場（仮称）整備運営事業の落札者決定
7.	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校全校に学校図書館支援指導員を配置 	23. 3.	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校全校の校舎、体育館の耐震補強工事が終了
10.	<ul style="list-style-type: none"> ・新生小学校の運動場を芝生化 	4.	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーを小学校8校に配置
12.	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進イベントを開催 	8.	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校全校に学校図書館システム設置が完了
21. 3.	<ul style="list-style-type: none"> ・立川市教育委員会の点検・評価を実施 ・「たちかわ中央公園スケートパーク」を開設 ・地域学習館運営協議会準備会発足 	9.	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校地上デジタル放送対応工事が終了 ・小中学校普通教室に空調機設置工事が完了
4.	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校部活動選択による指定校変更制度開始 ・ハヶ岳山荘に指定管理者導入 	24. 3.	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標を改定 ・立川シティハーフマラソン2012を開催 ・小林家住宅母屋北・東面屋根の茅を葺き替え ・中学校地上デジタル放送対応工事が終了
7.	<ul style="list-style-type: none"> ・「旧石井家住宅主屋・長屋門・土蔵」を市指定有形文化財に指定。木造大日如来坐像が重要文化財に指定され 	4.	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育課の設置 ・立川第三中学校に情緒障害等通級指導学級を開設 ・全中学校において、三学期制による教育課程を編成、実施 ・向郷遺跡で本発掘調査を実施。
		5.	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進研究校を小学校2校、中学校1校に指定

年 月	事 項	年 月	事 項
平成24.7~8.	・ 小学校の通学路における緊急合同点検を実施		
24. 8.	・ 中学校全校に学校図書館システム設置が完了		
10.	・ 第三小学校、第四小学校の運動場を芝生化		
11.	・ たちかわ市民交流大学開講 5 周年イベントを開催		
12.	・ 特別支援教育課が子ども未来センター（錦町）へ移転		
25. 2.	・ 生涯学習情報システムに子ども未来センターを追加		
3.	・ 「立川市における小学校の学校適正規模の基本的考え方」を決定 ・ 「砂川村野取反別帳附砂川村絵図」「柴崎村絵図」「砂川村絵図」「向郷遺跡環状墓群出土の遺物」「須崎家内蔵」を市文化財に指定		
4.	・ 学力向上推進研究校を小学校 4 校、中学校 2 校に指定 ・ 西砂・高松・若葉図書館へ指定管理者制度を導入 ・ 第一学校給食共同調理場、第二学校給食共同調理場を廃止し、学校給食共同調理場を開設 ・ 指定校変更制度(隣接校希望)を改正		
6.	・ 適応指導教室「たまがわ」が錦学習館（錦町）へ移転		
7.	・ 図書館システム更新・ I C 機器（自動貸出機・自動返却機等）導入		
26. 2.	・ 国立市図書館との相互利用開始		
4.	・ 特別支援教育実施計画を策定 ・ 第八小学校に通級指導学級を新設 ・ 西砂小学校校舎増築し、運用開始 ・ 泉市民体育館へ指定管理者制度を導入		
5.	・ 中学校に学習支援員を派遣 ・ 昭島市図書館及び武蔵村山市図書館との相互利用開始		

(5) 平成25年度教育委員会審議状況

会議名・月日	付 議 案 件	結果
第7回定例会 4月11日(木)	議案 (1) 議案第16号 専決処分について(立川市教育委員会職員の勤務時間等に関する規程の一部を改正する規程)	可決
	(2) 議案第17号 教育委員会表彰について	可決
	協議 (1) 教育委員会の点検・評価について	
	報告 (1) 立川市職員の人事異動について	
	(2) 平成25年第1回立川市議会定例会報告について	
	(3) 平成25年度児童・生徒数及び学級数について	
	(4) 特別支援教育実施計画の策定について	
	(5) 平成24年度教育委員会事業後援の概要について	
	(6) 図書館の臨時休館及び新サービスの開始について	
第8回定例会 4月25日(木)	議案 (1) 議案第18号 教育委員会点検・評価の基本方針について	可決
	(2) 議案第19号 図書館条例施行規則の一部改正方針について	可決
	報告 (1) 就学相談の第2土曜日の実施について	
	(2) 中学校給食アンケート調査について	
	(3) 立川公園陸上競技場基本計画の策定について	
	(4) 図書館新サービスの内容について	
第9回定例会 5月16日(木)	協議 (1) 教育委員会の点検・評価について	
	(2) 体罰問題に関する対応について	
第10回定例会 5月30日(木)	議案 (1) 議案第20号 立川市立学校管理運営規則の一部を改正する規則について	可決
	協議 (1) 教育委員会の点検・評価について	
	報告 (1) 教育部の6月補正予算について	
	(2) 公益社団法人 立川市シルバー人材センターへの感謝状贈呈について	
第11回定例会 6月6日(木)	議案 (1) 議案第21号 立川市社会教育委員の委嘱について	可決
	(2) 議案第22号 立川市図書館条例施行規則の全部を改正する規則について	可決

会議名・月日	付 議 案 件	結果
	(3) 議案第23号 専決処分について（教育財産の用途廃止について）	可決
	報告 (1) 今年度の小・中学校経営計画について	
第12回定例会 6月27日(木)	議案 (1) 議案第24号 立川市教育委員会特別支援教育就学奨励費規則の一部を改正する規則について	可決
	協議 (1) 教育委員会の点検・評価について	
	(2) 図書館の臨時休館について	
第13回定例会 7月11日(木)	議案 (1) 議案第25号 立川市地域学習館条例施行規則の一部を改正する規則について	可決
	(2) 議案第26号 立川市市民体育館条例施行規則の一部を改正する規則について	可決
	(3) 議案第27号 立川市練成館条例施行規則の一部を改正する規則について	可決
	(4) 議案第28号 立川市運動場条例施行規則の一部を改正する規則について	可決
	(5) 議案第29号 立川市スポーツ推進審議会委員の任命について	可決
	報告 (1) 6月議会報告について	
	(2) 教育委員会の点検・評価について	
第14回定例会 7月25日(木)	議案 (1) 議案第30号 専決処分について（立川市公立学校教員の内申について）	可決
	(2) 議案第31号 専決処分について（立川市公立学校校長の内申について）	可決
	協議 (1) 教育委員会の点検・評価について	
	(2) （仮称）第2期立川市学校教育振興基本計画の策定について	
	報告 (1) 生活扶助基準の見直しに伴う就学援助の取扱いについて	
第15回定例会 8月8日(木)	議案 (1) 議案第32号 立川市の公の施設指定管理者候補者の選定について（諮問）	可決
	協議 (1) 教育委員会の点検・評価について	
	(2) 立川市泉市民体育館への指定管理者候補者の選定等について	
第16回定例会 8月29日(木)	議案 (1) 議案第33号 教育委員会の点検・評価について	可決
	(2) 議案第34号 立川市立学校管理運営規則の一部を改正する規則について	可決
	(3) 議案第35号 平成26年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について	可決
	(4) 議案第36号 平成26年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について	可決
	(5) 議案第37号 平成26年度使用立川市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について	可決

会議名・月日	付 議 案 件	結果
	(6) 議案第38号 立川市市民体育館条例施行規則の一部を改正する規則について	可決
	協議 (1) 人事構想（学校）について	
	(2) 立川市練成館条例の一部を改正する条例について	
	(3) 立川市運動場条例の一部を改正する条例について	
	(4) スポーツ祭東京2013開催に伴う体育施設の臨時休館等について	
	報告 (1) 中学校給食アンケート結果について	
第17回定例会 9月19日(木)	協議 (1) 市指定史跡に係る現状変更申請について（諮問）	
	報告 (1) 特別支援教育実施計画の策定について	
第18回定例会 9月26日(木)	報告 (1) 通級指導学級の通学区域について（8小新設に伴う変更、9中通学区域変更）	
	(2) 立川市第5次生涯学習推進計画の策定について	
	(3) 立川市第4次スポーツ振興計画の策定について	
	(4) 立川市第2次図書館基本計画及び立川市第3次子ども読書活動推進計画の策定について	
第19回定例会 10月10日(木)	議案 (1) 議案第39号 立川市教育委員会表彰について	可決
	(2) 議案第40号 立川市学校給食運営審議会委員の任命について	可決
	報告 (1) 平成24年度決算について	
	(2) 平成25年第3回市議会について	
	(3) 立川シティハーフマラソン2014について	
第20回定例会 10月24日(木)	議案 (1) 議案第41号 立川市教育委員会表彰について（追加分）	可決
	(2) 議案第42号 立川市文化財保護審議会委員の任命について	可決
	報告 (1) 平成26年度予算編成方針について	
第21回定例会 11月14日(木)	議案 (1) 議案第43号 立川市泉市民体育館指定管理者候補者の選定について	可決
	協議 (1) 立川市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例について	
	(2) 立川市地域学習館条例の一部を改正する条例について	
	(3) 立川市泉市民体育館指定管理者候補者の選定について（答申）	
	(4) 立川市図書館条例の一部を改正する条例について	

会議名・月日	付 議 案 件	結果
	報告 (1) 平成25年度上半期教育委員会事業後援の概要について	
第22回定例会 11月21日(木)	議案 (1) 議案第44号 立川市就学支援等検討委員会規程の一部を改正する規程について	可決
	(2) 議案第45号 立川市図書館条例施行規則の一部を改正する規則について	可決
	協議 (1) 立川市地域学習館条例の一部を改正する条例について	
	(2) 第一小学校の建替え事業について	
	(3) 市指定文化財「満願寺跡」に係る現状変更申請について(答申)	
	(4) 国立市図書館との相互連携の実施について	
	報告 (1) 平成25年度通学路点検状況について	
	(2) 特別支援教育実施計画(案)について	
	(3) 学習等供用施設西砂会館の空調機改修工事に伴う臨時休館について	
第23回定例会 12月13日(金)	選挙 (1) 教育委員会委員長の選挙について	
	(2) 委員長職務代理者の選任について	
	議案 (1) 議案第46号 立川市教育委員会職員の勤務時間等に関する規程の一部を改正する規程について	可決
	報告 (1) 市指定有形民俗文化財須崎家内蔵復元工事の実施について	
第24回定例会 12月26日(木)	協議 (1) 平成26年度 学校教育の指針(案)について	
	報告 (1) 立川市立学校管理職人事(平成26年4月1日異動)について	
	(2) 12月議会の報告について	
第1回定例会 1月9日(木)	議案 (1) 議案第1号 平成26年度 学校教育の指針について	可決
	報告 (1) 入学式・卒業式の適正実施について	
第2回定例会 1月16日(木)	協議 (1) 小・中学校の卒業式、入学式の告辞(案)について	
	報告 (1) 平成25年度教育委員会定期監査の結果について	
第3回定例会 2月13日(木)	議案 (1) 議案第2号 平成26年度立川市立小中学校校長候補者の内申について	可決
	(2) 議案第3号 平成26年度立川市立小中学校副校長候補者の内申について	可決
	(3) 議案第4号 立川市社会教育委員に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	可決
	協議 (1) 小・中学校の卒業式、入学式の告辞(案)について	

会議名・月日	付 議 案 件	結果
	報告 (1) 立川市学校教育振興基本計画の中間総括について	
	(2) インフルエンザ様疾患による臨時休業について	
	(3) 立川シティハーフマラソン2014について	
第4回定例会 2月20日(木)	議案 (1) 議案第5号 専決処分について（立川市職員の分限懲戒等について（諮問））	可決
	(2) 議案第6号 懲戒処分について	可決
	協議 (1) 他市図書館との相互連携の拡大について	
	報告 (1) 第九小学校の大規模改修事業について	
	(2) 学力向上に向けた取組について	
	(3) 平成24年度児童・生徒の問題行動等の実態について	
	(4) いじめの実態把握のための調査について	
	(5) 立川市子どものいじめ防止に関する条例について	
	(6) 立川市特別支援教育実施計画（案）について	
	(7) 立川市第4次スポーツ振興計画の策定について	
第5回定例会 3月13日(木)	議案 (1) 議案第7号 立川市教育委員会処務規則の一部を改正する規則について	可決
	(2) 議案第8号 立川市教育委員会職員職名規程の一部を改正する規程について	可決
	(3) 議案第9号 平成26年度使用立川市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について（追加）	可決
	報告 (1) 立川市図書館基本計画の中間総括及び利用者アンケート結果について	
第6回定例会 3月20日(木)	議案 (1) 議案第10号 教育委員会職員の人事異動について	可決
	(2) 議案第11号 立川市スポーツ推進委員の委嘱について	可決
	(3) 議案第12号 立川市生涯学習推進審議会委員の委嘱について	可決
	協議 (1) 立川市特別支援教育実施計画（案）について	
	報告 (1) 立川市第2次子ども読書活動推進計画の中間総括及び読書アンケート結果について	

(6) 教育委員会表彰

立川市教育委員会では、有益な調査・研究、特に模範とする行為、教育・文化の振興における功績、体育その他の文化活動において特に優秀な成績をあげた個人または団体を、立川市教育委員会表彰規程に基づき表彰しています。

①平成25年度教育委員会表彰該当者

ア. 立川市教育委員会表彰規程 第2条第3号（市立学校の児童・生徒）に該当する者

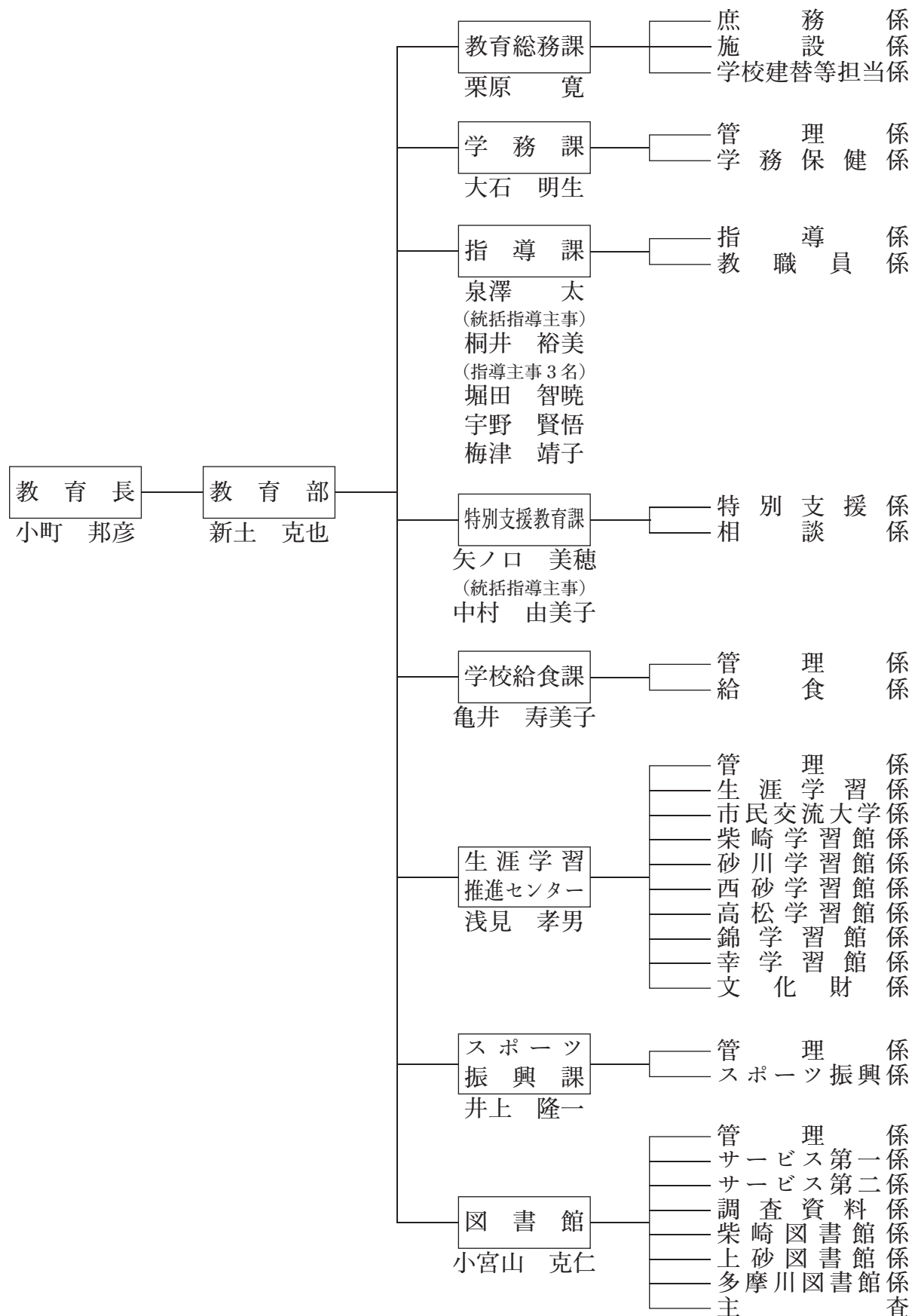
該当者名	学校名等	該当内容
吉田 優力	第六小学校	J O Cジュニアオリンピックカップ 第26回全日本小学生相撲優勝大会
渡邊 海	第十小学校	第6回U-15ボクシング全国大会
後藤 万里奈	立川第一中学校	第52回国際理解・国際協力のための 全国中学生作文コンテスト
大島 圭央	立川第二中学校	第53回全国中学校水泳競技大会
川村 優太	立川第四中学校	第7回全国中学生少林寺拳法大会
関根 蒼空	立川第四中学校	2012全日本ジュニア体操競技 選手権大会
泉澤 百花	立川第四中学校	第58回日本泳法大会
槇島 千華	立川第四中学校	第53回全国中学校水泳競技大会
永吉 美優	立川第五中学校	2013国際親善 空手道選手権大会
鈴木 さくら	早稲田実業学校中等部	第50回全国中学校スキー大会

イ. 立川市教育委員会表彰規程 第3条第2号に該当する者

該当者名	学校名等	該当内容
須崎 海斗		2012全日本ジュニア体操競技 選手権大会
妹尾 隆平		ロボカップ2013アイントホーフェン 世界大会
妹尾 有花		
大澤 佳心		2013極真祭 全日本高校生選抜空手道選手権大会
名雪 雅義		2012 I T U世界トライアスロンシリーズ グランドファイナル

(7) 教育委員会組織図

(平成26年4月1日現在)



(8) 事務分掌

課 名	係 名	事 務 分 掌
教育総務課	庶 務 係	教育委員会会議，公印の統括・管守，公告式，文書関係，規則・訓令，情報公開，個人情報保護，秘書・渉外・儀式・表彰，重要文書の審査，職員の任免その他人事，給与，研修・福利，予算編成及び決算の統括，課の予算・決算・会計，教育の広報・広聴，財産管理，教育施設の建設計画調整，委員会事務の総合調整・庁中取締り，学校施設の利用，他の課・係に属しないこと
	施 設 係	学校教育施設の建設計画，校地の設定・変更，営繕・保全
	学校建替等担当係	立川市立第一小学校建替え，公立学校施設等防衛補助，公立学校施設整備費補助，防音事業関連維持事業，公立学校の補助に係る財産処分
学 務 課	管 理 係	文書関係，課の予算・決算・会計，学校の会計，学校の物品管理の統括，学校の契約事務の統括，教材・教具の整備，課内他の係に属しないこと
	学 務 保 健 係	学校の設置・廃止，特別支援学級を除く学級編成，就学・転学・通学その他学籍関係，特別支援学級を除く通学区域，児童・生徒の就学援助，学事調査統計，学校の環境衛生，教職員・児童・生徒の保健衛生，学校医・学校歯科医・学校薬剤師，児童・生徒の安全，独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付，児童・生徒の災害保険
指 導 課	指 導 係	文書関係，課の予算・決算・会計，教育課程・教科内容の指導，学校経営・学習指導・生活指導の指導助言，教科用図書の採択，教職員の研修・指導，教育研究，課外クラブ・科学センター，学校教育サポートセンター，適応指導教室，課内他の係に属しないこと
	教 職 員 係	教職員の人事，服務，給与・旅費・公務災害補償，福利厚生
指 導 主 事		教育課程，学習指導，その他学校教育における専門的事項の指導
特別支援教育課	特 別 支 援 係	文書関係，課の予算・決算・会計，児童・生徒の就学奨励費，課内他の係に属しないこと
	相 談 係	特別支援教育の振興，特別支援学級の設置・廃止・学級編成，特別支援教育に係る通学区域，教育相談，特別支援教育に係る児童・生徒の就学・転学・入級の相談，障害のある児童・生徒関係各委員会，副籍事業の地域指定校の手続き
学校給食課	管 理 係	公印の管守，文書関係，課の予算・決算・会計，小学校給食に係る企画・調整，調理場の給食費の経理，学校給食運営審議会，中学校給食に係る企画・調整，中学校給食に係る給食費の経理，調理場の維持管理・運営，調理場PFI事業者との連絡・調整，調理場視察・見学会，課内他の係に属しないこと
	給 食 係	単独調理校・調理場栄養士の統括，学校給食に係る指導・調査・調整の統括，学校給食に係る衛生・献立・調理・栄養指導，調理場の献立・調理・配送，調理場の給食用材料の調達・管理，中学校給食の献立・調理・配送，中学校給食の給食用材料の調達・管理，小学校・中学校での食教育支援指導，調理場の試食会
生涯学習推進センター	管 理 係	文書関係，課の予算・決算・会計，学習館の管理運営の統括，生涯学習推進審議会，生涯学習推進計画・事業の調整，社会教育関係付属機関委員・専門委員の任免調整，社会教育施設の建設計画，生涯学習情報システム，学習等供用施設の管理運営・維持管理，林間施設の管理運営，センター内他の係に属しないこと

課 名	係 名	事 務 分 掌
生涯学習推進センター	生涯学習係	生涯学習の奨励・援助・調査・研究，社会教育委員，社会教育団体の登録・育成，社会教育の講座・教室等の実施，家庭教育の支援・奨励，学習館の講座・事業の統括，生涯学習情報の収集・提供・相談
	市民交流大学係	市民交流大学の運営，付属機関，講座・教室等の実施
	柴崎学習館係	各学習館の管理運営，施設・設備・物品の維持管理および使用，企画・調整・関係団体の連絡，講座・教室・事業等の企画運営・
	砂川学習館係	企画・調整・関係団体の連絡，講座・教室・事業等の企画運営・
	西砂学習館係	市民参画組織の支援，生涯学習情報の提供・学習相談，視聴覚関係事業の実施・ライブラリーの管理運営
	高松学習館係	
	錦学習館係	
スポーツ振興課	幸学習館係	
	文化財係	文化財の保護，調査・研究・資料収集，保護思想の普及，文化財保護審議会，文化財保護調査員，歴史民俗資料館・川越道緑地古民家園の管理運営
スポーツ振興課	管 理 係	公印の管守，文書関係，課の予算・決算・会計，社会体育施設の管理運営・建設計画，都市公園の管理運営，課内他の係に属しないこと
	スポーツ振興係	スポーツ推進委員，社会体育の奨励・援助・調査・研究・資料の収集，社会体育指導者の研修，社会体育のための学校施設の利用スポーツ推進審議会
図 書 館	管 理 係	公印の管守，文書関係，図書館の予算・決算・会計，中央図書館の施設・設備・物品の維持管理，女性総合センター施設の維持管理，図書館協議会，図書館運営の企画・調査・研究，電子計算処理・組織の維持管理，事業の広報，図書館内他の係に属しないこと
	サービス第一係	図書館資料・外国語資料・視聴覚資料の収集・整理・保存・利用，資料の閲覧・貸出，図書館活動の企画・調整，読書案内・相談，利用者援助，読書会・講演会等の開催・奨励，利用団体，関係機関の連絡
	サービス第二係	児童・青少年のための資料の収集・整理・保存・利用，資料の閲覧・貸出，図書館活動の企画，読書案内・相談，利用者援助，図書館活動に係るボランティアの育成援助，読書会・講演会等の開催・奨励，利用団体
	調 査 資 料 係	参考調査資料・郷土資料・行政資料等の収集・整理・保存・利用，資料の閲覧・貸出，図書館活動の企画，調査研究の援助・情報提供，読書会・講演会等の開催・奨励，障害者の図書館利用の援助
	柴崎図書館係	各図書館の施設・設備・物品の維持管理，図書館資料・視聴覚資料・郷土資料・行政資料等の収集・整理・保存・利用，資料の閲覧・貸出，図書館活動の企画，読書案内・相談，利用者援助，読書会・講演会等の開催・奨励，利用団体
	上砂図書館係	各図書館の施設・設備・物品の維持管理，図書館資料・視聴覚資料・郷土資料・行政資料等の収集・整理・保存・利用，資料の閲覧・貸出，図書館活動の企画，読書案内・相談，利用者援助，読書会・講演会等の開催・奨励，利用団体
	多摩川図書館係	各図書館の施設・設備・物品の維持管理，図書館資料・視聴覚資料・郷土資料・行政資料等の収集・整理・保存・利用，資料の閲覧・貸出，図書館活動の企画，読書案内・相談，利用者援助，読書会・講演会等の開催・奨励，利用団体
	主 査	指定管理者及び自動貸出機の導入等に係る特定事項

(9) 教育委員会職員数

(平成26年5月1日現在)

所 属 \ 職 名			部	課	係	一	社	栄	ポ	機	調	一	管	警	小	再	嘱	合
			長	長	長	般	会	養	イ	械	理	般	理	備	計	任	託	計
教 育 委 員 会			1												1			1
教	教 育 総 務 課			1	3	8					1	2			15	2	2	19
		庶 務 係			1	3									4			4
		施 設 係			1	2						2			5	2	1	8
		学 校 建 替 等 担 当 係			1	1									2		1	3
	学 務 課			1	2	7									10			10
		管 理 係			1	3									4			4
		学 務 保 健 係			1	4									5			5
	指 導 課			2	2	6									10		2	12
		指 導 係			1	3									4		2	6
		教 職 員 係			1	3									4			4
		特 別 支 援 教 育 課		2	2	1									5	1	9	15
	育		特 別 支 援 係			1									1	1		2
相 談 係					1	1								2		9	11	
学 校 給 食 課				1	2	4		4							11		2	13
		管 理 係			1	4								5		1	6	
		給 食 係			1			4						5		1	6	
生 涯 学 習 推 進 セ ン タ ー			1	10		18					1		30		13	43		
		管 理 係			1		3							4		1	5	
		生 涯 学 習 係			1		3							4			4	
		市 民 交 流 大 学 係			1		3							4			4	
		柴 崎 学 習 館 係			1		2							3		3	6	
		砂 川 学 習 館 係			1		2							3		1	4	
		西 砂 学 習 館 係			1							1		2		1	3	
	高 松 学 習 館 係			1		1							2		1	3		
	錦 学 習 館 係			1		1							2		1	3		
	幸 学 習 館 係			1		1							2		2	4		
	文 化 財 係			1		2							3		3	6		
ス ポ ー ツ 振 興 課			1	2		5						1		9		1	10	
	管 理 係			1		2							1		4		1	5
	ス ポ ー ツ 振 興 係			1		3								4			4	
図 書 館				1	8		35								44		13	57
	管 理 係			1		3									4			4
	サ ー ビ ス 第 一 係			1		12									13		7	20
	サ ー ビ ス 第 二 係			1		6									7		1	8
	調 査 資 料 係			1		8									9			9
	柴 崎 図 書 館 係			1		1									2		1	3
	上 砂 図 書 館 係			1		3									4		2	6
	多 摩 川 図 書 館 係			1		2									3		2	5
	主 査			1											1			1
小 ・ 中 学 校								8			29	25			62	6	60	128
計			1	10	31	26	58	12	0	0	30	28	1	0	197	9	102	308

2. 平成26年度 教育部の運営方針

立川市の「教育目標」に沿って未来を担う子どもたちの育成と、市民力との連携による生涯学習による活気あるまちづくりを目指して教育行政を展開している。このような中、学校教育分野では、子どもたちの「生きる力」をさらに伸ばすことを目指し、重点課題として学力・体力向上、特別支援教育の充実を掲げ全校で一斉に取り組むとともに、社会教育分野では図書館システムの着実な運用と近隣3市との図書館との相互利用により市民の利便性の向上を図り、泉市民体育館についても指定管理者による管理運営を開始することにより市民サービスの向上を図る。このような教育部の運営方針のもと以下の項目について具体的な取り組みを展開する。

なお、平成27年度を初年度とする「第2次学校教育振興計画」「第5次生涯学習推進計画」「第4次スポーツ振興計画」「第2次図書館基本計画」を学識経験者や関係団体関係者、公募市民等による検討会等で策定を進める。

(1) 学校教育の充実

学校教育の重要課題を、「学力向上」、「体力の向上」、「特別支援教育の充実」とし、学校教育の指針等を踏まえて、小・中学校の連携による9年間を見通した教育を充実させるとともに、地域に開かれた学校、市民力を活用した“ネットワーク型”の学校の構築を目指した取り組みを進める。

①学力・体力向上の推進

学力向上に向けた取り組みとしては、各学校における研究活動を通じた授業改善、少人数指導による学力の定着と向上、若手教員の育成等研修の充実を図るとともに、平成24年度から開始した「学力向上推進研究校」の取り組みを、平成26年度も引き続き小学校4校、中学校2校で指定し、土曜日や長期休業中、放課後等を活用した補習学習等に取り組みや学識経験者等の講師を招いて学力向上に関する講演会等を行うことにより児童・生徒の学力の定着に向けた2年間の研究を進めることとする。

また、市内全小・中学校における「学力向上推進計画」の策定、「学力向上推進委員会」の設置により、各学校の学力向上に向けた様々な取組を全校で共有するとともに、具体的な方策について検討し、各学校の課題解決に向けた取組みの強化を図る。

さらに、市民力を活用した教育活動の推進として、中学校全学年を対象に、補習学習の時間に学習指導を行う支援員を配置するとともに、小学校においては、保護者や地域、学生の協力を得て、補習学習の実施や学校生活の支援を行うことを通して、学習内容の一層の定着を図ることを目指す。

体力向上に向けた取り組みとしては、本市の弱い分野である「持久力」と「体幹を鍛える」について重点的に強化していくとともに、運動の習慣化や睡眠時間の確保等の生活・運動習慣の定着を図ることとする。取り組みにあたっては子どもの発達段階に応じた目標を定め、体育授業や遊び、縄跳びや持久走などの体力向上に向けた取組を計画的に展開し、スポーツや遊びを通して運動の習慣化及び体力の向上を図ることに加え、規則正しい生活習慣を家庭と連携して子どもに身に付けさせることに留意する。

②特別支援教育の充実

支援が必要なすべての子どもたちに、子ども未来センターを中心に教育委員会特別支援教育課、子ども家庭部子ども家庭支援センター、関係機関等との連携の下、就学前からの早期支援と途切れのない支援及び一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と支援を行うことを基本的な方針として特別支援教育を推進する。

平成25年度に策定した特別支援教育実施計画（平成26年～28年を計画期間）に基づき具体的な取り組みを進めていく。

また、特別な支援を要する子どもが増えている中、平成26年4月、第八小学校に市内4校目の情緒障害通級指導学級を設置した。さらに、小中学校への巡回相談員を配置し、相談体制の充実を図る。

③豊かな心の教育の推進

道徳授業地区公開講座（全小中学校）、中学校職場体験学習、ボランティア活動体験などを通じて、人権感覚や自己肯定感を高め、児童生徒の社会性や対人関係能力の向上を図るとともに、学級活動や学校行事等を通して、集団への帰属意識を高め、規律ある学校生活を基盤とした教育活動の充実を図る。

いじめへの対応は、立川市子どもいじめ防止条例（平成26年5月30日公布）及び立川市いじめ防止基本方針に基づき、いじめはどの学校、どの子どもにも起こりうるとの認識の下、社会全体で子どもをいじめから守る取り組みを行うとともに、体罰問題への対応についても、体罰はどの学校、どの教員にも起こりうるとの認識に立って未然防止に取り組む。

具体的には、保護者・市民及び事業者等と連携した子どもの見守り、年間3回の「いじめ・体罰根絶月間」における児童・生徒へのアンケート調査や面談等による実態把握を行い、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努める。また、体罰については、教職員への調査も行う。

さらに、各学校にスクールカウンセラーやハートフルフレンド等の支援員等を配置するとともに、「いじめの悩み相談レター」を全児童・生徒に配布し、児童生徒からの相談を受け止める機会の充実を図る他、青少年連絡協議会や立川児童相談所等の関係諸機関との連携の強化を図る。

今後も、各学校が児童・生徒の変化や心のサインを見逃さず、一人一人の個性や状況に応じた適切な指導を実施し、いじめ・体罰根絶に向けた組織的な対応の充実を図る。

④学校施設環境の整備

第一小学校建替事業については、平成26年度の2学期より新校舎（複合施設）での授業を開始するとともに、仮設校舎の解体、校庭整備等を引き続き行い、平成27年3月までに工事を終了する予定である。

また、平成24年度に策定された「公共施設保全計画」に基づく大規模改修では、平成26年度中に第九小学校の改修工事を終了するとともに、第六小学校の実施設計等を行う。学校における特別教室の空調機器については、中学校での少人数教室での設置工事を進める。

学校ホームページについては、内容更新が容易で質の高いシステムに再構築し、地域や保護者への情報発信の充実を図る。

⑤安全・安心な給食の提供

新学校給食共同調理場は、平成25年4月よりPFI事業者による運営が開始となった。引き続き、調理場校12校と建替え中の第一小学校に対し、質の高い衛生水準による安全・安心な給食、食育の充実、食物アレルギー対応の充実など、より良質で効率的な給食の提供を行う。

学校給食における食物アレルギー対応については、近年、食物アレルギーを持つ児童数が増え、また、原因となる物質の種類も増えている。市では、「小学校給食におけるアレルギー対応方針」に基づくアレルギー対応児童の把握と安全な調理の推進、小学校での給食配膳時の全校統一のルール化によるチェック体制の強化、緊急時における対応体制の整備等を行い、対応の明確化を進めていく。

今後も引き続き、保護者・学校関係者・調理関係者の情報共有を徹底し、アレルギーを持つ児童に安全・安心な給食を提供する。

(2) 生涯学習社会の実現

「生涯学習からはじまるまちづくり」「市民力でひろがる生涯学習」をめざして、市民や地域との連携により市民交流大学をはじめとする多様な事業を展開する。

①市民交流大学運営事業

開講以来6年が経過した市民交流大学については、これまでの実績を基により多くの市民の力を集め事業内容の更なる充実を図る。また、生涯学習を支える人材育成研修を実施し、市民推進委員会を中心とした市民企画講座のさらなる充実を図るとともに、生涯学習市民リーダーや関係機関との連携強化を進め団体企画講座の実施数の増加を進める。さらに、行政企画講座にも市民力がさらに活かされる仕組みの検討を進める。

②地域学習館事務

地域の特性を活かし、地域の課題や学習ニーズを捉えて講座事業を進めていくため、「地域学習館運営協議会」の取組の充実を図る。この中で、地域学習館運営協議会委員や学習館利用者により地域特性を活かした地域活性化講座や地域学習館まつりをさらに充実し、地域の学習を通じた交流を進める。

柴崎学習館については、第一小学校との複合施設として平成26年8月に移転する。市として初めてとなる学校教育と社会教育の複合施設であり、複合化により幅広い世代の交流ができ、地域のコミュニティや学びの拠点となることを目指していく。

(3) スポーツ活動の推進

立川第3次スポーツ振興計画に基づき、より多くの市民がスポーツに親しみ、健康で豊かな人生を送ることができるよう「生涯スポーツのまち」づくりの実現をめざす。

①スポーツ普及奨励活動事業

身近な地域で子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組む環境を整備するため

に、スポーツ指導者の育成を進める。また、体育協会やスポーツ推進員との連携のもと、地域スポーツ教室の実施、ニュースポーツの普及を進め、地域スポーツクラブの充実に向け支援を行う。

②泉市民体育館管理運営及び屋外体育施設管理運営

柴崎体育館では、指定管理者の導入により市民サービスの向上が図られている。泉市民体育館においては、平成26年4月に指定管理者制度を導入し、利用時間、利用日、利用区分の拡大とともに、利用者ニーズに合った教室の実施等により市民サービスの向上を図る。

昭和34年に開設された立川公園陸上競技場は老朽化が進んでおり、平成26年度は大規模改修工事の実施設計を進める。

（４） 学習活動の推進

市民の学習活動や読書活動を支援するために、立川市図書館基本計画に沿って、図書館機能を充実させることにより利用の拡大と利便性の向上を図る。

①図書館管理運営

柴崎図書館は、第一小学校との複合施設として平成26年8月に移転し、複合施設の利点を活かし児童サービスの充実を図る。

指定管理者制度を導入した地区図書館5館（幸・錦・西砂・高松・若葉）について、モニタリング評価により安定した運営体制を整えるとともに、残り3館（柴崎・上砂・多摩川）への平成27年4月での指定管理者制度導入に向けた準備を進める。

これまで市内在住者及び在勤在学者に限定していた図書館利用について、立川市民の利便性を考慮し、平成26年2月より国立市図書館との相互連携を開始した。さらに、5月より、武蔵村山市、昭島市の2市についても相互連携を実施している。これにより、双方の市内在住者は互いのすべての図書館を利用可能となった。

②子どもの読書活動の推進

市内全小学校への図書の団体貸出を引き続き推進するとともに、中学校への団体貸し出しについても検討を進め、さらに、中学校との共催による企画展示の充実を図るなど、小中学校との連携を強化する。

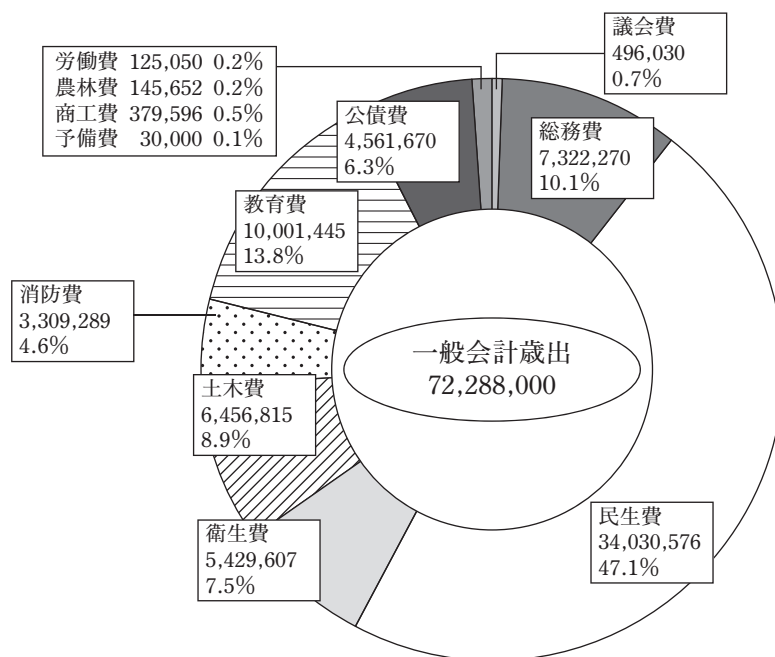
また、地域文庫連絡会等ボランティア団体との協働により、学校との連携を進め、子どもたちの読書環境の充実を支援する。

3. 平成26年度予算のあらまし

立川市の平成26年度一般会計予算額（歳出）の総額は、722億8,800万円で、前年度当初予算に比べ、27億1,000万円増（プラス3.9%）となっています。このうち教育予算額は100億144万5千円で、前年度当初予算に比べ、13億7,356万2千円の増（プラス15.9%）となり、一般会計に占める教育予算額の割合は、13.8%となっています。

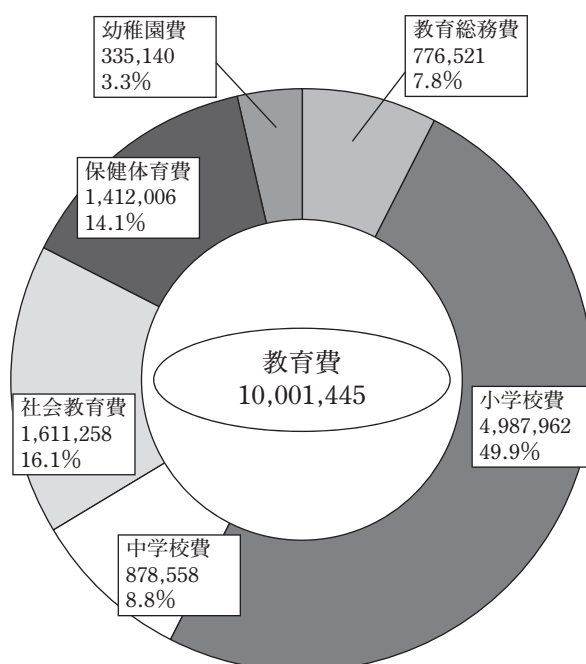
①平成26年度一般会計予算額（歳出）に占める教育予算額の割合

（単位：千円）



②平成26年度教育予算額（歳出）の内訳

（単位：千円）



③平成26年度教育予算額（歳出）の対前年度比較

（単位：千円）

予算科目	26年度当初 予算額 A	25年度当初 予算額 B	増減額 C (A - B)	前年度比 C / B (%)
教 育 費	10,001,445	8,627,883	1,373,562	15.9%
教育総務費	776,521	745,703	30,818	4.1%
教育委員会費	500,212	471,183	29,029	6.2%
教育指導費	276,309	274,520	1,789	0.7%
小 学 校 費	4,987,962	3,948,372	1,039,590	26.3%
学 校 管 理 費	1,123,707	1,161,345	△ 37,638	△ 3.2%
教 育 振 興 費	261,713	258,916	2,797	1.1%
学校保健体育費	111,061	106,797	4,264	4.0%
学校建設整備費	3,491,481	2,421,314	1,070,167	44.2%
中 学 校 費	878,558	811,201	67,357	8.3%
学 校 管 理 費	417,588	423,192	△ 5,604	△ 1.3%
教 育 振 興 費	183,099	198,277	△ 15,178	△ 7.7%
学校保健体育費	192,469	189,514	2,955	1.6%
学校建設整備費	85,402	218	85,184	39075.2%
社 会 教 育 費	1,611,258	1,528,989	82,269	5.4%
社会教育総務費	709,426	697,580	11,846	1.7%
生涯学習振興費	193,174	178,804	14,370	8.0%
文化財保護費	24,719	24,071	648	2.7%
学習等供用施設費	106,441	74,975	31,466	42.0%
図 書 館 費	577,498	553,559	23,939	4.3%
保 健 体 育 費	1,412,006	1,258,515	153,491	12.2%
保健体育総務費	257,981	297,757	△ 39,776	△ 13.4%
体 育 館 費	275,635	286,185	△ 10,550	△ 3.7%
体 育 施 設 費	174,267	161,742	12,525	7.7%
共同調理場運営費	704,123	512,831	191,292	37.3%
幼 稚 園 費	335,140	335,103	37	0.0%
幼 稚 園 費	335,140	335,103	37	0.0%

④教育予算額（歳出）の推移

（単位：千円）

区分	22年度予算	23年度予算	24年度予算	25年度予算	26年度予算
市一般会計	64,350,000	66,995,000	67,113,000	69,578,000	72,288,000
教育費	6,921,421	8,404,439	7,789,856	8,627,883	10,001,445
教育総務費	751,430	736,847	811,924	745,703	776,521
小学校費	1,599,087	2,362,976	2,346,326	3,948,372	4,987,962
中学校費	977,972	1,303,859	920,667	811,201	878,558
社会教育費	1,645,914	1,617,165	1,531,006	1,528,989	1,611,258
保健体育費	1,635,030	2,074,991	1,859,279	1,258,515	1,412,006
幼稚園費	311,988	308,601	320,654	335,103	335,140
教育費の対前年度比（％）	△7.7	21.4	△7.3	10.8	15.9
教育費の対市一般会計比（％）	10.8	12.6	11.6	12.4	13.8

II 学校教育



1. 立川市学校教育振興基本計画

平成18年に改正された教育基本法は、新しい時代の教育の基本理念を明示するとともに、「地方公共団体は地域における教育の振興を図るため、地域の実情に応じた教育に関する施策を策定し、実施しなければならないこと」や「政府が定める計画を参酌し、地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならないこと」を新たに規定しました。さらに、教育基本法の改正に伴って、平成19年には、いわゆる教育三法と呼ばれる教育関係諸法の改正も行われました。

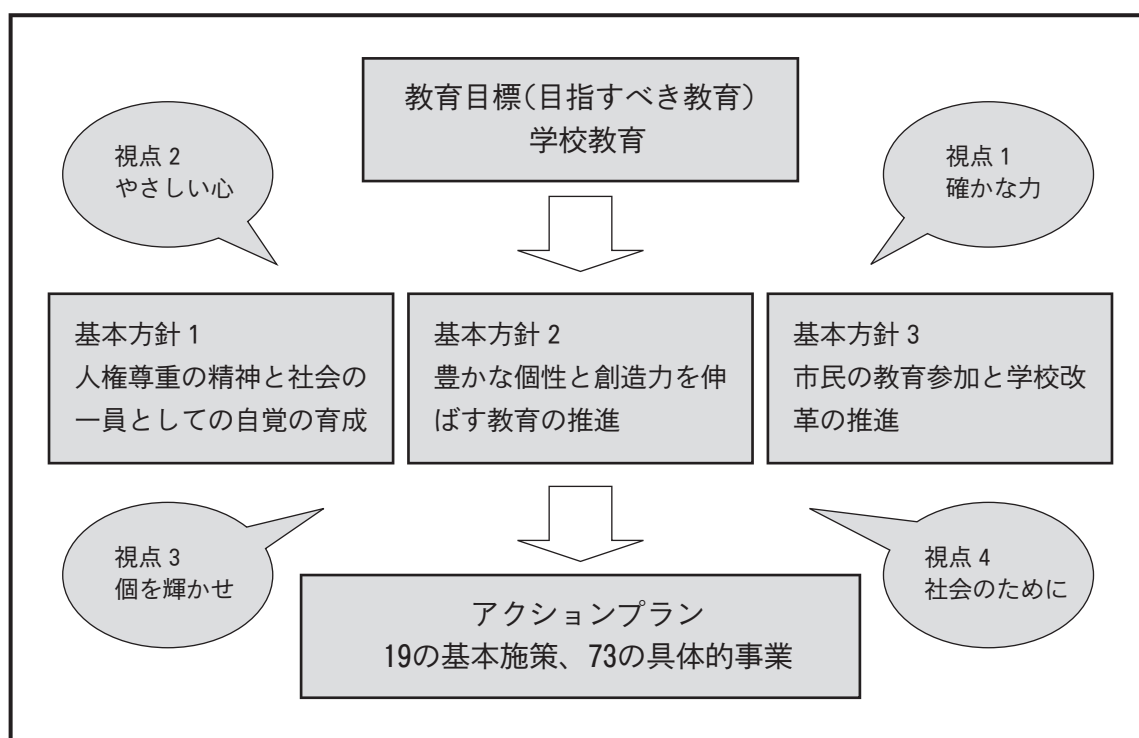
このような中で、本市の学校教育の基本的な計画を策定するため、平成22年12月に「立川市学校教育振興基本計画」を策定しました。

本計画は、立川市の学校教育の充実と発展に向け、平成22年度から26年度までの5年間の学校教育における目標や方向性を明らかにし、それらを実現するための具体的施策や事業を示しています。

計画は、第1章「総論」、第2章「計画の目標・施策展開の方向」、第3章「アクションプラン」、第4章「計画の推進にあたって」、「資料編」となっています。

また、「立川市の目指すべき子どもの姿」として示す学校教育の目標を実現するために3つの基本方針、19の基本施策、73の具体的事業を掲げています。

計画の目標や視点、施策展開の方向性等は、下図のとおりです。



2. 教育指導

(1) 平成26年度 学校教育の指針

立川市教育委員会の教育目標、基本方針並びに施策の方向を踏まえるとともに、学習指導要領の趣旨に基づき、「生きる力」の育成の基盤となる確かな学力と豊かな心を育む教育の一層の充実を図る。そのために、「**確かな力 やさしい心 個を輝かせ 社会のために**」という教育目標・方針等に基づく学校教育の指針を示す。

平成26年度は、学力・体力の向上と特別支援教育の充実を重点課題とし、小中学校の連携教育活動の推進及び市民力を生かした学校経営を目指す。

各学校においては、市の教育目標・方針等並びに本指針を生かして、学校の教育目標や基本方針、指導の重点等を設定し、創意ある学校経営を推進する。

【確かな力】

1 確かな力の育成を図る教育の推進

ア 確かな力を育成するための特色ある教育課程の編成と学力の向上

十分な授業時数を確保し、児童・生徒の実態に基づき作成した授業改善推進プランを活用して適切な授業内容の実施を行い、学校としての組織を生かした弾力的で特色ある教育課程を編成する。また、東京都の学力調査等の結果等を活かした学力向上推進計画に基づき、保護者・地域の教育力を活用した土曜日や放課後、長期休業日等の補充的・基礎的な学習を充実させる等の学力向上策を全校で推進し、児童・生徒の学力向上を図る。

イ 生きる力の基盤としての健康づくりの推進と体力の向上

家庭との連携・協力を大切にして、生きる力の基盤となる食や睡眠等の生活習慣の確立を基に、たくましく生きるための健康増進を図る。また、特に、持久力や投げる力を中心に、体力を向上させる。さらに、食育リーダーを中心に意図的・計画的な食育の推進を図る。

ウ 習熟度別の少人数指導など個に応じた指導による基礎・基本の確実な定着と知識及び技能の習得

体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に取り入れた指導を行い、習得・活用・探究を基盤に、自ら学び自ら考える力と学ぶ意欲を育成し、主体的な学びを育み、個性の伸長を図る。また、特に、国語の書く力、その他の教科・領域における思考力・判断力・表現力の育成を中心に、学力を向上させる。さらに、習熟度別の少人数指導を適正に実施するとともに、発展的な学習・補充的な学習等により個に応じた指導を行い、一層の基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と知識及び技能の習得を図る。

エ 思考力・判断力・表現力等の育成と言語活動の充実

問題解決的な学習や各教科、総合的な学習の時間等における児童・生徒の言語活動の充実を通して、児童・生徒の思考力、判断力、表現力等を育む。その際、知識及び技能の活用を

図る学習や探究活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整える。

オ 読書活動と情報教育の推進

知識を学び、感性を磨き、想像力を豊かなものにするために、市民と連携した読書活動を奨励するとともに、学校図書館や学校図書館支援指導員等の利活用に基づく読書活動を推進する。また、ICTを効果的に活用した授業の推進により、思考力・判断力・表現力等の伸長を図り、情報社会における正しい判断や望ましい態度を育て、情報社会で安全に生活するための危険回避の理解を図るとともに、相互の信頼や人権擁護の態度を育成する等情報モラルを身に付けさせるとともに、情報を適切に選択し活用する能力の一層の育成を図る。

カ 家庭や小・中学校と幼稚園・保育園、高等学校、特別支援学校等との連携及び、義務教育9年間を見通した連携教育活動の推進

学校に関する家庭の理解を深めるため、学習指導の状況に関する情報を保護者に積極的に提供するとともに、「家庭学習推進リーフレット」の活用を通して、保護者と連携しながら児童・生徒の望ましい学習習慣を確立する。また、幼・保・小の連携を通して、小学校入学期に必要な個別の支援を把握し、学校の集団生活への適応を促進する指導を充実させるとともに、小・中学校と高等学校、特別支援学校等との連携を通して、コミュニケーション能力の育成を図る。さらに、小学校教育の成果や課題を踏まえ、小・中学校9年間を見通した理念に基づいた計画のもとで、効果的な連携教育活動を推進する。

キ 校内研究、OJT、教育センター機能を活用した教職員の資質と専門的な力量の向上

保護者や市民の願いを受け止め、児童・生徒の可能性を最大限に伸ばすために、週ごとの指導計画等を活用して学習のねらいを明確にした日々の授業の積み重ねを大切にし、教員の指導力の一層の向上を図る。そのために、校内研究や校内研修、教育委員会主催の各種研修等に積極的に取り組み、OJTを意図的・計画的に実施する等して、指導方法や教材・教具、評価の一層の工夫を図る。また、教育センター機能を生かした教職員の経験年数や学校教育の諸課題に対応した研修を推進し、教職員の資質と専門的な力量の向上を図る。

【やさしい心】

2 自他の生命を尊重し、やさしい心を育む教育の充実

ア 基本的人権の尊重と人権教育の一層の推進

児童・生徒に人権尊重の理念を正しく理解させ、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが実際の態度や行動に表れるようにする。そのために、全校で東京都教育委員会発行の「人権教育プログラム（学校教育編）」を活用した研修会を実施するとともに、人権教育の全体計画や年間指導計画に基づき、全教育活動を通じて人権教育を一層推進するとともに、小・中連携による人権教育の充実を図る。

イ いじめのない豊かな人間関係の育成と道德教育の充実

家庭・地域との連携を密にし、関わり合い、認め合い、支え合いを大切にして、いじめのない豊かな人間関係の育成に努める。そのために、道德の全体計画及び年間指導計画に基づき、道德教育推進教師を中心に校内の指導体制を強化して、道德の授業の充実・改善を図るとともに、道德の時間を要として、各教科等における道德教育を推進する。また、社会奉仕体験活動等を通して自尊感情・自己肯定感を高め、生命を大切にする等の豊かな心の育成に努める。

ウ 問題行動の早期発見・早期対応と教育相談の充実

信頼関係に基づいた教育の徹底を図り、家庭・地域等との連携を緊密にした生活指導体制を確立し、問題行動の未然防止、早期発見・早期対応と不登校児童・生徒の学校不適応の解消に努める。また、「ふれあい月間」や「いじめ・暴力根絶旬間」等の取組により、いじめや不登校、暴力行為等の解消を目指し、校内での組織的な指導体制を整えるとともに、個別適応計画書の作成及び活用、関係諸機関との連携や適応指導教室、スクールカウンセラーやハートフルフレンド、スクールソーシャルワーカー、学校・学級特別指導員、家庭と子供の支援員等の活用による継続的な指導を基に、教育相談機能を一層充実させる。

特に、いじめは、どの学校の、どの学級の児童・生徒でも起きるという認識のもと、教職員が連携・協力し、組織的・継続的な児童・生徒の状況把握と即時対応の徹底を図る。

エ 防災・安全教育の徹底と事故防止

東京都教育委員会発行の「安全教育プログラム」や副読本「地震と安全」を活用し、体験的な活動も取り入れながら各教科等で自然災害に関する正しい知識を習得させるとともに、自然災害等の危険に際して自らの命を守り抜くために主体的に行動する態度を育成する。また、災害安全・生活安全・交通安全の安全3領域の指導や不審者及び不審電話への対応等、児童・生徒の安全の徹底を図り、具体的な対処法を学習する等の体験的な活動を取り入れた実践的指導を行う。

さらに、施設・設備の安全管理に努めるとともに、情報機器等における個人情報の適正な管理の習慣化を図り、事故防止の徹底に努める。

【個を輝かせ】

3 よさを伸ばし、個を輝かせる教育の充実

ア 一人一人の児童・生徒のニーズに合った教育の充実

平成26年度より施行される「立川市特別支援教育実施計画」に基づき、児童・生徒一人一人の能力を最大限に伸長するために適切な指導と必要な支援を行うことにより、児童・生徒一人一人が見通しをもって学校生活を過ごせるようにするとともに、一人一人にとって居場所のある温かい学級経営に努める。児童・生徒の状況等を見極め、保護者のニーズを受け止めて作成する個別指導計画や個別の教育支援計画を基に、地域の特別支援学校、医療機関、教育相談員、学校・学級特別指導員、特別支援教育支援員、通訳協力員、学生ボランティア、スクールインターンシップ等の活用、巡回相談、巡回指導、就学支援ファイル・就学支援

シート等の活用により、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会において支援を必要とする児童・生徒一人一人の教育的ニーズ等に応じた適切な指導及び必要な支援を組織的に行う。また、特別支援学級と通常学級との交流及び共同学習を積極的に推進し、障害等に対する正しい理解と認識を深め、共に生きる意識と態度を育てる。

イ 子ども未来センターの活用による途切れ・すき間のない早期支援・早期連携の充実

子育て、教育、市民活動、文化芸術活動を支援するとともに、イベントの実施等を行う複合施設である子ども未来センター機能の内、特に総合的な子育て機能を活かして、特別支援教育課を中心に、教育相談、就学相談の充実を図り、途切れ・すき間のない早期支援・早期連携の充実を図る。

ウ 国際理解教育の推進

日本の文化や伝統についての理解や愛情を深め、異なる文化や伝統を尊重する教育を充実するとともに、多文化共生を推進する。また、外国語活動・外国語の授業の充実及び外国語指導助手等の活用により、表現力及びコミュニケーション能力を育み、国際社会に生きる日本人としての自覚や、進んで国際社会に参加・協力する能力と態度を養う。

エ キャリア教育の推進

一人一人の社会的・職業的自立に向け、児童・生徒自身が自らの生き方を考え、自らの能力や適性を正しく理解し、進路を選択する態度を育てる。そのために、それぞれの発達段階に応じた基礎的・汎用的能力を身に付けさせるとともに、経済団体等との連携を強化して、職場訪問や職場体験活動等を積極的に行い、一人一人の興味・関心、能力、適性等を尊重したキャリア教育を計画的に推進し、発達段階に応じた実践的・体験的な勤労観・職業観を育む。

オ クラブ活動・部活動等の充実

関係諸団体等の市民力も生かして、クラブ活動や部活動を実施し、学校生活の充実を図るとともに、生涯にわたり、スポーツ、文化、科学、芸術に親しんだり追究したりする資質や能力を高める。また、学年や学級を超えて育まれる人間関係を通して、自主性、協調性、責任感や連帯感等を育て、生きる力を培う。

カ 市民力を生かした特色ある学校づくりの推進

本市の基本計画のメインテーマである「市民力との連携によるまちづくり」を踏まえて学習支援者や市民、学生のボランティアの活用等により、保護者や地域社会の教育への参画と開かれた学校づくり等を推進するとともに、学校、家庭、地域の相互の連携・協力を生かしたネットワーク型の学校経営を推進する。そして、市民等との連携を強化し、特色ある学校づくりを一層推進する。なお、この推進に当たっては、本市の特性でもある研究機関や大学等の地域資源についてもさらなる活用を図ることとする。

【社会のために】

4 生き方を考え、社会のために役立とうとする意識を育む教育の充実

ア 家庭や地域と協力した社会性の育成

家庭と連携して、集団生活や社会生活のルールやマナーを身に付け、権利と義務、自由と責任についての認識を深め、規範意識を醸成し公共心を育成する。また、多様な人々との交流を通して、豊かな社会性ととも、自らの生き方を考えさせる教育を充実させる。

イ 体験的な活動を生かした社会に貢献する精神や生き方を考える力、実践力の育成

総合的な学習の時間等を組織的、計画的に実施し、地域の特色を生かし市民と連携した防災教育、環境教育、食育等を実施するとともに、勤労生産的な活動、自然体験・福祉体験・ボランティア体験等を充実させ、体験を通して社会に参画し貢献する精神を育み、自ら考える力や実践力を育成する。なお、東京多摩国体・スポーツ祭東京2013の観戦体験や花いっぱい運動への参加体験等により得られた社会貢献の精神が、今後の実践力として発揮されるよう継続的に指導を行う。

ウ 郷土意識の育成

多様な郷土学習を通して、郷土のすぐれた文化や伝統を大切に、すすんで地域の行事や活動に参加するとともに、学校及び地域環境の美化活動に努め、郷土や地域を愛する心情や態度を養う。

エ 自己評価や学校関係者評価、学校評議員制度等を生かした開かれた学校づくりの推進

家庭や地域と学校が一体となって、社会全体で子どもを見守り、教え育む体制づくりを目指す。そのために、ホームページ等で学校経営計画及び学校の教育活動に関する情報をタイムリーに発信し、広く市民に周知するとともに、学校評議員制度や学校評価（自己評価、学校関係者評価等）を学校改善に生かす。また、学校公開や立川教育フォーラム等を実施し、市民の教育への共通理解と家庭と地域との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。

(2) 平成26年度学校別教育目標

①小学校

学 校 名	教 育 目 標	学 校 名	教 育 目 標
第一小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え行動する子 ・心豊かで思いやりのある子 ・体をきたえ元気な子 	けやき台小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある子の育成 ・よく考える子の育成 ・たくましい子の育成
第二小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で明るい子 ・進んで学習する子 ・心豊かで思いやりのある子 	西砂小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある子ども ・自分の考えをもつ子ども ・健康で明るい子ども
第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・よく考え実行する子 ・思いやりのある子 ・健康でたくましい子 	南砂小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な子 ・考える子 ・思いやる子 ・がんばる子
第四小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともにすこやかな子ども ・根気強くやりぬく子ども ・よく考え工夫する子ども ・なかよく助け合う子ども 	若葉小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・心豊かな子 ・自分の考えをもつ子 ・元気な子
第五小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある子 ・考える子 ・元気な子 ・責任を果たす子 	幸 小 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え行う子ども ・ねばり強くやりぬく子ども ・なかよく力を合わせる子ども ・心と体をきたえる子ども
第六小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・考える子 ・思いやりのある子 ・元気な子 	松中小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしく ・かしこく ・たくましく
第七小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な子 ・考える子 ・ねばり強い子 ・思いやりのある子 	大山小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で明るい子 ・よく考え進んで学習する子 ・心豊かに助け合う子
第八小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・よく考え実行する子ども ・心豊かで思いやりのある子ども ・心も体もたくましい子ども 	柏 小 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・よく考えて実行する子ども ・心豊かで思いやりのある子ども ・健康でたくましい子ども
第九小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある子 ・自ら学ぶ子 ・たくましい子 	上砂川小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・心美しい子 ・自ら考える子 ・たくましい子
第十小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかな子 ・思いやりのある子 ・考える子 	新生小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学びを創る子ども ・温かい人間関係を創る子ども ・たくましい気力・体力をつくる子ども

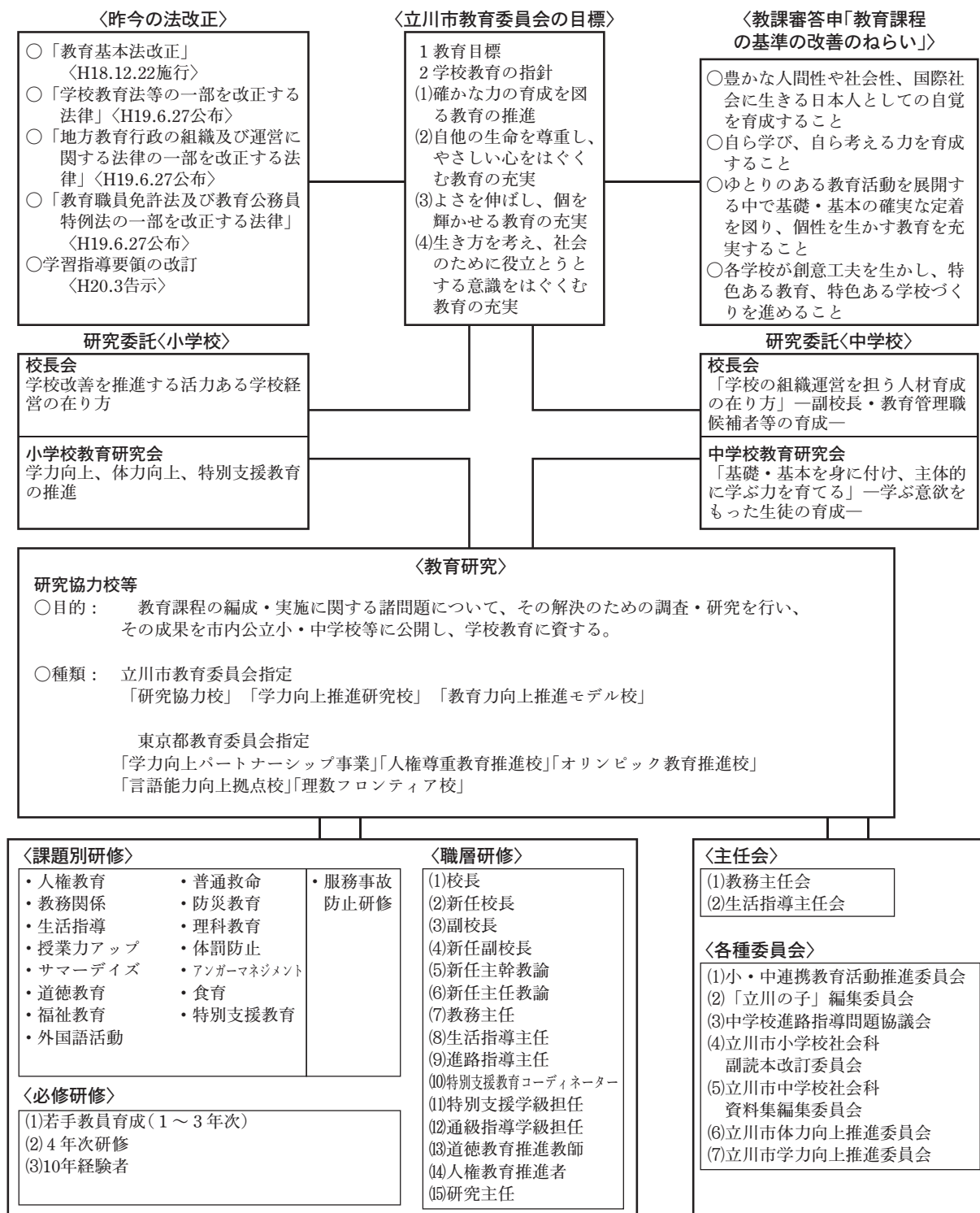
②中学校

学 校 名	教 育 目 標
立川第一中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知性を磨いて個性を伸ばそう ・ 敬愛の心を深めよい市民になろう ・ 勤労を愛し責任を果たそう
立川第二中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで学ぼう ・ 思いやりの心をもとう ・ 理想の実現に努めよう
立川第三中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな個性をもち、自主・自立・責任を重んじ、国際的な視野をもつ生徒を育成する ・ 規律と礼儀を重んじ、明朗で心身ともに健康な生徒を育成する ・ 勤労を重んじ、よく努力する生徒を育成する
立川第四中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創造的な知性を磨く ・ 健やかな心と体をもつ ・ 自他を慈しみ共に生きる態度を養う
立川第五中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら進んで勉強する人になろう ・ あたたかい思いやりのある人になろう ・ よいことは進んで実行する人になろう ・ 心身ともに健康な人になろう
立川第六中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら進んで学ぶ人 ・ 健康で心豊かな人 ・ 責任を果たす人
立川第七中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深く考え、すすんで学ぶ ・ 温かく思いやり、正しく行う ・ たくましく鍛え、みずから創る
立川第八中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 命を大切にする心をもつ人 ・ 知恵を身につけ活かせる人
立川第九中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 《やさしく》互いに人格を尊重し、協力する人になろう ・ 《かしこく》自ら求め自ら学び、道を切りひらく人になろう ・ 《たくましく》心身ともに健やかで、責任感のある人になろう

(3) 教職員研修

教職員が担当職務の遂行に必要な資質の向上を図るとともに、今後の学校教育にかかわる諸課題に対応するため、各種の研修や研究活動を推進しています。本年度も、東京都教育委員会や、市教育委員会の研究指定を、市内の全ての公立学校が受けて校内研修を進めています。また、授業力向上に向けた実践的な研修やライフステージに合わせた研修を、今年度も実施しています。

①平成26年度 立川市学校教育における「教育課程への対応」に関する事業について



②研修事業

ア 課題別研修・職層研修

研 修 会 名	内 容
人 権 教 育	・人権教育の基本 ・人権教育の実際 (全3回)
生 活 指 導	・事例研究 (全1回)
道 徳 教 育	・道徳教育の実際 (全3回)
特 別 支 援 教 育	・特別支援教育についての基本的な理解にかかわる研修等 (全7回)
管 理 職 等	・校長研修－学校経営・人材育成等 ・新任校長－校長の役割と実際 ・副校長研修－学校経営・人材育成等 ・新任副校長－副校長の役割と実際 ・新任主幹教諭－主幹教諭の役割と実際 ・新任主任教諭－主任教諭の役割と実際 ・教務主任、生活指導主任－市の教育課題の解決等
授 業 力 ア ッ プ	・各教科等のモデル授業 (7回) (全9回)
達 人 に 学 ぶ サ マ ー デ ィ ズ	・一般教養 (全2回)
外国語活動研修	・外国語活動の実際 (全4回)

イ 必修研修

研 修 会 名	内 容
10年経験者研修	○校外における研修 ・学習指導・生活指導・進路指導 ・公務員としての資質向上 ○校内における研修 ・学習指導・生活指導・進路指導 ・公務員としての資質向上
若手教員育成研修 (初任者研修)	○センター研修 ○課題別研修 ○宿泊研修 ○校内における研修
若手教員育成研修 (2年次研修)	○センター研修 ○校内における研修
若手教員育成研修 (3年次研修)	○センター研修 ○校内における研修
4 年 次 研 修	○校内における研修 ○授業参観研修

ウ 宿泊研修

研 修 会 名	内 容
初 任 者 研 修	・立川市八ヶ岳山荘における研修 (2泊3日)

③教育研究事業

市教委の学校教育の指針「確かな力 やさしい心 個を輝かせ 社会のために」を実現するために実践研究を行い、その成果と課題について公開していきます。

ア 研究協力校

学 校 名	研 究 主 題	期 間
第 二 小 学 校	自分の考えを進んで伝え合う児童の育成 ～通じ合い響き合う対話型授業を目指して：国語科～	平成25～26年度
第 八 小 学 校	共に学び、一人一人が輝く児童の育成 ～「分かる、できる」を実感させる体育指導の工夫～	平成26～27年度
けやき台小学校	学級力を高める指導の工夫 ～課題を見付け、主体的に解決しようとする児童の育成を通して～	平成26～27年度
西 砂 小 学 校	伝え合う力の育成～国語・体育を中心として～	平成25～26年度
南 砂 小 学 校	知識を活用して思考する子どもの育成	平成26～27年度
若 葉 小 学 校	自分の考えを伝え合う児童の育成 ～言語活動の充実を通して～	平成26～27年度
幸 小 学 校	自分たちで考えよう自分たちで成し遂げよう ～特別活動の工夫を通して～	平成25～26年度
松 中 小 学 校	豊かな言葉を生活に生かす子供を育てる指導の工夫 ～国語科の指導を通して～	平成26～27年度
柏 小 学 校	健康でたくましい児童の育成 ～心と体を育てる指導法の工夫～	平成25～26年度
上 砂 川 小 学 校	「自他の考えを大切に学び合う児童の育成」 ～算数的活動の充実を通して～	平成26～27年度
新 生 小 学 校	自ら学びを創る子どもの育成（学力向上） ～「言葉の力」を生かした学び合い～	平成25～26年度
立川第五中学校	確かな学力を支える言語能力の育成 ～教科、領域等における言語活動の充実～	平成26～27年度
立川第六中学校	「自他を尊重する人権感覚を育む教育活動」 ～自尊感情や自己肯定感、思いやりの心を育てるための教育活動の工夫～	平成26～27年度
立川第七中学校	自ら学び続ける姿勢・態度の育成 ～自主学習ができる生徒の育成をめざして～	平成25～26年度
立川第八中学校	通級指導学級と通常学級との連携 ～学び合い、支え合う関係づくりを目指して～	平成26～27年度
立川第九中学校	互いの良さを認め合い高め合う生徒の育成 ～自他を尊重できる生徒の育成を目指して～	平成26～27年度

イ 学力向上推進研究校

学 校 名	研 究 主 題	期 間
第 一 小 学 校	確かな学力を育む指導体制の工夫 ～課題にあった読みの力を身に付けさせるために～	平成25～26年度
第 十 小 学 校	基本的事項の確実な習得をめざして ～ドリル学習、放課後算数教室を通して～	平成25～26年度
立川第四中学校	基礎基本を習得し、確かな学力を築く ～授業改善と学習機会の拡充を通して～	平成25～26年度
第 三 小 学 校	学力向上を図る効果的な指導法の研究 ～国語科の読みの指導を通して～	平成26～27年度
大 山 小 学 校	個の読み取る力を高める指導法の工夫 ～国語科を通して～	平成26～27年度
立川第二中学校	自ら学び続ける意欲をもった生徒の育成 ～伝え合い、支え合い、学び合う学習活動を取り入れた指導の工夫～	平成26～27年度

ウ 教育力向上推進モデル校

学 校 名	研 究 主 題	期 間
第 一 小 学 校	9年間を見通した「確かな学力」の育成に向けた教育活動の展開 ～小・中学校の円滑な接続を目指して～	平成26～28年度
第 四 小 学 校	9年間を見通した「確かな学力」の育成に向けた教育活動の展開 ～小・中学校の円滑な接続を目指して～	平成26～28年度
第 五 小 学 校	学びや育ちをつなぐ指導の工夫	平成26～28年度
第 六 小 学 校	保護者・地域との連携を基盤とし、市民力を生かした教育活動の推進	平成26～28年度
第 七 小 学 校	児童が主体的に学ぶ授業づくり ～国語科説明文を中心に、支援のあり方を工夫して～	平成26～28年度
第 九 小 学 校	教室にいるだれもが学習に参加し、理解できる授業づくり	平成26～28年度
立川第一中学校	9年間を見通した「確かな学力」の育成に向けた教育活動の展開 ～小・中学校の円滑な接続を目指して～	平成26～28年度
立川第三中学校	保護者・地域との連携を基盤とし、市民力を生かした教育活動の推進	平成26～28年度

エ 国や都の研究校等

○言語能力向上拠点校（東京都教育委員会）

学 校 名	研 究 主 題 等	期 間
第 十 小 学 校	言語活動の充実を図り、児童の「伝え合う力」を高める学習活動の推進	平成26年度
立川第二中学校	自ら学び続ける意欲をもった生徒の育成 ～伝えあい、支え合い、学び合う学習活動を取り入れた指導の工夫～	平成26年度

○人権尊重教育推進校（東京都教育委員会）

学 校 名	研 究 主 題 等	期 間
立川第七中学校	社会に目を向け、よりよい未来を拓く意欲に満ちた生徒の育成	平成26～27年度

○学力向上パートナーシップ事業（東京都教育委員会）

学 校 名	研 究 目 標	期 間
第 一 小 学 校	重点教科国語科による学力の定着のための児童・生徒への効果的な指導方法の開発に資する調査研究を行い、その事業成果の共有と取組の普及を図る。	平成25～26年度
第 四 小 学 校		平成25～26年度
立川第一中学校		平成25～26年度

○オリンピック教育推進校（東京都教育委員会）

学 校 名	研 究 目 標	期 間
第 六 小 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの学習を通して、児童のスポーツへの興味・関心を育む。 ・オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念の学習を通して、国際的なスポーツ大会等が世界平和に果たしている役割を理解させる。 ・世界の国々の文化や歴史を学び、交流することを通して国際理解を深める。 ・スポーツを通して、心身の調和的な発達をめざす。 ・進んで平和的な社会の実現に貢献できる態度を育てる。 	平成26年度
上 砂 川 小 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年において、一人一人の児童が整った環境の中で意欲的に活動し、すべての領域の内容を経験することにより、総合的に体力を高められる体育の授業や体育的活動の実践を図る。 ・全学年において年間を通して体力調査の各種目の全国平均値以上を目標として、それにつながる活動を行う。 ・オリンピック・パラリンピックや参加する国々についての知識・理解を深め、興味・関心を高める。 	平成26年度
立川第二中学校	オリンピックやパラリンピックをはじめとするスポーツ大会の意義や役割を理解して、積極的にスポーツに親しみ、生涯を通しての健康増進や体力向上を目指す意欲と態度を高める教育活動を展開していく。	平成26年度

○理数フロンティア校（東京都教育委員会）

学 校 名	研 究 主 題	期 間
柏 小 学 校	主体的な問題解決を促す理科の指導法の工夫	平成26年度
立川第四中学校	生徒の興味・関心を高め、科学的思考を深める指導方法の工夫	平成26年度

オ 研究委託

教育課程の適正な実施に向けて、教科、領域等の指導内容や指導方法を研究主題とした研究委託をします。

グループ名	代表者名	研究主題
小学校校長会	高藤 一伸 (第二小学校長)	学校改善を推進する活力ある学校経営の在り方
中学校校長会	常盤 隆 (立川第二中学校長)	「学校の組織運営を担う人材育成の在り方」 －副校長・教育管理職候補者等の育成－
小学校教育研究会	難波 芳男 (小学校長)	学力・体力向上にともなう授業改善
中学校教育研究会	太田 元 (中学校長)	「基礎・基本を身に付け、主体的に学ぶ力を育てる」 －学ぶ意欲をもった生徒の育成－

(4) 立川市立学校使用教科用図書

ア 立川市立小学校使用教科書

科目	種目	発行者
国語	国語	教育出版(株)
国語	書写	教育出版(株)
社会	社会	東京書籍(株)
社会	地図	(株)帝国書院
算数	算数	学校図書(株)
理科	理科	教育出版(株)
生活	生活	教育出版(株)
音楽	音楽	(株)教育芸術社
図画工作	図画工作	開隆堂出版(株)
家庭	家庭	東京書籍(株)
体育	保健	東京書籍(株)

※上記の教科書は平成23年度から平成26年度まで使用します。

イ 立川市立中学校使用教科書

科目	種目	発行者
国語	国語	光村図書出版(株)
国語	書写	光村図書出版(株)
社会	地理的分野	(株)帝国書院
社会	歴史的分野	東京書籍(株)
社会	公民的分野	東京書籍(株)
社会	地図	(株)帝国書院
数学	数学	東京書籍(株)
理科	理科	東京書籍(株)
音楽	一般	教育出版(株)
音楽	器楽合奏	教育出版(株)
美術	美術	光村図書出版(株)
保健体育	保健体育	(株)学研教育みらい
技術・家庭	技術分野	東京書籍(株)
技術・家庭	家庭分野	東京書籍(株)
外国語	英語	(株)三省堂

※上記の教科書は平成24年度から平成27年度まで使用します。

（５） 教育相談

いじめ・不登校など教育や子どもの心の問題が深刻化していますが、立川市教育委員会では教育相談を実施し、保護者や本人からの様々な相談に応じています。また、不登校対策として適応指導教室を開設し、在籍校への復帰を目指して指導を行っています。

①教育相談

教育相談には、臨床心理士の資格をもった相談員がおり、いじめや子育てなど様々な悩みに応じて、カウンセリングや遊戯療法、箱庭療法等による心理療法、助言などを行っています。また、来室が困難な方には、電話やファクシミリによる相談も受け付けており、相談に対する助言や情報提供等を行っています。

区分	所在地	電話番号	相談時間
教育相談	錦町３－２－２６ (子ども未来センター内)	TEL 527-6171 FAX 528-6875	月～土曜日 午前９時～午後５時

②巡回相談

特別支援教育課の教育相談員（臨床心理士）が学校を訪問し、通常の学級に在籍する特別な支援や配慮を要する児童・生徒の実態把握や、対象児童・生徒の理解や関わりに対する助言等を行います。平成26年度からは巡回専任の心理職を加配し、担当する中学校区内の全小・中学校にて月２回程度実施いたします。

ア 平成25年度相談件数

・来室による相談 295件 ・電話による相談 303件

イ 平成25年度来室相談学齢別相談件数

区 分	件数	区 分	件数	区 分	件数
未就学幼児	23	小学４年～６年生	83	高校生以上	20
小学１年～３年生	94	中学生	70	その他	5

③適応指導教室

小学校の不登校児童のために適応指導教室「おおぞら」を、柏小学校内に開設しています。また、中学校の不登校生徒のために適応指導教室「たまがわ」を、錦学習館２階に開設しています。どちらの教室でも、個別や小集団での指導を行いながら、社会性を身に付け、再び在籍校で楽しい学校生活が送れるよう指導を行っています。

(平成26年 6 月 1 日現在)

学 級 名	所 在 地	電 話 番 号	開設 年月	学級数	児童・生徒数			教員数
					男	女	計	
小学校適応指導教室 「おおぞら」	柏町 4－8－4 (柏小学校内)	534－0327	平. 10. 6	1	6	5	11	3
中学校適応指導教室 「たまがわ」	錦町 3－12－25 (錦学習館 2 階)	506－0016 (内線4084)	平. 17. 9	1	2	6	8	3

④ハートフルフレンドの派遣

不登校気味の児童・生徒と触れ合い、相談相手、学習の支援者や遊び相手となることで、学校不適応や不登校等の未然防止と改善・解消を図るため、平成15年度から国の委託事業を受けて小学校4校から事業を始めています。毎年3校ずつ増やし、委託事業が終了した平成21年度より、全額市費で全ての小・中学校に週1日配置し、相談体制を確立しています。

⑤スクールカウンセラーの配置

小・中学生の様々な悩み事の相談に応じ、いじめや不登校、暴力行為や学校不適応等の改善・解消を図るため、臨床心理士の資格を有するスクールカウンセラーを小・中学校に配置し、カウンセリングを行っています。スクールカウンセラーは、東京都が雇用し、小・中学校に週1日配置しています。

⑥スクールソーシャルワーカーの派遣

いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など、生活指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童・生徒が置かれた様々な環境に働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりして、課題を抱える児童・生徒に支援を行います。スクールソーシャルワーカーは、派遣要請のあった学校に派遣します。

⑦学校と家庭の連携推進事業

登校することに対する不安など、課題を抱えている児童・生徒に関する課題解決を図るため支援員を配置し、保護者との連携や校内委員会の開催などを行っています。また、スーパーバイザーとして臨床心理士等の講師を招聘し講習を行い、助言をもらっています。学校と家庭の連携推進事業はすべての小・中学校で活用されています。

(6) 特別支援教育

①特別支援学級

障害のある全ての児童・生徒の教育の一層の充実を図るために、立川市教育委員会では、小学校11校、中学校6校に特別支援学級を設置しています。これらの学級では、障害のある児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適

切な指導及び必要な支援を行っているほか、指導用備品なども充実させるように努め、きめ細かな対応を図っています。学級は知的障害、情緒障害等、難聴、言語障害に分けられており、このうち、情緒障害等、難聴、言語障害学級については在籍校があり、一定時限のみ特別支援学級へ通う通級制度となっています。平成26年度から第八小学校に情緒障害等通級指導学級を新設いたしました。

ア 設置校

(平成26年 5 月 1 日現在)

学校名	学級名	種別	開設 年月	学級数	児童・生徒数	教員数
第一小学校	あおぞら学級	知的障害	昭29.4	3	17	4
第五小学校	こだま学級	知的障害	昭32.6	2	16	3
第九小学校	くわのみ学級	知的障害	昭59.4	4	28	5
第十小学校	すずかけ学級	知的障害	昭50.4	2	10	3
若葉小学校	たんぼぼ学級	知的障害	昭63.4	2	11	3
新生小学校	ひまわり学級	知的障害	平16.4	1	8	2
立川第一中学校	I組	知的障害	昭53.4	3	18	4
立川第二中学校	6組	知的障害	昭39.4	1	5	2
立川第五中学校	10組	知的障害	昭53.4	3	20	4
第二小学校	あけぼの学級	情緒障害等	昭55.4	5	42	6
第七小学校	あすなろ学級	情緒障害等	平21.5	4	33	5
第八小学校	つばさ学級	情緒障害等	平26.4	3	24	4
松中小学校	はらっぱ学級	情緒障害等	平18.4	5	43	6
立川第三中学校	羽衣学級	情緒障害等	平24.4	2	13	3
立川第六中学校	泉学級	情緒障害等	平元.4	1	8	2
立川第八中学校	富士見学級	情緒障害等	平9.4	1	6	2
第七小学校	ことばの教室	言語障害	平18.4	3	41	4
けやき台小学校	きこえとことばの教室	難聴・言語障害	昭51.4	5	65	6

②特別支援教育支援員の配置

通常の学級に在籍する支援や配慮が必要な児童・生徒に対し、学校のニーズに合わせ、学習支援や安全確保など学校生活全般の支援を行っています。全額市費で全小・中学校に月に13日配置しています。

③就学・転学相談

障害のある幼児・児童・生徒の就学については、特別支援教育課（子ども未来センター）に教育管理職経験者や臨床心理士等の資格をもった就学相談員を配置し、保護者からの相談に応じて、一人一人の子どもに合った教育の場を共に考え、適切な就学ができるよう相談を行っています。また、通常の学級に在籍する児童・生徒や転入してきた児童・生徒が特別支援学級等へ転学・入

級を希望する場合は、随時、転学相談を受け付けています。

ア 平成25年度就学・転学相談件数

区 分	小 学 校	中 学 校	計	区 分	小 学 校	中 学 校	計
就学相談	74	31	105	転学相談	17	2	19

(7) 国際理解教育

国際化が進展する中であって、これからの学校教育においては、世界の人々の生活や文化に対する理解を深めるとともに、わが国の文化や伝統を正しく認識し、互いに尊重し合って行動できる人間を育成することが求められています。立川市教育委員会では、こうした点を踏まえて、国際理解教育の推進を重要な課題としてとらえ、「学校教育の指針」の中に盛り込むとともに、各種の関連事業を実施し、その推進を図っています。

①外国人留学生・研修生との交流

立川市では、姉妹都市であるアメリカ・サンバーナディノ市との交換留学生制度を実施し、サンバーナディノ市の高校生が毎年来日しています。また、国際交流支援ネットワークという民間団体が、立川マラソンが縁で交流が始まったニューカレドニアの中学校の研修生を、隔年で受け入れています。このような機会を通して、昨年度は、市内の小・中学校の児童・生徒と相互交流を図ったり、互いの国の生活、文化、習慣に慣れ親しんだりすることで国際親善・国際理解を図ってまいりました。

②市内の外国人学校との交流

市内にある西東京朝鮮第一初中級学校や横田基地内の横田イーストスクールなどを市内の小学生が訪問したり、訪問を受けたりし、図工の学習や音楽を通じての交流等を行っています。また、西東京朝鮮第一初中級学校の中学生在が中学校の連合音楽会に参加するなどし、練習の成果を競い合うとともに、交流を深めています。

③外国語指導助手（A L T）の配置

小学校外国語活動及び中学校外国語（英語）教育の指導の充実と国際理解教育を推進するため、全ての市立小・中学校へ学習指導補助等を行う外国語指導補助員（A L T）を派遣しています。

A L Tは授業だけでなく教員研修等への参加や教材の作成補助及び教材研究の情報提供なども行い、外国語活動の充実に努めています。

④通訳協力員の配置

小・中学校に編入する帰国子女や外国人の児童・生徒で、日本語の理解が十分でない子どもたちのために、主に授業の通訳をする通訳協力員を在籍校に配置し支援を行っています。

(8) 情報教育

情報化社会が急速に進展する中、小・中学校では、総合的な学習の時間や技術・家庭科（中学校）等で情報教育に取り組んでいます。立川市教育委員会では、これまで、コンピュータ機器の導入を順次進めてきました。平成11年度に、全小・中学校にインターネットを接続して以来、コンピュータをはじめとする教育機器を活用した授業の工夫・実践を重ね、情報教育の推進を図っています。

①コンピュータ機器の整備

教育用コンピュータは平成12年度に導入が開始され、平成24年度には小学校で1校につき21台（1台は先生機）、平成20年度に中学校で1校につき42台（1台は先生機）を更新し、平成23年度には授業用として地上デジタルテレビに接続可能なノートパソコンを各校3台ずつ整備しました。これらの教育用コンピュータは、総合的な学習の時間の中で調べ学習に利用する他、技術・家庭科でパソコンの操作やソフトの活用方法を学ぶとともに、理科や数学、国語等の教科でも利用しています。

教職員用コンピュータについては、平成23年度に、教職員用コンピュータの1人1台化を達成し、平成24年度は、550台コンピュータの更新を行いました。

学校図書館システムについては平成19年度から導入し、平成23年度には小学校全校、平成24年度には中学校全校に導入が完了しました。このシステムにより、全小中学校において図書の貸し出しや返却がスムーズに行われるようになりました。

②インターネットの活用

市の地域情報化計画の一環として、市内のCATV「マイ・テレビ」の回線を利用した双方向通信実験というかたちで、平成9年度から市内の小・中学校3校（平成10年度は4校）でインターネットの利用を開始しました。平成11年度からは、全小・中学校に双方向通信用の各2台のコンピュータを設置し、その後、パソコン室の整備に伴い、パソコン室で学習をする際にインターネットが利用できるようになりました。調べ学習等の情報収集や電子メールによる情報の交換を行い、ホームページの開設など活用範囲を広めています。平成17年度には、全小・中学校にインターネット用コンピュータ各2台を職員室に配備しました。

③地上デジタル放送対応テレビの整備

平成21年度国の補助金等を活用し、全小学校に410台、全中学校に156台を普通教室等に整備しました。地上デジタル放送対応テレビは、パソコンやデジタルカメラと接続することにより、分かりやすい授業ができるなど、大きな学習効果があります。

④学校ホームページの再構築

平成25年度に、各学校で運営している学校ホームページの内容更新が容易にできるシステムの導入を検討するため、全国の学校ホームページの動向や現在の各学校におけるホームページ運営の状況等について、委託による調査を実施しました。この調査を受け、平成26年8月頃を目途に、質の高い新システムに再構築し、地域や保護者に積極的な情報発信を進めます。

(9) キャリア教育・進路指導

生徒一人一人の興味、関心、能力、適性を尊重したキャリア教育・進路指導を推進するため、中学校進路指導問題協議会を設け、各学校におけるキャリア教育・進路指導の実態把握を行うとともに、望ましいキャリア教育・進路指導の検討、指導資料等の作成を行っています。そして、各学校では、協議会の検討結果などを踏まえてキャリア教育・進路指導の計画を立て、主に1年生で地域の職場訪問、2年生で職場体験学習や高校等の上級学校への訪問などを行い、生き方や進路への興味、関心を高めさせるとともに、自己理解を進め、3年生での具体的な進路選択の能力を養います。また、各学校には進路学習室等が設けられ、進路に関連する資料を備えて、生徒への情報提供に努めているほか、休み時間や放課後を利用して、教師が生徒からの相談に応じています。

①平成26年度（25年度卒業）中学校課程・学科別進学状況

学校			性別	男		女		計	
				人 数	比 率	人 数	比 率	人 数	比 率
高 等 学 校	全 日 制	普通科	525	79.2%	495	82.6%	1020	80.8%	
		総合学科	4	0.6%	14	2.3%	18	1.4%	
		農業科	2	0.3%	10	1.7%	12	1.0%	
		工業科	51	7.7%	6	1.0%	57	4.5%	
		商業科	9	1.4%	19	3.2%	28	2.2%	
		その他	11	1.7%	13	2.2%	24	1.9%	
		計	602	90.8%	557	93.0%	1,159	91.8%	
	定 時 制	普通科	31	4.7%	23	3.8%	54	4.3%	
		農業科	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%	
		工業科	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%	
		商業科	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		総合学科	4	0.6%	1	0.2%	5	0.4%	
		その他	0	0.0%	2	0.3%	2	0.2%	
		計	36	5.4%	27	4.5%	63	5.0%	
特別支援学校高等部			10	1.5%	5	0.8%	15	1.2%	
高等専門学校			4	0.6%	0	0.0%	4	0.3%	
高等学校通信制			11	1.7%	10	1.7%	21	1.7%	
合 計			663	100%	599	100%	1,262	100%	

②年度別進路状況の推移

年 度	卒業生数	進 学 者		専修学校等 入学者		左欄のうち 就職進学者	就 職 者		そ の 他	
		人数	比率	人数	比率	人数	人数	比率	人数	比率
20年度	1,246	1,196	96.0%	14	1.1%	0	8	0.6%	28	2.3%
21年度	1,294	1,230	95.1%	35	2.7%	0	8	0.6%	21	1.6%
22年度	1,259	1,199	95.2%	29	2.3%	0	8	0.7%	23	1.8%
23年度	1,242	1,212	97.5%	27	2.2%	0	1	0.1%	2	0.2%
24年度	1,267	1,233	97.3%	16	1.3%	1	6	0.5%	12	0.9%
25年度	1,299	1,262	97.2%	17	1.3%	0	7	0.5%	13	1.0%

(10) 旅行・集団宿泊的行事

平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについて、望ましい体験を積むとともに、児童・生徒相互や教師と日常生活では得られない交流を図ることを目的に、小学校では八ヶ岳自然教室と日光移動教室を、中学校では移動教室と関西方面への修学旅行を実施しています。

①八ヶ岳自然教室

小学5年生を対象に各学校ごとに春から秋にかけて実施するもので、立川市八ヶ岳山荘に宿泊し、2泊3日の行程でハイキングや自然観察、飯ごう炊さん、キャンプファイアーなどを行い、八ヶ岳の自然に親しむとともに、集団生活の中での生活習慣を身に付けます。

②日光移動教室

従来学校行事として行われてきた日光修学旅行を、学習指導の体験学習として位置付け、平成7年度から小学6年生を対象に日光移動教室を実施しています。毎年6月に実施するもので、日光の湯ノ湖畔に宿泊し、2泊3日の行程で名所・旧跡を見学したり、自然の中を散策したりし、様々な体験学習をするとともに、小学校生活最後の思い出として集団生活を楽します。

③中学校移動教室

中学1年生を対象に、各学校ごとに計画・実施されており2泊3日の行程で、冬季にスキー教室を行っています。

④中学校修学旅行

中学3年生が中学校生活最後の思い出として、2泊3日の行程で歴史ある都市を訪れます。訪問先は学校ごとに計画し、主に京都・奈良の名所や旧跡を見学しています。最近は生徒の自主性・自律性を育む視点から班行動の時間を設けており、それぞれが事前に下調べをして施設を見学し、見聞を広めています。

(11) 立川教育フォーラム

市内の小・中学校の教育実践を広く市民に紹介し、立川市の教育への理解と関心を高めていただくために、第10回立川教育フォーラムを平成26年2月8日（土）に開催しました。

当日は、立川市教育委員会並びに小・中学校における学力向上を図るための取組について、実践紹介するとともに、北九州市立小倉中央小学校教諭菊池省三先生を講師に招き、「学力向上とコミュニケーション能力の育成」という演題で、講演を行いました。



講演「学力向上とコミュニケーション能力の育成」

3. 就学援助

経済的理由により、児童・生徒に義務教育を受けさせることが困難な場合には、関係法令に基づいて、学用品費や給食費などを援助し、教育の機会均等を図っています。援助の対象は、立川市民で立川市立の小・中学校及び国・公立小中学校に通う児童・生徒の保護者のうち、生活保護法に定める「要保護者」と、世帯の収入によって教育委員会がこれに準ずると認めた「準要保護者」で、これらの世帯に対し、学用品・通学用品費、給食費、校外活動費、医療費など7種類の費目の援助を行っています。援助する費目や額は、要保護・準要保護の別、学校、学年によって多少異なります。なお、要保護者の世帯については、これら就学援助対象経費の一部を教育扶助として福祉保健部生活福祉課から支給しています。

(1) 認定者数の推移

年度	区分	在籍者数	区分別認定者数	
			要保護	準要保護
23年度	小学校	8,661	203	1,419
	中学校	3,745	122	763
	計	12,406	325	2,182
24年度	小学校	8,577	211	1,360
	中学校	3,771	119	722
	計	12,348	330	2,082
25年度	小学校	8,532	226	1,322
	中学校	3,787	118	713
	計	12,319	344	2,035

※在籍者数は5月1日現在数で、平成23年度からは通常級のみ数
 ※区分別認定者数は年度末（3月31日現在）数
 ※いずれも立川市立小・中学校分のみ

(2) 支給費目と金額

費 用	支給金額
給 食 費	実費相当額
学用品・通学用品費（年額）	小学1年 11,110円 小学2～6年 13,310円 中学1年 21,780円 中学2・3年 23,980円
校 外 活 動 費	対象経費の実費相当分
新入学学用品費	小学1年 19,900円 中学1年 22,900円
修 学 旅 行 費	対象経費の実費相当額
医 療 費	本人負担分
卒業アルバム代	小学校 4,500円 中学校 5,000円

※医療費の支給は対象となる疾病のみ
 ※支給金額は平成25年度の金額

4. 学校保健

生活様式や社会環境などの著しい変化は、運動能力の低下や、いじめや不登校といった心の健康に関する問題の増加など、子どもたちの心身に様々な影響を与えています。また、薬物乱用や性の逸脱行為、生活習慣病、感染症など、健康に関する現代的課題も深刻化しています。立川市教育委員会では、こうした状況を踏まえ、学校や学校保健会などとも連携を図って、定期健康診断をはじめとする各種の検診を実施しているほか、児童・生徒の心と体の健康づくりを目指し、様々な行事を通じて、その意識高揚に努めています。

(1) 主な検診と事業

①定期健康診断

毎年4月から6月にかけて、全児童・生徒を対象に身長、体重および座高の計測や、学校医による内科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科の健康診断などを実施し、診断結果に基づいて、疾病の予防および治療を指導しています。

②結核診断

平成15年度から小・中学校におけるBCG接種が廃止となったため、全児童・生徒に問診票を配布し、学校医の判断により精密検査が必要とされる場合には、レントゲン直接撮影を行うよう指導しています。

③心臓検診

小学1年生・中学1年生全員および学校医が必要と認めた児童・生徒を対象に問診票と心電図による1次検診を実施し、その結果、精密検査が必要と認めた児童・生徒には、胸部X線直接撮影などによる2次検診を実施しています。さらに異常所見者に対しては、管理説明会を行っています。

④尿検査（腎臓病検査）

全児童・生徒を対象に尿検査を実施し、1次検査でたんぱく、糖、潜血を調べ、所見者を対象に2次検査を実施しています。さらに異常所見者に対しては、3次検査および管理説明会を行っています。

⑤ぎょう虫卵検査

小学1～3年生を対象にセロハンテープ方式による1次検査を実施し、その結果、陽性者について2次検査を行います。

⑥就学时健康診断

翌年度就学予定の児童を対象に、内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科等の健康診断を毎年11月ごろに実施しています。

⑦健康努力児童・生徒の表彰

年間を通して体力の向上に努めたり、病気を克服して積極的に学校行事に参加したり、学校の保健活動に取り組んだなど、他の模範になった児童・生徒を1年に1回表彰しています。平成25年度は、81人の児童および23人の生徒が表彰を受けました。

⑧歯と口の健康週間児童・生徒ポスター展

毎年、歯と口の健康に関する正しい知識等を啓発するため、小学5・6年生及び中学1年生の作品展を実施しています。

平成25年度は、柴崎学習館を会場に、応募作品のうち、小学生の作品200点と中学生の作品95点を展示しました。

⑨AED（自動体外式除細動器）の設置

平成17年度末に市内の小・中学校全29校にAEDを設置し、緊急時の対応に備えています。

(2) 児童・生徒の体位平均値（平成25年度）

①小学校

区分		身長（cm）			体重（kg）			座高（cm）		
		市平均	都平均	全国平均	市平均	都平均	全国平均	市平均	都平均	全国平均
1年	男	115.8	117.1	116.6	21.1	21.5	21.3	64.3	65.1	64.8
	女	115.2	115.9	115.6	20.6	21.0	20.9	64.0	64.5	64.4
2年	男	122.8	123.2	122.4	24.1	24.0	23.9	67.4	67.9	67.6
	女	123.2	121.9	121.6	23.4	23.5	23.5	67.2	67.3	67.3
3年	男	129.1	128.8	128.2	27.5	27.4	27.1	70.3	70.6	70.2
	女	129.3	127.6	127.3	26.3	26.1	26.4	69.9	69.9	69.9
4年	男	133.9	133.9	133.6	30.3	30.6	30.4	72.7	72.7	72.6
	女	133.4	134.3	133.6	29.5	30.1	30.0	72.5	73.0	72.8
5年	男	138.8	139.9	139.0	33.5	34.8	34.3	74.6	75.3	75.0
	女	140.2	140.4	140.1	34.0	33.8	34.0	75.7	76.0	75.8
6年	男	144.8	145.7	145.0	37.6	38.9	38.3	77.4	77.9	77.6
	女	147.3	147.3	146.8	39.1	39.0	39.0	79.3	79.5	79.3

②中学校

区分		身長（cm）			体重（kg）			座高（cm）		
		市平均	都平均	全国平均	市平均	都平均	全国平均	市平均	都平均	全国平均
1年	男	152.3	152.5	152.3	42.9	43.9	43.9	80.7	81.3	81.2
	女	151.8	152.0	151.8	42.9	43.5	43.7	82.9	82.1	82.1
2年	男	159.7	159.9	159.5	48.6	49.1	48.8	85.6	85.0	84.8
	女	154.8	155.3	154.8	46.7	47.0	47.1	83.5	83.9	83.8
3年	男	165.4	165.6	165.0	53.8	54.3	54.0	86.6	88.2	88.1
	女	159.1	156.7	156.5	49.7	50.0	49.9	84.9	84.8	84.9

(3) 平成25年度定期健康診断結果

(注) 難聴は小学1・2・3・5年生、中学1・3年生で実施

区 分			小学校							中学校			
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	1 年	2 年	3 年	合計
受 診 者 数			1, 414	1, 381	1, 421	1, 461	1, 485	1, 389	8, 551	1, 256	1, 211	1, 240	3, 707
栄 養	栄 養 不 良		1	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0
	肥 満 傾 向		10	21	28	31	29	24	143	8	6	14	28
脊 柱 側 わ ん 症			2	2	0	3	4	5	16	2	5	15	22
その他の脊柱・胸部異常			1	1	0	3	2	3	10	0	0	0	0
視 力	1. 0 以 上		1, 051	1, 013	964	910	878	719	5, 535	559	510	463	1, 532
	1. 0 未 満 0. 3 以 上		333	321	357	397	350	354	2, 112	311	302	299	912
	0. 3 未 満		13	32	73	103	183	196	600	201	207	226	634
眼 鏡 C T 着 用 者			21	26	67	85	145	181	525	151	175	182	508
感 染 性 眼 疾 患			1	0	1	0	0	2	4	1	6	1	8
アレルギー性眼疾患			73	73	87	73	72	78	456	93	65	96	254
そ の 他 の 眼 疾 患			15	18	17	11	18	17	96	21	22	25	68
難 聴 (両 耳)			48	14	24		11		97	6		4	10
耳 疾 患			211	176	146	156	159	138	986	115	92	84	291
アレルギー性鼻疾患			81	80	116	120	146	119	662	140	135	168	443
鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患			96	118	112	68	83	71	548	34	36	33	103
口 腔 咽 喉 頭 疾 患			40	16	28	24	28	12	148	7	9	7	23
感 染 性 皮 膚 疾 患			5	13	2	1	4	1	26	0	0	0	0
アレルギー性皮膚疾患			69	90	74	75	82	59	449	40	21	39	100
心 臓 疾 患 ・ 異 常			34	30	13	18	11	12	118	9	7	7	23
気 管 支 ぜ ん 息			130	124	108	123	113	115	713	59	30	37	126
腎 臓 疾 患			5	2	4	3	2	2	18	2	2	2	6
その他の疾患・異常			17	23	18	16	22	16	112	15	7	5	27
歯 口 腔 の 検 査	う 歯	受 診 者 数	1, 411	1, 374	1, 412	1, 458	1, 474	1, 382	8, 511	1, 254	1, 215	1, 239	3, 708
		処 置 完 了 者	298	399	480	454	444	346	2, 421	319	352	372	1, 043
		未 処 置 者	306	382	436	390	398	240	2, 152	196	222	239	657
	歯 周 疾 患		1	2	8	5	8	5	29	1	1	1	3
	歯列・咬合・顎関節異常		28	24	30	52	40	39	213	4	6	10	20
	その他の疾患・異常		7	7	4	20	5	7	50	1	0	1	2

(4) 災害共済給付

学校管理下における児童生徒の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）に対して、医療費や見舞金を給付するために、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済に加入し、市が掛金を全額負担しています。

①給付件数・金額推移

区分	小学校		中学校	
	給付件数(件)	給付金額(円)	給付件数(件)	給付金額(円)
23年度	742	3,873,605	526	4,002,788
24年度	856	4,130,444	480	3,320,010
25年度	667	4,114,826	493	4,212,746

②傷病別事故件数推移

区 分		創傷	骨折	ねんざ	打撲	脱きゅう	その他	計
小学校	23年度	71	91	80	172	25	23	462
	24年度	88	110	89	166	21	53	527
	25年度	65	90	77	114	10	39	395
中学校	23年度	37	79	53	86	2	16	273
	24年度	14	67	56	95	8	32	272
	25年度	13	68	60	67	3	24	235

5. 子どもの安全安心

児童の登下校の安全のため、市内在住・在籍の小学校新1年生に、防犯ブザーを貸与するとともに、市立小学校が地域の方等と協働で作成した地域安全マップを、全児童及び地域の関係者等へ配布しています。

また、通学中の児童が犠牲になる交通事故が平成24年度当初に続けて発生したことを受け、文部科学省及び国土交通省並びに警察庁から、市町村等で「小学校の通学路における緊急合同点検」を実施するよう依頼がありました。これに基づき、市立小・中学校26校において学校・教育委員会・交通管理者・道路管理者等が合同で点検を実施しました。なお、対象点検箇所については学校による安全対策と共に、道路管理者・交通管理者による対策も継続して実施しています。

- ・防犯ブザー貸与数：1,476件
- ・地域安全マップ印刷数：11,100枚
- ・通学路点検箇所数：85か所

6. 学校規模適正化

市教育委員会は、立川市立学校適正規模等審議会からの「立川市立小・中学校の適正規模等について」の答申（平成10年3月27日）を受け、平成12年11月に「立川市立学校規模適正化実施方針」を策定しました。その方針に基づき、平成16年4月、旧多摩川小学校と旧南富士見小学校を統合し「新生小学校」を設置しましたが、平成15年6月、けやき台小学校と若葉小学校などについては、統合は行わないことを決定しました。

実施方針策定後10年以上を経過した平成23年4月22日には「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律」が公布・施行され、昭和55年に45人から40人に変更されて以来31年ぶりに、小学校第1学年における1学級の編制人数が35人に変更されました。また、平成24年度には小学校第2学年で、平成25年度には中学校第1学年で、35人での学級編制が可能となりました。

このような状況の中、平成23年度から24年度にかけて学校適正規模についての検討を行い、平成25年3月22日、「立川市における小学校の学校適正規模の基本的な考え方」を以下のとおり決定しました。

立川市教育委員会は、教育目標である「生きる力をはぐくみ、確かな力、やさしい心、個を輝かせ、社会のために役立とうとするひとづくり」の実現のため、子どもたちが学校生活で、豊かな人間関係を築き、社会性を培い、生きる力を身につけるための望ましい小学校の適正規模の標準は18学級と考える。

小規模校（11学級以下）及び大規模校（25学級以上）になった場合は、適切な対策を講ずるものとする。

なお、12学級以上であっても、当面、クラス替えができる1学年2学級以上を維持できない場合には、対策について検討する。

今後は、児童数の将来推計や35人学級の動向、地域の特性や課題など、学校を取り巻く様々な要因に留意しながら、教育的視点に基づく適正規模の確保に向け、「通学区域の見直し」、「学校の統合」、「校舎等の増改築」など適切な対策をとるものとする。

7. 学校給食

学校給食は、学校給食法に基づき、児童・生徒の心身の健全な発達のために、栄養バランスのとれた食事を提供することにより健康増進を図り、食事についての正しい理解と望ましい食習慣を養うことなどを目的に実施しています。

また、新学習指導要領において、食育の推進が教育活動全体を通じて適切に行うよう位置付けられたことから、各学校では、給食を活用し、それぞれの特色を生かし作成した計画に基づいて指導を行っています。



食育授業の風景

（1） 小学校給食

小学校では、単独調理方式、共同調理場方式ともに、国の「学校給食摂取基準」や、「立川市学校給食衛生管理基準」などに基づき、栄養バランスと安全衛生に十分配慮して、下記のとおり全校で完全給食を実施しています。

（平成26年5月1日現在）

方 式	調 理	対象校数	給食実施回数	稼動回数(予定)	給食対象者数
単 独 調 理 方 式	自 校	7 校	186回	186回	3,147人
共同調理場方式	学 校 給 食 共 同 調 理 場	13校	186回	192回	6,410人

※第一小学校は単独調理方式ですが、建て替え工事のため、平成26年7月まで学校給食共同調理場で調理しています。

①実施方法

(ア)単独調理方式

第二小学校から第八小学校までの7校で実施しており、各小学校所属の市の栄養士が献立を作成し、各小学校所属の市の調理員が調理をしています。

(イ)共同調理場方式

下表の13校を対象としてA・B2つの献立グループに分け、市の栄養士が献立を作成、委託業者が調理をして、各小学校の配膳室へ配送しています。

(平成26年5月1日現在)

名 称	ブロック	対 象 学 校
学校給食共同調理場	A	一小、西砂小、幸小、大山小、柏小、上砂川小
	B	九小、十小、けやき台小、南砂小、若葉小、松中小、新生小



共同調理場（調理作業）



共同調理場（グリルテーブル）

②食材料

「立川市学校給食用材料調達事務要綱」に基づき、原則として国内産の、安全で衛生的かつ良質な食材料を使用しています。野菜等は立川産を優先して使用しています。

(ア)単独調理校

肉、野菜等の生鮮食品は、各学校の契約業者の中から選定して発注しており、その他の乾物、調味料については学期ごとに、見積もり合わせにより納入業者を選定し、発注しています。

(イ)共同調理場

食材の種類によって、年間、学期、月ごとに、登録業者の見積もり合わせにより納入業者を選定しています。生鮮食品等については見本を提出させ、品質を確認した上で納入業者を選定しており、より安全な食材調達に努めています。

学校給食における地元産野菜等使用率（平成25年度）

単独調理方式小学校	11.5%
共同調理場（小学校）	7.8%
中学校	4.6%

③給食指導

「立川市学校給食指導の手引き」に基づき、

1. 基本的な生活習慣の育成 2. 豊かな人間性の育成 3. 健康の保持・増進
を指導の重点として、各学校の給食主任、食育リーダー、担当栄養士を中心に、それぞれの学校にふさわしい年間指導計画を作成して、給食指導を実施しています。

また、給食主任会を（全校3回、共同調理場校5回）行い、給食指導の充実を図っています。

④給食費

（平成26年5月1日現在）

方 式	学 年	月 額
単独調理方式 (第二小学校～第八小学校)	1・2年生	3,900円
	3・4年生	4,150円
	5・6年生	4,400円
共同調理場方式 (上記以外13校)	1・2年生	3,800円
	3・4年生	4,050円
	5・6年生	4,300円

（２） 中学校給食

中学校給食は、小学校と同様に国の「学校給食摂取基準」や「立川市学校給食衛生管理基準」などに基づき、栄養バランスと安全衛生に十分配慮して、下記のとおり実施しています。

平成9年に2校で試行実施を開始し、平成12年4月から本格実施、その後、校数を段階的に増やして平成14年10月からは全9校で実施しています。

①実施方法

（ア）弁当併用外注給食方式

家庭からの弁当か、民間調理業者が調理・盛り付けしたランチボックスによる給食のどちらかを選択できる方式で、献立の作成、食材料の選定、調達等は市の栄養士が行っています。

（イ）ミルク給食

弁当併用外注給食の実施日に合わせて原則全員を対象として実施しています。

②献立

市の栄養士が、国の「学校給食摂取基準」に基づき献立を作成します。

③食材料

安全で衛生的な食材料を市の栄養士が調達し、委託の民間調理業者に納入しています。

④調理及び配送

- (ア)調理は、市の選定基準および「中学校給食調理等業務委託衛生管理基準」の要件を充足する業者2社に委託しています。
- (イ)委託業者は市の調達した食材を使用して調理し、市の用意したランチボックスへ盛付け、クラス別に配送ケースに入れ、各学校の配膳室に配送しています。また、容器回収、洗浄、消毒、保管、残菜処理も委託業者が行っています。
- (ウ)委託業者の衛生管理に関しては、中学校給食調理等業務委託衛生管理基準を遵守させるとともに、立川市学校薬剤師会に委託し、年間3回学校給食調理場環境衛生検査を実施しています。

⑤給食費

	金額（一食）
中学校	287円

※ミルク代47.64円（消費税別）は別徴収。（平成26年5月1日現在）

⑥利用方法

利用する生徒は、献立表や予約機で献立を確認した後、プリペイドカードを使用して、希望する日の給食を予約します。

⑦給食実施回数（平成25年度実績）

※（ ）内はミルク給食実施回数

学校名	回数	学校名	回数
立川第一中学校	184（180）	立川第六中学校	163（161）
立川第二中学校	188（175）	立川第七中学校	181（177）
立川第三中学校	180（180）	立川第八中学校	178（178）
立川第四中学校	183（183）	立川第九中学校	177（177）
立川第五中学校	186（186）	計	1,620（1,597）
		平均実施回数	180（177）

⑧中学校給食の喫食率推移（年度別）

年度	%	年度	%	年度	%	年度	%
平成9年度	38.2	平成14年度	59.6	平成19年度	65.4	平成24年度	56.6
平成10年度	40.2	平成15年度	65.5	平成20年度	63.5	平成25年度	52.2
平成11年度	43.1	平成16年度	66.7	平成21年度	62.1		
平成12年度	48.4	平成17年度	68.1	平成22年度	60.6		
平成13年度	52.7	平成18年度	66.9	平成23年度	58.7		

<参考資料>

平均供給栄養量（児童・生徒１人１回当たり）

※平成26年５月分

区分 \ 栄養素		エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (%)	食塩相当量 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)
小学校	国標準（中学年）	640	範囲 18～32	エネルギー の25～30%	2.5未満	350	3
	市平均（中学年）	643	25	30.2	2.6	346	2.1
中学校	国標準	820	範囲 25～40	エネルギー の25～30%	3未満	450	4
	市平均	836	31	25.3	3.4	392	3.4

区分 \ 栄養素		ビタミン				食物繊維 (g)	マグネシウム (mg)	亜鉛 (mg)
		A (μgRE)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)			
小学校	国標準（中学年）	170	0.4	0.4	20	5	80	2
	市平均（中学年）	310	0.37	0.55	30	4.6	89	2.9
中学校	国標準	300	0.5	0.6	35	6.5	140	3
	市平均	303	0.43	0.63	45	6.2	112	3.6

（３） 衛生管理

「立川市学校給食衛生管理基準」（平成22年５月改訂）に基づき、次のとおり安全・衛生の確保に努めています。

①施設・設備

施設・設備・配膳室においては作業動線を考慮した配置をし、常に補修、整理整頓、清掃、消毒を行い、衛生器具を適切に備え、また、日常点検、定期点検等を行うなど衛生管理の徹底に努めています。

②従事者

毎月２回の腸内細菌検査や年３回の定期健康診断等により健康状態に常に注意しているほか、服装や手指についても、常に清潔にするように心がけています。

また、東京都等の団体が開催する各種研修への参加や、保健所の協力を得て衛生講習会を開催するなど、衛生管理に関する専門性の向上に努めています。

③食材料

食材料の納入にあたっては、検収責任者立会いのもと、品質、品温、鮮度、賞味期限、規格、数量、異物混入等について確認して記録しています。

納入された食材料は、衛生管理のため一部を2週間冷凍保管しています。

また、納入業者にも従業員の腸内細菌検査の結果や、微生物及び理化学検査の結果を提出させるなど衛生管理の徹底を促しています。

④調理・献立

野菜・果物等は下処理室で3回以上洗浄し、異物混入等を確認しています。

調理は、中心温度が75℃、1分間以上の加熱を原則として、献立ごとの作業手順にしたがって、調理器具等の消毒や取り扱い・使い分けに留意しながら必ず当日に行い、適切な温度管理を行い、調理後2時間以内に喫食できるように努めています。調理後の食品については、共同調理場及び各学校で検食を行うとともに、衛生管理のため一部を2週間冷凍保管しています。

単独調理校では衛生管理上、なま物や和え物については提供を中止しています。共同調理場については、和え物室を整備したことに伴い、温度管理に注意して調理し、提供を開始しました。

残菜・廃品処理についても、分別を徹底し、汚臭・汚液が漏れないように適宜集積場に搬出し、搬出後は清掃を行っています。なお、給食の残菜等について調理場分に関しては、調理場に導入された処理機にて衛生的に処理したのち、肥料化することで、環境にも配慮しています。

⑤その他

配膳・配送・回収についても、同様に衛生管理の徹底を図っています。

児童・生徒に対しては、手洗いの励行や、小学校給食の配膳時は給食当番に白衣・マスク・帽子着用を指導しています。

そのほか、衛生管理体制の整備や、薬剤師等による各種の衛生検査を実施しています。

（４） 小学校給食食物アレルギー対応

近年、アレルギーを持つ児童が増加・多様化している状況の中、平成24年にアレルギー対応方針を見直し、平成25年度よりこの方針に基づき、小学校現場をはじめとした関係者の情報共有のもと、安心・安全なアレルギー対応食の提供に努めています。

保護者からの学校生活管理指導表等の提出のもと、保護者、学校関係者、栄養士の三者面談を行い、児童ごとに具体的なアレルギー対応を決定するとともに、毎月の献立について、保護者、学校と内容の確認を行い、調理においても確認作業の徹底を図っています。

また、平成26年1月からは、全校統一の配膳ルールを定め、学校におけるアレルギー児童の情報の共有と配膳時のチェック体制の徹底を図るとともに、緊急時への対応体制の整備など、アレルギー対応の取組を進めています。

なお、新しい共同調理場では、アレルギー対応専用の調理室により調理を行っており、また、平成25年度からは、単独校、調理場校ともに、乳アレルギー児童に対する豆乳の提供、卵・乳アレルギー児童に対する、卵・乳抜きパンの提供等を行っています。

(5) 主要事業

①食教育支援指導事業

近年、ライフスタイルの多様化などにより、子どもたちの食生活は大きく変化し、偏食や肥満による生活習慣病の増加などが指摘されています。

成長期にある児童・生徒に望ましい食習慣と自己管理能力を身につけさせるため、食の専門家である栄養士が給食時間や食に関連する各教科等の時間に学級担任等と連携して、生きた教材である学校給食を活用した授業をチームティーチング方式で実施しています。

平成25年度は全小学校20校で実施し、また、立川の農業者との協働による授業も、10校で実施しました。中学校では2校で実施し、その他ポスター配布等啓発活動を行いました。

今後はさらに支援指導実施回数を増やし、より充実していく予定です。

②学校給食共同調理場整備運営事業（再掲）

2つの学校給食共同調理場の老朽化対策と運営の効率化を図るため、民間事業者のノウハウを活用するPFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）手法により、一箇所に統合した共同調理場を整備・運営する事業です。全体の事業期間は平成23年度～39年度で、平成25年4月から各小学校へ給食を提供しています。

施設の設計、建設、維持管理、運営について一体的に民間事業者と契約し、およそ15%のコスト削減を図りながら、より安全でおいしい給食を提供していきます。



学校給食共同調理場

(6) 放射性物質の検査と産地公表

市場に流通している食材は国や都道府県等の検査によって安全性が確保されていますが、保護者の不安を解消するために、立川市では平成23年8月から学校および保育園の給食食材の放射性物質検査を実施しています。

検査は、給食で使用した、または今後使用予定の野菜、食肉、卵、魚、牛乳等を対象として、旬のもの、使用頻度・使用量の多いもので、関東以北を産地とする食材を中心に、原則として毎日実施し、結果をホームページで公表しています。

また、学校給食で使用した主な食材の産地について、毎月献立表で公表しています。

8. 学校施設

(1) 教育環境の整備

校舎の建築については、昭和20年代半ばまで木造校舎が主流でしたが、それ以後、不燃化と児

童・生徒の急増に対応するため、鉄筋コンクリート校舎建築の動きが全国各地で見られるようになりました。立川市においても、昭和33年に第一小学校が、続いて昭和35年には、第一中学校、第二中学校、第三中学校が相次いで鉄筋コンクリート校舎に建替えられるなど、鉄筋コンクリート化時代へと移行していきました。また、昭和30年代後半から昭和40年代後半にかけては、児童・生徒が急増し、立川市においても、各地域に新しい学校が相次いで建築されました。現在ある市内小中学校のほとんどは、この時期に建替えあるいは新築されたものであり、現在ではかなりの老朽化が進んでいる状況です。このため、立川市教育委員会では、将来的に校舎の大規模改修・建替えを検討してきました。これらを踏まえ、平成24年度立川市により、「立川市公共施設保全計画（以下、保全計画）」が策定されました。この計画は、平成26年度を改修工事の初年度とした、今後40年の校舎、体育館、プール等の大規模改修・建替え工事の計画となっています。また、これとは別に、児童・生徒数の減少に伴って発生した余裕教室の有効活用や、空調機等の設備機器の改修等も順次行っていくところです。

なお、南富士見小学校と多摩川小学校を廃止し、平成16年4月1日に旧多摩川小学校の施設を仮使用して新生小学校を開校し、旧南富士見小学校の施設を改修したのち新生小学校として平成17年4月1日から開校しました。

①校舎建替え

文部科学省の不適格改築の補助制度の中に「建築後おおむね10年以上経過した非木造建物で、教育機能上改築することがやむを得ないもの」という基準があります。現在、第一小学校の建替えを進めているところですが他の学校については、保全計画に従い平成43年第一中学校の建替えを初年度とし、その後約20年を掛けて各学校の建替えを行う予定です。

②校舎大規模改修

各学校の校舎は老朽化が進み、防音機能の低下などにより、学校運営に支障を来している状況です。このため、校舎の各所改修を主として校舎大規模改修を、保全計画に基づき平成26年度より計画的に進めていきます。平成26年度は第九小学校大規模改修工事を実施し、第六小学校大規模改修工事の実施設計に取り組みます。

③体育館大規模改修

過去、25年経過で建替えということで計画化され、昭和53年度から順次建替えを進めてきましたが、平成8年度から平成12年度までは改修後20年以上を経過した体育館を、躯体以外は全面的に改修する大規模改修へと事業変更し、機能の向上を図りました。その後、耐震補強工事を優先してきましたが、保全計画に従い平成26年度より年次的に進めていきます。平成26年度は第九小学校の体育館を改修します。

④校舎・体育館耐震補強

阪神・淡路大震災を教訓として、災害時における児童・生徒の安全確保を図るとともに、地域住民の応急避難場所としての機能も果たすため、平成7年度から校舎と体育館の耐震診断を順次実施し、昭和56年の新耐震設計法施行以前に建築された校舎について、必要に応じて補強工事等を行ってきました。平成15年度に小中学校施設の耐震化推進計画策定支援事業として文部科学省

の補助金により耐震補強工事の優先順位をつけた耐震推進改修計画の策定を行いました。それに基づき順次、耐震補強工事を実施し、第一小学校を除き耐震補強工事が完了しました。

⑤プール大規模改修

設置後30年前後を経過したプールについて、プール底面の表面塗装およびプールサイドの修繕、循環ろ過装置の修繕を行っています。また、温水シャワーを設置する工事を先行して実施してきました。今後は、保全計画に従い平成26年度より年次的に進めていきます。平成26年度は第九小学校のプールを改修します。

⑥便所改修

排水系統の老朽化や衛生管理上の問題から、トイレ内部の全面的な改修を進めています。改修については、使用上支障がないように1校につき2～3年かけて行っており、現在19校が改修済みです。校舎の大規模改修を行う学校については、その工事の中で行っており、改修が済んでいない学校についても、順次行う予定です。平成22年度には、各小学校の一年生が使用するトイレについて、1個を除き便器を和式から洋式に改修しました。

⑦余裕教室の活用

児童・生徒数の急激な減少が進んだことから、立川市においても多数の余裕教室が発生しています。その活用については、平成5年度に余裕教室対策検討委員会がまとめた報告を踏まえて、余裕教室を特別教室や会議室、多目的室などに転用し有効活用を図っています。生涯学習時代を迎え、学校が社会教育施設として役割を果たしていく必要があることから、積極的に地域開放を図っていくこととし、第二小学校、幸小学校、新生小学校の3校の余裕教室の一部を会議室や和室、多目的室として整備し、地域開放しています。今後については、国の「21世紀教育新生プラン」などにより少人数指導のための教室需要が増加することが予測されていますので、そのための有効活用も図っていく必要があります。

⑧水飲栓直結化

給水管の老朽化に伴う赤水化や残留塩素濃度の低下の対策として、小中学校を対象に、学校フレッシュ水道制度を活用して、給水管の改修工事を平成22年までに第一小学校を除く小学校19校について実施しました。その後、平成23年度に中学校4校、平成24年度に中学校5校の改修工事を実施し、第一小学校を除く全ての小中学校で給水管の改修工事が完了しました。

⑨小学校校庭の芝生化

ヒートアイランド対策および緑化対策に寄与するとともに、環境学習や地域コミュニティの形成など、快適で安全・安心な教育環境を整備するため、平成20年度に新生小学校の校庭を芝生化しました。芝生出前講座として平成21年度に第四小学校、平成22年度に第七小学校の校庭の一部を芝生化しました。平成22年度には、校庭芝生に関する諸効果研究事業として西砂小学校、若葉小学校の校庭の一部を芝生化し、研究事業を行いました。平成24年度には東京都の小学校運動場芝生化事業の補助金を利用して、第三小学校、第四小学校の校庭の一部を芝生化しました。

⑩第一小学校建替え事業

立川市では市内小中学校の耐震化を順次進めて来ましたが、最終となる第一小学校は建替えを進めています。現在、第一小学校の児童は、仮設校舎で授業を行っています。既存校舎の解体工事を平成24年12月に終え、平成25年2月に着工、工事施工中です。平成26年度中の新規開校・開設を目標として、地域の核となる施設の建設を目指します。

⑪小中学校普通教室空調機設置工事

夏の暑さ対策として、平成23年度に小学校17校、中学校8校の普通教室に空調機を設置し、建替え中の学校および従前から空調機が設置されていた学校を含めて、全小中学校の普通教室に空調機の設置が完了しました。

⑫西砂小学校増改築工事

西武立川駅の開発に伴い児童数が増えることが予想されることから、4教室分の校舎を増築しました。平成25年度に工事が完了し、平成26年4月から運用開始しています。

(2) 学校施設の現況

①小学校

学校名	敷地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	教室数		プール規模	
				普通	特別	大プール	小プール
第一小学校*	12,602	3,120	—	15	9	25m×10m	
第二小学校	13,150	6,072	852	14	19	25m×11.5m	28.66㎡
第三小学校	11,808	5,419	871	17	10	25m×10m	12m×4.5m
第四小学校	15,141	5,586	883	15	14	25m×12m	10m×4.5m
第五小学校	15,624	5,786	868	19	13		7m×4m
第六小学校	11,137	5,225	868	12	13	25m×10m	10m×4.5m
第七小学校	15,179	3,899	921	6	13	25m×11.5m	6m×4m
第八小学校	19,724	7,202	1,041	13	22	25m×10m	163.23㎡
第九小学校	12,370	5,602	725	22	12		10m×5m
第十小学校	15,716	4,531	767	14	10		33.28㎡
けやき台小学校	15,977	7,233	713	18	17		6m×4m
西砂小学校	14,978	5,879	738	19	11		10m×4.5m
南砂小学校	9,626	4,657	749	12	12		
若葉小学校	16,441	5,905	737	9	20		
幸小学校	16,165	5,900	768	12	16		
松中小学校	16,144	6,108	735	12	18		
大山小学校	16,508	5,410	756	9	16		
柏小学校	16,728	6,301	882	19	13		7m×4m
上砂川小学校	12,419	5,434	852	18	12	25m×12m	10m×4.5m
新生小学校	15,516	6,341	710	18	14	25m×10m	6m×4m
計	292,953	111,610	15,436	293	284		

*表中は、仮設校舎の数値

②中学校

学校名	敷地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	教室数		プール規模	
				普通	特別	大プール	小プール
立川第一中学校	16,720	6,697	1,428	13	22	25m × 13m	
立川第二中学校	25,234	7,395	1,765	15	24		
立川第三中学校	17,975	7,266	1,713	13	21		
立川第四中学校	17,213	7,084	1,541	13	20		
立川第五中学校	19,007	7,552	1,597	21	20		
立川第六中学校	21,260	7,476	975	10	21		
立川第七中学校	21,746	7,342	1,393	13	22		
立川第八中学校	18,097	6,919	1,392	7	22		
立川第九中学校	17,992	7,210	1,397	9	22		
計	175,244	64,941	13,201	114	194		

9. 小・中学校

(1) 小・中学校一覧

①小学校

平成26年4月1日

学校名	所在地	電話番号	校長名	副校長名	創立年月日	開校記念日
第一小学校	柴崎町2-20-3	523-4428	對馬 洋	佐藤 邦彦	明3年3月3日	3月3日
第二小学校	曙町3-23-1	523-4438	高藤 一伸	須藤 正紹	昭4年9月2日	9月6日
第三小学校	錦町3-4-1	523-4448	井上 和芳	田中 光晴	昭12年1月8日	3月11日
第四小学校	富士見町4-4-1	523-5228	大神田 佳明	松本 雅江	昭15年11月25日	11月27日
第五小学校	高松町1-12-25	523-5238	井土 満	坂倉 理恵	昭15年11月27日	11月27日
第六小学校	羽衣町2-29-22	523-5248	山口 麻衣	押本 明文	昭25年2月1日	4月15日
第七小学校	錦町5-6-43	523-5348	上村 一美	松久保 雅和	昭33年4月1日	4月25日
第八小学校	幸町2-1-1	536-0031	飯田 芳男	齋藤 幸男	明33年7月27日	2月15日
第九小学校	上砂町2-18-1	536-2231	福原 憲生	長久保 昌典	明5年5月 日	11月27日
第十小学校	柏町1-31-1	536-2711	泉 直樹	大谷 明	昭40年4月1日	10月2日
けやき台小学校	若葉町1-13-1	536-1875	小林 正隆	磯部 勝男	昭41年9月1日	10月3日
西砂小学校	西砂町2-34-2	531-2082	内野 康之	清水 治彦	昭42年4月1日	6月17日
南砂小学校	栄町2-2-1	525-1474	山崎 俊英	大河原 博	昭45年4月1日	6月1日
若葉小学校	若葉町4-24-1	536-3971	飯塚 信也	宮城 恵子	昭46年4月1日	10月27日
幸小学校	幸町5-68-1	536-3961	野口 知義	町田 浩一	昭46年4月1日	10月27日
松中小学校	一番町5-8-5	531-3821	小崎 仁	宮當 拓也	昭46年4月1日	10月27日
大山小学校	上砂町1-5-33	535-2850	芝田 智昭	菊池 修	昭47年4月1日	10月20日
柏小学校	柏町4-8-4	537-1962	難波 芳男	城戸 光昭	昭52年2月1日	2月1日
上砂川小学校	上砂町5-12-2	537-1801	山中 栄治	田中 義典	昭58年4月1日	5月1日
新生小学校	富士見町6-69-1	524-3148	池田 泰章	中村 義彦	平16年4月1日	2月25日

②中学校

学校名	所在地	電話番号	校長名	副校長名	創立年月日	開校記念日
立川第一中学校	柴崎町1-3-4	523 - 4328	國島 健二	宇野 庄治	昭22年4月1日	5月1日
立川第二中学校	曙町3-29-46	523 - 4338	常盤 隆	大沢 武弘	昭22年4月1日	5月4日
立川第三中学校	羽衣町3-25-6	523 - 4348	太田 元	大田 肇	昭26年4月10日	4月10日
立川第四中学校	幸町5-49-1	536 - 2411	秋野 宏之	唐亀 康司	昭22年4月1日	5月26日
立川第五中学校	上砂町3-27-1	536 - 2511	小沼 孝行	田中 博	昭39年4月1日	6月9日
立川第六中学校	泉町786-16	537 - 3195	関口 直則	山口 聡	昭49年2月1日	6月17日
立川第七中学校	西砂町6-28-3	531 - 0511	渡辺 徹	森田 英之	昭53年4月1日	5月4日
立川第八中学校	富士見町7-24-1	526 - 2007	須藤 和博	横山 勝行	昭53年4月1日	5月2日
立川第九中学校	若葉町3-19-5	535 - 1415	瀧島 潔	山口 真一	昭54年4月1日	11月2日

(2) 児童・生徒数および学級数

①小学校

(平成26年5月1日現在)

学校名	児童数							学級数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
第一小学校	85 (2)	56 (5)	64 (2)	63 (4)	73 (1)	74 (3)	415 (17)	3	2	2	2	2	2	13 (3)
第二小学校	91	67	71	63	85	59	436	3	2	2	2	3	2	14 (5)
第三小学校	84	99	105	74	83	99	544	3	3	3	2	3	3	17
第四小学校	75	85	75	74	73	99	481	3	3	2	2	2	3	15
第五小学校	98 (3)	96 (1)	81 (5)	83 (1)	96 (3)	81 (3)	535 (16)	3	3	2	3	3	3	17 (2)
第六小学校	41	38	41	42	44	52	258	2	1	2	2	2	2	11
第七小学校	23	23	28	36	21	35	166	1	1	1	1	1	1	6 (7)
第八小学校	66	66	62	76	73	78	421	2	2	2	2	2	2	12 (3)
第九小学校	80 (4)	79 (3)	96 (4)	95 (2)	83 (9)	94 (6)	527 (28)	3	3	3	3	3	3	18 (4)
第十小学校	51 (2)	57 (3)	51	58	56 (2)	71 (3)	344 (10)	2	2	2	2	2	2	12 (2)
けやき台小学校	85	78	84	93	97	83	520	3	3	3	3	3	3	18 (5)
西砂小学校	105	92	98	104	122	100	621	3	3	3	3	4	3	19
南砂小学校	62	58	47	52	66	44	329	2	2	2	2	2	2	12
若葉小学校	34	45 (3)	30 (4)	30	32 (2)	28 (2)	199 (11)	1	2	1	1	1	1	7 (2)
幸小学校	51	70	62	71	65	67	386	2	2	2	2	2	2	12
松中小学校	56	66	58	76	59	66	381	2	2	2	2	2	2	12 (5)
大山小学校	37	50	32	31	37	47	234	2	2	1	1	1	2	9
柏小学校	107	101	105	104	100	100	617	4	3	3	3	3	3	19
上砂川小学校	104	105	111	113	116	111	660	3	3	3	3	3	3	18
新生小学校	76 (2)	85 (3)	75 (1)	84	86	93 (2)	499 (8)	3	3	2	3	3	3	17 (1)
計	1,411 (13)	1,416 (18)	1,376 (16)	1,422 (7)	1,467 (17)	1,481 (19)	8,573 (90)	50	47	43	44	47	47	278 (39)

() 内：児童数は特別支援学級固定級の児童数、学級数は固定級及び通級指導学級数でいずれも外数

②中学校

(平成26年5月1日現在)

学校名	生徒数				学級数			
	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
立川第一中学校	131 (8)	138 (4)	118 (6)	387 (18)	4	4	3	11 (3)
立川第二中学校	152 (2)	166 (2)	159 (1)	477 (5)	5	5	4	14 (1)
立川第三中学校	132	135	175	442	4	4	5	13 (2)
立川第四中学校	143	159	152	454	5	4	4	13
立川第五中学校	210 (7)	218 (8)	230 (5)	658 (20)	6	6	6	18 (3)
立川第六中学校	108	117	111	336	4	3	3	10 (1)
立川第七中学校	144	138	145	427	4	4	4	12
立川第八中学校	85	75	81	241	3	2	2	7 (1)
立川第九中学校	98	108	83	289	3	3	3	9
計	1,203 (17)	1,254 (14)	1,254 (12)	3,711 (43)	38	35	34	107 (11)

() 内：生徒数は特別支援学級固定級の生徒数、学級数は固定級及び通級指導学級数でいずれも外数

(3) 児童・生徒数の推移

①小学校

(各年5月1日現在)

年次	校数	学級数	児童数		
			総数	男	女
昭和45	14	263	9,504	—	—
50	18	356	13,223	6,882	6,341
55	20	410	15,304	7,962	7,342
60	21	363	12,711	6,513	6,198
平成2	21	312	10,061	5,187	4,874
10	21	281	8,363	4,285	4,078
11	21	279	8,324	4,279	4,045
12	21	278	8,329	4,299	4,030
13	21	275	8,377	4,288	4,089
14	21	279	8,398	4,276	4,122
15	21	280	8,493	4,322	4,171
16	20	289	8,678	4,373	4,305
17	20	295	8,784	4,462	4,322
18	20	294	8,769	4,425	4,344
19	20	300	8,863	4,497	4,366
20	20	299	8,834	4,506	4,328
21	20	306	8,840	4,528	4,312
22	20	305	8,834	4,572	4,262
23	20	310	8,734	4,496	4,238
24	20	312	8,655	4,441	4,214
25	20	313	8,620	4,392	4,228
26	20	317	8,663	4,383	4,280

②中学校

(各年5月1日現在)

年次	校数	学級数	生徒数		
			総数	男	女
昭和45	5	94	3,761	—	—
50	6	113	4,651	2,408	2,243
55	9	155	6,118	3,195	2,923
60	9	175	7,077	3,747	3,330
平成2	9	155	5,731	2,976	2,755
10	9	122	4,114	2,108	2,006
11	9	119	3,968	2,024	1,944
12	9	116	3,880	1,973	1,907
13	9	117	3,827	1,938	1,889
14	9	116	3,774	1,909	1,865
15	9	113	3,695	1,894	1,801
16	9	114	3,690	1,912	1,778
17	9	111	3,706	1,895	1,811
18	9	115	3,743	1,917	1,826
19	9	115	3,776	1,891	1,885
20	9	118	3,782	1,917	1,865
21	9	114	3,786	1,893	1,893
22	9	117	3,756	1,888	1,868
23	9	117	3,791	1,917	1,874
24	9	121	3,817	1,960	1,857
25	9	120	3,827	1,974	1,853
26	9	118	3,754	1,928	1,826

児童・生徒数は特別支援学級固定級を含む。学級数は固定級及び通級指導学級を含む。

(4) 学校職員数

(平成26年5月1日現在)

区 分 校 名	都 費 職 員										市 費 職 員										合 計			
	校 長	副 校 長	通常学級教諭	特別支援学級教諭	養 護 教 諭	充 当 指 導 主 事	事 務 員	嘱 託 員 等	計	事 務 嘱 託	栄 養 士	栄 養 士 嘱 託	調 理 嘱 託	調 理 嘱 託	用 務 嘱 託	用 務 嘱 託	給 食 配 膳 嘱 託	特別支援学級指導嘱託	計					
									* 1				* 2		* 2					* 1	* 1			
第一小学校	1	1	16	4	1		1	1	25	1	1	1				1	1	1		2	3	27	4	
第二小学校	1	1	17	6	1		1	1	28	1	1	1	1	5		1	1			7	3	35	4	
第三小学校	1	1	21		1		1	1	26	1	1	1		5		1	1			7	2	33	3	
第四小学校	1	1	18		1		1	2	24	2	1	1		5			1			6	2	30	4	
第五小学校	1	1	21	3	1	2	1	1	31	1	1	1		5		1	1		1	7	3	38	4	
第六小学校	1	1	15		1		1	1	20	1	1	1		3			1			4	2	24	3	
第七小学校	1	1	9	9	1		1	1	23	1	1	1		3			1			4	2	27	3	
第八小学校	1	1	15	4	1		1	1	24	1	1	1		5		2				8	1	32	2	
第九小学校	1	1	21	5	1		1	1	31	1	1					1			1	1	2	32	3	
第十小学校	1	1	15	3	1	1	1		23	0	1					1	1			1	2	24	2	
けやき台小学校	1	1	22	6	1		1		32	0	1					2		1		2	2	34	2	
西砂小学校	1	1	23		1		1		27	0	1					1				1	1	28	1	
南砂小学校	1	1	15		1		1		19	0	1						1			0	2	19	2	
若葉小学校	1	1	10	3	1		1	1	18	1	1					1			1	1	2	19	3	
幸 小 学 校	1	1	15		1		1	1	20	1	1						1	1		0	3	20	4	
松中小学校	1	1	15	6	1		1	1	26	1	1					1	1			1	2	27	3	
大山小学校	1	1	12		1		1		16	0	1					1				1	1	17	1	
柏 小 学 校	1	1	23		1		1	1	28	1	1						1			0	2	28	3	
上砂川小学校	1	1	22		1		1		26	0	1					2		1		2	2	28	2	
新生小学校	1	1	21	2	1		1	1	28	1	1					1			1	1	2	29	3	
小学校 計	20	20	346	51	20	3	20	15	480	15	20	8	1	31	0	17	12	4	4	56	41	536	56	
立川第一中学校	1	1	18	4	1		1		26	0	2					2				2	2	28	2	
立川第二中学校	1	1	21	2	1		1	2	29	2	2					2				2	2	31	4	
立川第三中学校	1	1	20	3	1		1	1	28	1	2					2				2	2	30	3	
立川第四中学校	1	1	20		1		1	1	25	1	2					2				2	2	27	3	
立川第五中学校	1	1	29	4	1		1	1	38	1	2					1				1	2	39	3	
立川第六中学校	1	1	16	2	1	1	1	1	24	1	2					1				1	2	25	3	
立川第七中学校	1	1	21		1		1		25	0	2					1				1	2	26	2	
立川第八中学校	1	1	13	2	1		1		19	0	2					2				2	2	21	2	
立川第九中学校	1	1	17		1		1		21	0	2						1			0	3	21	3	
中学校 計	9	9	175	17	9	1	9	6	229	6	18					13	1			13	19	242	25	
合 計	29	29	521	68	29	4	29	21	709	21	38	8	1	31	0	30	13	4	4	69	60	778	81	

* 1 右欄の数字は嘱託員等の数で外数

* 2 再任用職員含む

(5) 通学区域

①通学区域一覧

(平成26年5月1日現在)

学校名	通 学 区 域
第 一 小 学 校	柴崎町1～6丁目(全町)
第 二 小 学 校	曙町1丁目11～37, 2・3丁目, 高松町3丁目15(11～19), 16(9～16), 17(10～16), 18(9～15), 19(12～14), 20(9～14), 21(12～19), 22～32
第 三 小 学 校	錦町1・3・4・6丁目
第 四 小 学 校	富士見町1・2丁目, 3丁目1～9, 4・5丁目, 曙町1丁目1～10
第 五 小 学 校	高 松 町1・2丁 目, 3丁 目1～14, 15(1～10, 20～25), 16(1～8, 17～22), 17(1～9, 17～19), 18(1～8, 16～21), 19(1～9, 15～19), 20(1～8, 15～20), 21(1～11, 20～25), 栄町3丁目1～29, 4丁目1～43, 緑町
第 六 小 学 校	羽衣町1～3丁目(全町)
第 七 小 学 校	錦町2・5丁目
第 八 小 学 校	栄町2丁目44～46, 4丁目44～47, 5・6丁目, 幸町1～3丁目
第 九 小 学 校	砂川町1丁目31～56, 2丁目1～64, 3丁目1～25, 4丁目1～47, 5丁目15(2～3), 16～20, 上砂町2丁目9～45, 3丁目12～61, 4丁目1～41, 一番町1丁目41～61, 2丁目1～13, 4丁目1～16
第 十 小 学 校	柏町1・2丁目, 砂川町1丁目1～30, 57～67, 5丁目1～14, 15(1・4～6), 21～54, 6丁目1～3, 4(1～10), 5～26, 泉町1156
けやき台小学校	若葉町1・2丁目
西 砂 小 学 校	一番町6丁目18～29, 西砂町1～7丁目(全町)
南 砂 小 学 校	栄町1丁目6～39, 2丁目1～43, 47～69, 3丁目30～63
若 葉 小 学 校	若葉町3・4丁目
幸 小 学 校	幸町4～6丁目
松 中 小 学 校	一番町2丁目14～49, 3丁目, 4丁目17～73, 5丁目, 6丁目1～17
大 山 小 学 校	砂川町2丁目65～71, 上砂町1丁目, 2丁目1～8, 3丁目1～11, 一番町1丁目1～40
柏 小 学 校	柏町3～5丁目, 砂川町6丁目4(11～13), 27～48, 7丁目1～39(4を除く), 51～55
上 砂 川 小 学 校	砂川町3丁目26～47, 4丁目48～72, 7丁目4, 40～50, 56～60, 8丁目, 上砂町4丁目42～56, 5～7丁目
新 生 小 学 校	富士見町3丁目10～21, 6・7丁目
立川第一中学校	第一小学校・第四小学校区
立川第二中学校	第二小学校・第五小学校・南砂小学校区
立川第三中学校	第三小学校・第六小学校・第七小学校区
立川第四中学校	幸小学校・柏小学校区
立川第五中学校	第九小学校・大山小学校・上砂川小学校区
立川第六中学校	第八小学校・第十小学校区
立川第七中学校	西砂小学校・松中小学校区
立川第八中学校	新生小学校区
立川第九中学校	けやき台小学校・若葉小学校区

②指定校変更制度

市教育委員会は市立小・中学校の通学区域を定め、児童・生徒が通学する学校の指定を行っていますが、「立川市立学校の指定校変更等の取扱いに関する要綱」に定める要件に該当する場合は、指定された学校以外への就学を承認しています。

平成15年度から実施してきた隣接校希望による指定校変更については、小学校の場合、距離による条件は設けていませんでしたが、災害時の児童の安全や学校と地域との連携を考慮し要綱を改正しました。平成25年度以降の入学及び転校に伴う申請について、中学校と同様に、自宅から隣接校までの通学距離が指定校までの通学距離より近い場合のみ承認することとしました。

Ⅲ 社会教育



1. 社会教育

(1) 社会教育の振興方針

平成13年7月、社会教育法の一部が改正され、社会教育と学校教育との連携や家庭教育への配慮が定められました。さらに、平成18年12月には教育基本法、平成20年6月には社会教育法が改正され、学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力がうたわれることとなりました。家庭や地域社会の教育力の低下が指摘されるなかで、学校を核としながら、家庭、地域と密接に連携を取り、地域の教育力を向上させることが目標にされたといえます。

教育委員会は、家庭教育支援、学校支援を推し進めるとともに、社会教育施設の整備、学習情報の提供・学習相談を実施しながら、平成19年10月に開講した市民交流大学事業を中心に据えて「生涯学習からはじまるまちづくり」を推進し、地域の教育力向上に努めるものとします。

①家庭教育の振興方針

家庭教育は、本来、親の責任と判断において行う教育であり、すべての教育の出発点です。家庭は社会の基礎単位であり、子どもの個性や社会性を伸ばす上で大切な役割を担っています。親は、家庭を大切に、家庭教育の持つ社会的意義について認識を深め、子どもの望ましい基本的な生活習慣や生活能力、心情や態度の育成について計画的かつ継続的に努力することが必要です。

教育委員会は、家庭教育の向上を図るため、親が学習する機会や、親の悩みや不安を相談するための機能を充実するものとします。

(推進項目)

- ア 親子がふれあいを深め、話し合いを十分行い、子どもの特性や心身の発達段階に応じた家庭教育を進めることができるよう子育て環境を整備します。
- イ 学校や地域社会との連携を密にして家庭教育の効果を高めるとともに、子どもも親もともに地域活動に参加できるようにします。
- ウ 地域学習館や図書館等の社会教育施設等において、家庭教育講座の開催、子育ての相談、家庭教育情報の充実を図り、家庭教育を支援します。

②青少年教育の振興方針

青少年教育は子どもの成長過程に応じ、心身の調和のとれた発達を促し、生涯にわたり自己形成を進める意欲と能力を育て、社会人として自立していくよう支援するものです。

教育委員会は、青少年の様々な学習体験の場と機会を確保してその活動を奨励するとともに、心身ともに健全な青少年の育成に努めるものとします。

(推進項目)

- ア 家庭、学校及び地域社会が連携して、青少年の多様な能力や適性を伸ばし、物事を自ら進んで考え実行し、そこに楽しみを見出すように導きます。
- イ 障害者、外国人等すべての人との共生社会をめざすため、人権尊重意識を育てます。
- ウ スポーツ活動を通じて健康、体力づくりを推進するとともに、芸術・文化活動、野外活動等

を通じて情操を豊かにします。

エ 異年齢間の青少年で構成する集団活動を奨励し、交流を通じて望ましい人間関係や社会性を育てます。

オ 正しい勤労観や職業観を身に付け、将来の社会人としてより良い生き方を学び、自らの進路を選択できるようにします。

カ ボランティア活動、地域活動、勤労体験活動、国際交流活動等の多様な社会参加型の生活体験活動に参加する機会を整え、有為な社会人となるよう資質を養うようにします。

③成人教育の振興方針

急激に変化する現代社会において、生活を営む上での多様な課題を解決するためには、自己実現のための生涯にわたる継続的な学習が必要です。また、少子高齢社会の進展のなかで、市民の連帯意識を基盤とした安全・安心・快適な地域社会をつくるためには、生涯学習を出発点とする市民主体のまちづくりが求められています。

教育委員会は、多様化かつ高度化した市民の要求に対応できるようにするため、成人教育機能の充実、学習環境の整備、教育機関相互の連携を進めるとともに、成人教育団体の活動を奨励し、支援するものとします。

(推進事項)

ア 市民交流大学、生涯学習推進センター等の機能を整備し、学習機会及び学習情報の提供並びに学習相談体制を充実します。

イ 生涯学習のネットワークを構築し、市民の生涯学習を総合的、広域的に支援します。

ウ 高等教育機関との連携のもとに市民に高度で専門的な学習機会を提供します。

エ 学習の成果が個人にとどまらず、広く地域社会に生かせるよう機会の提供に努めます。

オ PTAをはじめとする社会教育関係団体が、自主的な学習活動を積極的に行い、地域の成人教育を推進するとともに、学校や諸団体と協力して子どもの学習環境の整備と健全育成に努めることができるよう支援します。

カ 勤労者が変化の激しい社会や経済環境に対応できる能力を身に付け、その向上が図れるよう各種の教育機関の利用環境を整備します。

④高齢者教育の振興方針

高齢社会において、高齢者が学習を通じて心の豊かさを養い、生きがいを見いだせる社会環境を作ることが必要です。

教育委員会は、高齢者が自由時間を有効に活用し、充実した生活が過ごせるよう多様な学習機会を提供するとともに、高齢者が生きがいをもって社会の一員として活躍できるようボランティア活動をはじめとする社会参加活動を促進し、そのための条件整備を進めるものとします。

(推進項目)

ア 高齢者の能力、健康、体力、社会経験の違いなどを考慮して多様な学習機会を設け、その経験や能力を社会に還元できるよう努めます。

イ 学習、スポーツ、趣味等に関わるグループや個人が地域社会での交流を深めるとともに、高

齢者の社会参加を奨励します。

⑤市民体育の振興方針

体育・スポーツ活動は、市民の健康な生活を築き、市民相互の交流を深め、明るく豊かな地域社会を形成していくために、極めて重要です。

教育委員会は、日常の市民生活の中に体育・スポーツ活動が定着するよう、積極的に体育・スポーツ活動を奨励、支援し、条件整備に努めるものとします。

（推進項目）

ア スポーツを市民生活の中に定着させ、市民の基礎体力の向上と健康維持を促進します。

イ 体育・スポーツ施設を計画的、体系的に整備します。

ウ スポーツ教室の開催、スポーツ相談の充実、体育団体の育成、指導者の養成、競技会の開催等を通じ、体育・スポーツ活動の定着と質的向上を推進します。

⑥芸術・文化活動の振興方針

芸術・文化活動は、市民生活に潤いを与え、自己の向上を図り、市民相互の交流を深め、連帯感を養う上で大きな役割をもつ活動です。

教育委員会は、市民の芸術・文化活動を広く奨励、援助するとともに、郷土に伝わる文化財を保護し活用することにより、郷土の理解と郷土愛の育成に努めるものとします。

（推進項目）

ア 芸術・文化に対する市民の関心や創意を高め、その多様な活動を支援します。

イ 公演、展示、鑑賞、創作などの活動の施設や機会を充実し、指導者の養成や各種情報の提供などにより、自主的、創造的な文化活動の普及に努めます。

ウ 市民が伝統文化に親しみ、参加できる機会を提供するとともに、文化財保護思想の普及、啓発を行い、文化財の愛護に努めます。

（２）生涯学習推進計画

立川市では、自ら学習し、生きがいのある人生を送ろうとする市民の高度化かつ多様化した学習意欲にこたえて、生涯学習に関する施策の総合的な推進を図ることを目的に、平成４年に「立川市生涯学習推進計画」を策定しました。この計画で「生涯学習社会の実現」に向けた「生涯学習は子どもから」、「生きがいめざす楽しい学習」、「ふれあいで新しい生活創造へ」、「生涯学習情報の提供」、「生涯学習推進組織の整備」の５項目の目標を掲げ、これを具体的に推進するための方策を体系化しました。その後、計画年度の終了にともない、基本的に第１次推進計画を継承し、生涯学習センターの整備や市民大学の検討、ＮＰＯの活用など、21世紀における市民主体の生涯学習社会の実現をめざした「立川市第２次生涯学習推進計画」を平成12年６月に策定しました。この「立川市第２次生涯学習推進計画」の計画年度が平成16年度で終了するのに伴い、平成15年度から、生涯学習推進審議会に「立川市第３次生涯学習推進計画」の策定に向けて諮問するなど策定準備に着手し、平成17年８月に市民交流大学構想を中心とした「第３次生涯学習推進計画」

を策定しました。この計画に基づき平成19年4月に生涯学習推進センターを設置し、平成19年10月には市民交流大学の開講や公民館の地域学習館への転用等を行い、平成22年5月に「第4次生涯学習推進計画」を策定し、「たちかわ市民交流大学を核とした市民の学びの推進」、「生涯学習と地域づくりの連携」、「地域の教育力の向上」を重点施策とし、平成22年度から平成26年度まで生涯学習のさらなる推進を図ります。

①生涯学習施策の目標

<1>生涯学習は子どもから

(生涯学習の基礎づくり)

ア 乳幼児期から小・中学生は、生活習慣や規範など社会生活の基本を会得するとともに、生涯にわたる学習の基礎を培う最も重要な時期です。しかし、これを支えるべき家庭の教育力のあり方が課題になっており、家庭における教育力を高めるための施策が必要とされています。相談体制の整備や情報提供に取り組み、保護者の家庭教育についての理解・関心を深めるための学習機会を提供し、親子がふれあう環境を整備していきます。

イ 確かな学力を育み、自然や文化そして郷土を愛する人間性豊かな心と人間尊重の精神を養うなど自主性と創造性に富む人間形成の基礎づくりの場である義務教育期を充実します。

ウ 少子化や核家族化は家庭の教育力に、地域コミュニティの衰弱は地域の教育機能のあり方にそれぞれ課題を提起しています。

互いに助け合い、支えあう心のかよう地域社会を創り出していくためには、家庭・学校・地域が連携して地域の教育力を向上させることが求められています。

立川市では、平成25年度の学校支援ボランティアが年間延べ11,211人に達しております。このような学校と地域住民との連携をさらに発展させるとともに、子どもたちに学校外でさまざまな体験学習の機会を提供したり、異世代間の学びや交流の機会を創出して、地域の教育力の向上を図ります。

<2>生きがいをめざす楽しい学習

(学習の場と機会の提供)

ア 市民がいつでも、どこでも学ぶことができるようにするため、既存の各種公共施設の有効活用を図るなど、条件整備をすすめます。

イ 市民の多様化・高度化したニーズに応じ、各種の教室、講座を開催するとともに、市民自身により学習活動が展開できる自主グループを育成し、グループ相互の交流を促進します。また、学習の成果を、学校支援や、家庭・地域社会・ボランティア活動などに広く還元されるよう、生涯学習指導協力者（市民リーダー）に登録してもらい市民交流大学の各種事業の展開の中で活動の場を提供します。

ウ 市民の多様化する学習活動に対応するため、国の研究機関や市内の大学、関連の深い施設や民間企業、自治体との連携を図り、より豊かな学習活動を推進します。

<3>ふれあいで新しい生活創造へ

(いきいき地域活動)

ア 地域では市民の様々な活動が行われており、市民が自主的・主体的に活動することが生涯学

習の基本です。地域に根ざし、個性的な活動をする多くの市民の活動を支援します。

- イ 地域文化や地域を愛する人間性豊かな心をはぐくむには、いつでも触れることのできる文化や、文化財を積極的に伝承し、人材の発掘や養成を行う機会を活用していきます。

< 4 > 学びのきっかけづくり

(生涯学習情報の提供)

- ア 市民が自分にもっとも適した学習を選択し、効果的・効率的に学習活動がすすめられるよう、情報の収集・提供システムを確立します。
- イ 市民の学習や教育に関する相談にいつでも応じられ適切な情報を提供・助言できるよう体制づくりを推進します。

< 5 > 生涯学習推進基盤の充実

- ア まちづくりや地域づくりに学びの視点から貢献していく「生涯学習からはじまるまちづくり」をテーマに、市民の積極的な参画と市内の横断的な連携のもとに、講座事業を中心に体系的に市民の学びを推進する「たちかわ市民交流大学」の事業を展開します。

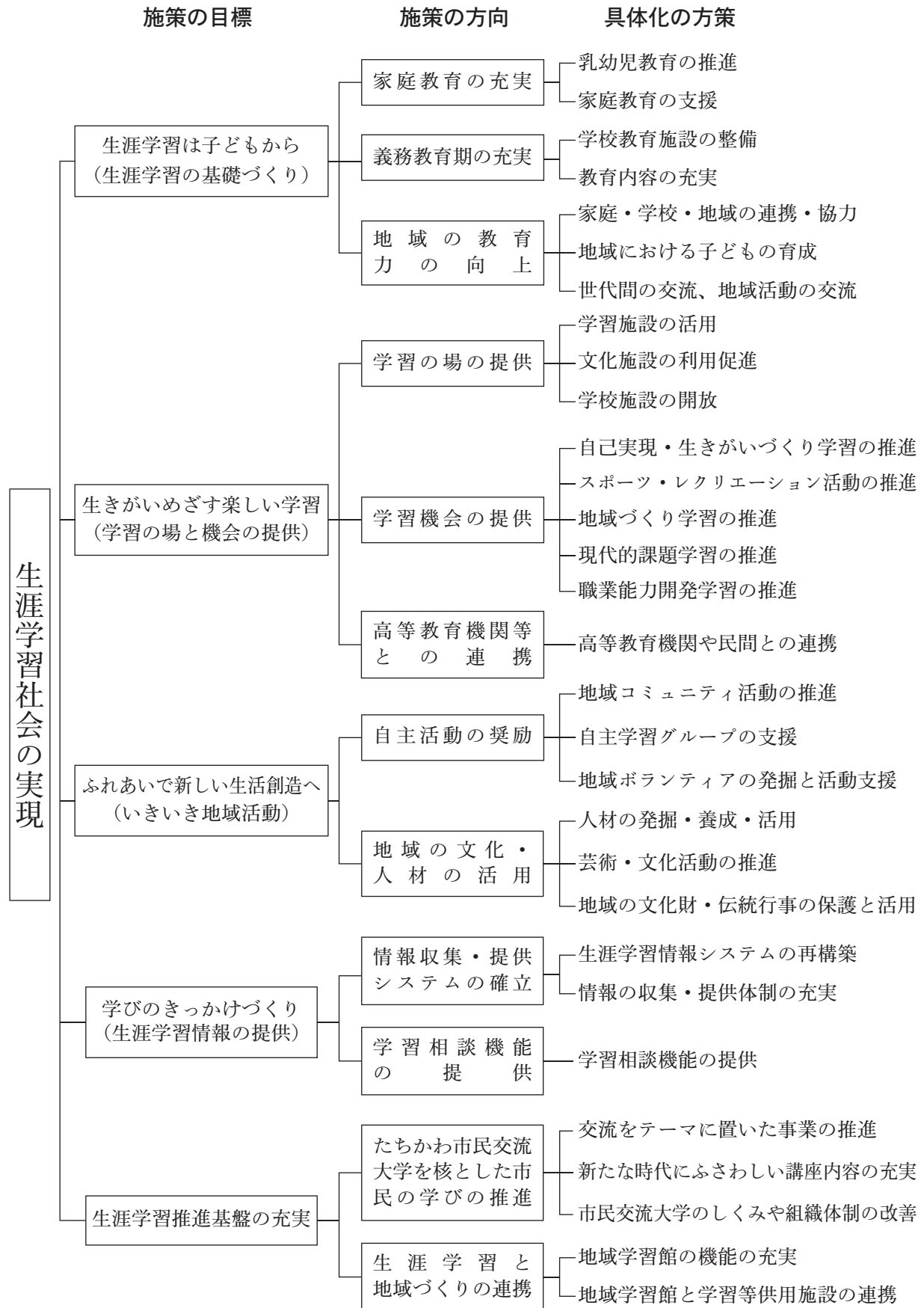
平成19年10月の開講からの実績を踏まえ、市民参加の裾野の拡大や様々な交流の拡大、時代にふさわしい講座内容の充実、情報提供の強化などを通し、市民の学び、健康・いきがいつくりの活性化とともに、地域課題の解決などにつながる学びの創出に取り組みます。

- イ 福祉や教育など地域の諸課題の解決には、地域における市民や団体による活動や地域活動と行政との連携が不可欠であり、市民の地域活動への積極的な参画が望まれています。

地域の生涯学習の拠点である地域学習館は、地域活動への参画につながる学習機会の提供や学習による人材の育成を行うことにより、生涯学習と地域づくりの連携を推進する必要があります。

このため、地域学習館は、地域学習館運営協議会を展開し、これまでの行政主体の運営から地域住民の積極的な参画により市民と行政との協学・協働による運営をさらにすすめていきます。

②施策の体系



(3) 社会教育関係団体の育成

生涯学習時代に合った市民の学習活動を奨励するため、社会教育関係団体の登録制度を設け、学習の場を提供しているほか、PTA連合会への事業委託などを行い、団体の自主性の向上と活動の活性化に努めています。



市民リーダー☆みんなの講座「体験創作
コラージュセラピー～メンタルヘルスの
ために」

①社会教育関係団体登録制度

社会教育関係団体に登録できるのは、社会教育活動または生涯学習を行うことを主たる目的とし、構成員が8人以上であること、団体規約があることなどの登録要件を満たす団体で、登録されると、地域学習館や学習等供用施設などの使用料が減免されるなど、活動の場が広がります。平成26年3月31日現在での登録団体数は、1,521団体で、市民の生涯学習に対する学習意欲が高まっていることが伺われます。

ア 分野別登録団体数

(平成26年3月31日現在)

文学・歴史・教養		国際理解	こころ・からだ	これからの社会と暮らし	社会福祉	教育
74		52	21	152	55	89
芸術	音楽	スポーツ	趣味・実用		料理・製菓	合計
173	282	431	168		24	1,521

(4) 生涯学習情報の提供

市民が自分に適した学習を選択できるようにするためには、行政や民間などから発信されている生涯学習に関する情報を効果的に集め、市民に分かりやすく提供する体制を整備する必要があります。こうした観点から、立川市では女性総合センター・アイム1階に生涯学習情報コーナーを設置し、情報提供や学習相談に応じているほか、専門的な知識や技能を持っている市民に登録していただく生涯学習指導協力者（市民リーダー）登録制度を設け、団体やグループに指導者を紹介しています。

①生涯学習情報コーナー

生涯学習情報コーナーは、女性総合センター・アイム1階に設置されており、市民が趣味や生きがいを探す際のお手伝いをしています。同コーナーでは、生涯学習に関する様々な情報を提供しているほか、個別に学習相談にも応じています。平成25年度は、482件の社会教育関係団体や生涯学習市民リーダーに関する登録や紹介、学習相談などを受け付けました。

施設名	所在地・電話番号	開所時間	休所日
生涯学習情報コーナー	曙町2-36-2 女性総合センター・アイム1階 TEL528-6803	午前9時～ 午後5時	土・日・祝祭日 毎月第3木曜日 年末年始

②生涯学習指導協力者（市民リーダー）登録制度

生涯学習指導協力者登録制度は、文化・芸術・スポーツなど様々な分野で専門的な知識・技能・経験を持ち、地域や団体の中で、ボランティアの気持ちで指導、協力してくれる人材を登録し、紹介する制度で、その活用を積極的に進めることにより、生涯学習の推進を図っています。平成26年3月31日現在、俳句、絵手紙、陶芸、茶道、郷土史、エアロビクス、パソコンなど様々な分野に延べ168人の方々が登録しています。

ア 登録者数 延べ168人（141人）（平成26年3月31日現在）

③生涯学習情報システム

施設予約システムでは、インターネットなどを利用して、施設予約や施設の空き情報確認を行います。平成26年2月からたましんR I S U R Uホール（立川市市民会館）にも導入され、現在、地域学習館・女性総合センター・子ども未来センター・たましんR I S U R Uホール・市民体育館・屋外体育施設の施設予約が行えます。

講座情報システムは、立川市が開催する様々な講座や教室などの開催情報をホームページ上から詳しくご覧いただけるシステムです。

施設予約システム		講座情報システム	
アクセス数	971,819	アクセス数	2,264
利用者登録数	6,128	紹介講座数	202

（平成26年3月31日現在）

（５） たちかわ市民交流大学

まちづくりや地域づくりに学びの視点から貢献していく「生涯学習からはじまるまちづくり」をテーマに、市民の積極的な参画と市内の横断的な連携のもと、講座事業を中心に体系的に市民の学びを推進する「たちかわ市民交流大学」の事業を展開しています。

たちかわ市民交流大学の講座は、「市民企画講座」「団体企画型講座」「行政企画講座」の3つの柱で成り立っています。市民のボランティア参加による「たちかわ市民交流大学市民推進委員会」が、市民企画講座の企画運営や情報誌「きらり・たちかわ」の編集・発行などを行い、たちかわ市民交流大学の一翼を担っています。

平成19年10月の開講からの実績を踏まえ、市民参加の裾野の拡大や様々な交流の拡大、時代にふさわしい講座内容の充実、情報提供の強化などを通し、市民の学び、健康・いきがいくりの活性化とともに、地域課題の解決などにつながる学びの創出に取り組みました。



市民企画「クラシック音楽入門」



企業連携企画「老舗商人たちの見た立川史」

①たちかわ市民交流大学の講座

ア 市民企画講座（市民組織「市民推進委員会」に参画する市民が企画、実施する講座）

講 座 名	開催日数	参加者数
甦るシーガイア	1	83
人間関係体験講座	3	51
可愛いメルヘン紙粘土人形をあなただけの手づくりで楽しんでみませんか	1	15
「我がまち立川市の財政講座第2弾」～よくわかる財政分析の方法と財政白書作り	9	145
パソコン講座「エクセル2010」	9	107
世界文学を読もう シリーズ⑤「ラテンアメリカ文学」	6	77
優れたもの、牛乳と乳製品を忘れていませんか？	2	48
平穏死を考える	1	89
人権とは何かー身近にある人権問題をどう見るかー	2	36
きらきら☆塾 第6弾『街の案内人が語る立川の魅力』	1	20
人の暮らしと生物多様性を考える観察会	4	68
酒で知る日本人 日本酒を究める	2	56
日本人の国民性調査について	1	22
放射線を学ぶ	1	48
親子で楽しむ人形劇 ひばりあむのかえるくんかえるくん	1	95
クラシック音楽入門講座第4回 ～名曲の秘密	6	177
「夏休み自由研究」「お天気のはてな?? ～お天気クイズと実験で学んじゃおう～」	2	25
学び直したい日本の歴史 シリーズ②「暦」	4	95
立川縄文人に学ぶー石皿づくりー	2	21
【極地研・立川市・市民推進委員会・協働企画公開講座】隕石落下の謎に迫る	1	85
童謡詩人・金子みすずの世界を学ぶ	1	37
親が知っていてほしい子どもの医学的知識	2	29
クラシック音楽レクチャーコンサート	1	90
家族で高めよう数学力	3	49
【極地研・立川市・市民推進委員会・協働企画公開講座】『極域の大気・氷・海洋について』	3	111
「暮らしの中で知っておきたい気象の知識」ー天気図を書いて天気のおくみを学ぼうー	3	56
「発見！野菜が生け花に」ー親子で楽しむ 農の生け花ー	1	17
変化する漢字文化と新アート篆刻体験	3	45
「きらきら★塾」張培華さんが語る、「私の中国、私の日本」	2	41
「きらきら★塾」全英蘭さんが語る、「私の韓国、私の日本」	1	35
「きらきら★塾」立川で商いを続けて50年	1	30
多摩川の自然を観察する ～植生・地形を中心に～	4	84
【江戸時代の教育】 ～文字社会における民衆の「学び」～	1	32
お米をおいしく（お米屋さんに行く、お米の買い方、炊き方）	1	8
よくわかる元素の世界	1	21
健康長寿と生きがい求めて～伸び伸びと生きるために～	4	46
宇宙と生命の起源	3	127
江戸文化と浮世絵！その絵師たち	3	124
筆ペン字レッスン！ ～のし袋に自分の名まえ、上手に書いてみよう～	2	31
立川を知ろう その1「映像で見る知られざる旧立川基地の中」	1	44
人づきあいが楽しくなる会話術	3	68
冬こそ美術を楽しもう！	5	126
日本の黎明 幕末から明治維新	4	185
【極地研・立川市・市民推進委員会・協働企画公開講座】極域科学シリーズ『南極・北極から見た地球の歴史』	3	150
「玉川上水（分水）の歴史と未来ー玉川上水開削360周年講座ー」	1	43
麴で健康・美味しいお料理づくり	1	19

講 座 名	開催日数	参加者数
多摩の東京府移管から120周年。当時の民衆運動から学ぶこと	2	58
可愛いメルヘン紙粘土人形を貴女の手づくりで楽しんでみませんか！	1	18
立川を知ろう その2「映像でたどる立川の昭和の街風景とシネマ文化」	1	43
合 計	121	3,130

イ 団体企画型講座（公募に応じ、市民活動団体やサークル等が企画提案、実施する講座）

講 座 名	開催日数	参加者数
幼児と保護者のためのリズムあそび	4	100
宮澤賢治没後80年 教師宮澤賢治を語る ーシュタイナー教育の実践を通してー	3	61
パーソナルカラー「一緒にみつけませんか？あなたをもっと素敵に見せる色」	2	32
老舗商人たちの見た立川史	1	35
アニメと地域振興～なぜ立川がアニメの聖地なの？～	1	95
ラジオ体操基本講座	5	142
若い人向け初心者登山教室	6	128
楽しく古典文学を読む	6	100
シャドウボックス	3	34
思い出のアルバムを作ろう！～写真を加工してワードで編集～	3	36
パソコンおもしろ講座	3	45
和太鼓体験講座	2	16
市民リーダー☆みんなの講座23講座	39	415
たちかわ市民講師フェア「作品展・体験教室」	6	749
合 計	84	1,988

ウ 行政企画講座（従来どおり行政が企画、実施する講座）

下記以外に教育委員会が実施する講座については、各項目の事業内容を参照。

講 座 名	開催日数	参加者数
生涯学習文化講演会「特別展 深海」	1	51
生涯学習文化講演会「印象派を超えて」	1	172
生涯学習文化講演会「特別展 世紀の日本画」	1	183
生涯学習文化講演会「国宝 大神社展」	1	181
生涯学習文化講演会「ルーヴル美術館展」	1	194
合 計	5	781

②たちかわ市民交流大学講座実施状況（平成25年度）

分野 実施主体	家庭と 子ども	これからの 社会	暮らしの 知恵・環境	郷土と地域	健康・ スポーツ	文化・教養	計
市 民 企 画	3	8	7	8	2	21	49
団 体 企 画	2	0	2	2	6	24	36
行 政 企 画	65 (37)	63 (39)	28 (26)	24 (22)	41 (18)	45 (32)	266 (174)
計	70	71	37	34	49	90	351
延 参 加 者 数	5,400	5,293	1,256	1,743	36,182	28,824	78,698

注：行政企画講座のカッコ内は市民参加により開催された講座数。

（６） 地域学習館

生涯学習時代を迎え、市民の学習意欲は年々高まっており、その学習要望もますます増大し、

多様化してきています。こうした中、立川市では市内の6館の公民館を平成19年10月1日から市民交流大学構想に基づいて地域学習館に転用。平成22年度に地域学習館運営協議会を設置し、地域課題の把握に努め、地域住民のニーズを汲み上げながら様々な講座や催しを行っています。また、環境・平和・子ども等の市域ぐるみの課題に対しては、全館の合同事業として展開し、市民の学習意欲や健康・生きがいなどの増進を図っています。また、講座や催しだけでなく、学習の場として地域学習館の教室等を開放したり、映写機等の視聴覚機器を貸し出したりして、市民の学習活動を側面から支えています。

I 地域学習館施設

①施設一覧

館 名	住所・電話番号	室 名	定 員	室 名	定 員	上段…敷地面積 下段…建物面積
柴 崎 学 習 館	柴崎町1-1-43 Tel524-2773	講 堂	350	第 3 教 室	50	3,992㎡ 2,790㎡
		会 議 室	30	第 1 和 室	25	
		実 習 室	36	第 2 和 室	12	
		視 聴 覚 室	50	第 3 和 室	16	
		第 1 教 室	40	陶 芸 室		
		第 2 教 室	50	保 育 室	19	
砂 川 学 習 館	砂川町1-52-7 Tel535-5959	講 堂	120	第 1 和 室	15	1,902㎡ 1,391㎡
		実 習 室	26	第 2 和 室	15	
		第 1 教 室	45	保 育 室	17	
		第 2 教 室	30			
西 砂 学 習 館	西砂町6-12-10 Tel531-0431	会 議 室	30	第 2 教 室	30	2,846㎡ 1,455㎡
		第1実習室	42	第 1 和 室	40	
		第2実習室	20	第 2 和 室	20	
		視 聴 覚 室	72	陶 芸 室		
		第 1 教 室	40	保 育 室	17	
高 松 学 習 館	高松町3-22-5 Tel527-0014	実 習 室	36	第 2 教 室	30	2,858㎡ 1,385㎡
		視 聴 覚 室	80	和 室	40	
		第 1 教 室	40	保 育 室	18	
錦 学 習 館	錦町3-12-25 Tel527-6743	講 堂	270	第 1 和 室	26	1,977㎡ 1,966㎡
		第1実習室	25	第 2 和 室	24	
		第2実習室	30	保 育 室	14	
		視 聴 覚 室	30			
幸 学 習 館	幸町2-1-3 Tel534-3076	講 堂	130	第 2 和 室	12	1,372㎡ 1,282㎡
		実 習 室	25	練 習 室	30	
		第 1 教 室	40	陶 芸 室		
		第 2 教 室	20	保 育 室	21	
		第 1 和 室	20			

②平成25年度利用状況

ア 柴崎学習館

施設名	件数	人数
講堂	898	43,184
会議室	676	7,455
実習室	529	5,389
視聴覚室	832	13,429
第1教室	744	10,093
第2教室	686	12,714
第3教室	641	10,602
第1和室	440	5,616
第2和室	195	1,093
第3和室	625	4,389
陶芸室	393	1,889
保育室	92	644
計	6,751	116,497

イ 砂川学習館

施設名	件数	人数
講堂	795	15,299
実習室	415	4,484
第1教室	618	9,969
第2教室	599	8,000
第1和室	498	6,885
第2和室		
保育室	79	367
計	3,004	45,004

ウ 西砂学習館

施設名	件数	人数
会議室	352	4,291
第1実習室	219	2,503
第2実習室	167	1,087
視聴覚室	865	16,646
第1教室	422	6,618
第2教室	428	4,724
第1和室	420	5,153
第2和室	271	1,955
陶芸室	64	288
保育室	92	976
計	3,300	44,241

エ 高松学習館

施設名	件数	人数
実習室	574	5,805
視聴覚室	877	14,678
第1教室	747	9,914
第2教室	695	8,585
和室	590	5,227
保育室	90	743
計	3,573	44,952

オ 錦学習館

施設名	件数	人数
講堂	927	19,703
第1実習室	400	5,282
第2実習室	526	6,513
視聴覚室	748	10,551
第1和室	448	6,478
第2和室	82	562
保育室	66	441
計	3,197	49,530

カ 幸学習館

施設名	件数	人数
講堂	901	14,536
実習室	490	4,883
第1教室	584	8,880
第2教室	483	4,081
第1和室	550	5,356
第2和室	14	65
練習室	804	6,907
陶芸室	69	377
保育室	74	604
計	3,969	45,689

(全館合計)

件数	人数
23,794	345,913

③夏休み学習室の開放

各学習館では、夏休み期間中、施設内の教室を夏休みの学習のために無料で利用していただいています。

ア 平成25年度利用状況

区 分	柴崎学習館	砂川学習館	西砂学習館	高松学習館	錦学習館	幸学習館	合 計
開設日数	38	38	39	38	38	38	229
利用者数（のべ）	474	94	379	303	103	127	1,480

II 地域学習館事業

生涯学習推進センターでは、地域学習館などを会場に、市民ニーズをとらえた様々な事業を行っています。講座は、たちかわ市民交流大学の行政企画講座として位置づけています。

①高齢者対象事業

高齢者の生涯教育の一環として、仲間づくりや生きがいを目的とした「寿教室」を地域学習館など9会場で実施しています。実施内容は、健康づくりの基本「健康体操」をメインに、コーラスや民謡、フォークダンス、舞踊、気功等、地域ごとに様々で、全教室合わせて約800人、平均年齢75歳の高齢者の皆さんが活動しています。また、全教室の皆さんが日頃の練習の成果を披露する「寿教室芸能フェスティバル」を隔年で開くなどして交流を深めています。

ア 平成25年度寿教室開講状況

教室名	参加人数	開講日数	教室名	参加人数	開講日数
中央寿学院	146	46	錦ことぶき教室	131	54
羽衣寿教室	62	37	栄寿教室	95	37
砂川寿教室	51	37	若葉寿教室	86	40
こぶし寿教室	57	37			
西砂寿教室	59	40	合計	788	368
高松寿教室	101	40	※全館合同の参加人数は、合計には含まない。		

②社会福祉対応事業

知的障害者の方々の社会的自立と親睦、健常者とのふれあいを目的とした青春学級を昭和50年に開設し、ボランティアと協働してスポーツや調理実習など各種事業に取り組み、相互理解を深めています。また、初級者を対象とした手話教室を開設し、手話技術の向上を図るとともに、聴覚障害者への理解を深めています。

ア 平成25年度青春学級開催状況

館 名	登録人数	開催日数	事業内容
柴崎学習館	39	20	調理・工作実習、スポーツ、レク活動、宿泊研修、心身障害者スポーツ大会、年末のつどいなど

イ 平成25年度手話教室開催状況

館 名	コース	開催日数	参加者数
錦学習館	初級編	12	118

③視聴覚関連事業

自治会、子ども会等の団体に、16ミリ映写機やフィルムなどの機材を貸し出し、視聴覚関連の活動を支援しています。

ア 平成25年度視聴覚機材貸出状況

機 材	16ミリ映写機	映画フィルム	映写幕	スライド映写機	暗幕	レンズ	OHP
件 数	27	7 (23本)	18	0	12 (39枚)	19	1

④国際化社会への対応事業

多文化共生社会実現に向けて、国際理解を深めるために、講座や教室を開催しました。

ア 平成25年度国際化社会への対応事業開催状況

館 名	事 業 名	開催日数	参加者数
合同事業	留学生と七夕飾りを作ろう！2013	1	18
	留学生と一緒に！まんがパーク見学に行こう！	1	19
	外国人といっしょに防災について知ろう！体験しよう！	1	38
	日本人移民の歴史といまを知る～「ブラジルの土に生きて」上映会&岡村淳監督トークイベント	1	27
	はじめてのポルトガル語	5	69
	おとなりは外国人！ ～「レヌカの学び」を通して知る多文化共生	1	20
	「マリアのへそ」上映会&野澤和之監督講演会	1	17
	「モンゴル野球青春記」上映会&トークイベント	1	69
合 計		12	277

⑤環境問題対応事業

便利さや快適さの追求の結果もたらされた私たちをとりまく環境の悪化、その現状を把握し、人体への影響などを幅広く考慮し、より深刻化する環境問題を学びました。



環境問題講座
「トトロの森（八国山緑地）へ行こう」

ア 平成25年度環境問題対応事業開催状況

館 名	事 業 名	開催日数	参加者数
合同事業	「暮らしに重曹を」(春の楽市2013 環境フェア)	1	—
	環境月間イベント 環境パネル展示&ワークショップ「お手玉で遊ぼう！」	16	—
	環境月間講座 水辺の生物の観察	1	26
	環境月間講座 エコふろしき講座	1	16
	環境月間講座 気軽にできる男のエコクッキング	1	8
	お手玉をつくろう！～丈夫で手軽に洗えるリサイクルのペレットを使って	1	19
	癒しのハーブ講座～緑のある生活	3	48
	どんぐり工作&どんぐりクッキー	1	49
	エコクッキング 「楽々野菜スムージー」	1	15
	スローな暮らしから環境を考える	1	26
	星空観察会	1	12
	環境講座 「あなたもできる生ごみの堆肥化」	1	26
	自然観察会 トトロの森「八国山緑地」に行こう！	1	20
合 計		30	265

⑥平和・人権学習事業

原爆をテーマに終戦記念日を中心に講演会、パネル展映画会を実施しました。被爆体験から放射能の恐ろしさ、戦争の悲惨さを学びました。また、人権学習事業実行委員会は障害者週間実行委員会とも連携し事業を行いました。他に東京都人権啓発センターとの共催展示会も開催しました。

ア 平成25年度平和・人権学習事業開催状況

館 名	事 業 名	開催日数	参加者数
合同事業	子どもからおとなまで「絵本で考える平和・被爆者のおはなし」(同時公開：第五福竜丸パネル八王子平和資料館所蔵資料)	1	35
	平和アニメ映画会「夏服の少女たち～ヒロシマ・昭和20年8月6日」ほか	1	50
	「世界は恐怖する～死の灰の正体」 映写・第五福竜丸から平和を考える	1	37
	戦時下の砂川の食事情	1	13
	読む人権 じんけんのほん 絵本の本棚	11	—
	おはなしころりんによる読み聞かせ 柴崎図書館読み聞かせ	2	8
	見落とされている外国籍ヒパク者 ～韓国、朝鮮人被爆者問題と38度線	1	18
	平和人権映画会「チェルノブイリ事故後の市民生活～プリピャチ」	2	32
	立川市人権学習事業2013 映画会「最強のふたり」	1	148
	バリアフリーってなに？(展示)	15	—
	平和人権映画会「逃げ遅れる人々・東日本大震災と障害者」	2	25
	写真展「津波～宮古市の被災記録と復興への一歩」	18	—
	平和人権講演会・内部被曝を考える ～肥田舜太郎医師を迎えて	1	68
合 計		57	434

⑦地域活性化講座

地域の活性化を目的に、地域学習館運営協議会が主体となって、地域の特色や課題を踏まえた講座の企画・運営を行いました。



地域活性化講座
「キッズHip Hop ダンス教室」

ア 平成25年度地域活性化講座開催状況

館 名	事 業 名	開催日数	参加者数
柴崎学習館	一小PTA成人教育部協働企画	1	57
	キッズ Hip Hop ダンス教室	8	185
	吹奏楽 ジャズ・ポップスセミナー	2	102
	亀井文夫監督作品を観る	3	72
	交流スペース有効利用事業	161	1,798
砂川学習館	砂川学習館開設40周年企画展示	80	—
	立川市・砂川町合併50周年記念講座	3	77
西砂学習館	生涯現役・にしすな塾	4	103
	子育てママのリフレッシュヨガ	3	21
	ようこそ！！西砂へ	1	39
	フリースペース・にしすな	47	259
高松学習館	高松サミットⅡ 2013「高松つながり ～岡山市・鹿島市編～おいしい中国茶を飲みながら」	1	80
	昭和記念公園を100倍楽しむ講座	2	37
	天体観測講座 高松の星空を見よう！	1	44
	きり絵をつくろう！	1	11
	野菜のチカラ	2	41
	おいしく淹れられるコーヒー講座	1	24
錦 学 習 館	簡単、美味しい！伝統のふりかけを作ろう！	1	12
	親子メンタリング講座	3	56
	ブレ錦まつり～学芸大生と過ごす錦学習館の一日	1	400
	医療・介護講座～一人でも高齢世帯でも認知症があっても最後まで地域で～	2	41
幸 学 習 館	ママビクス&ベビーマッサージ～ママすっきり・赤ちゃんにっこり	6	134
	子どものおいしいお菓子作り教室（みんなで洋・和菓子を作ってみよう！）	2	18
	昔遊び（&おやつ）を体験してみよう！	1	10
合 計		337	3,621

⑧家庭教育講座

子どもとのコミュニケーションの円滑化や、家庭におけるしつけはどうあるべきか等について親が学習する機会を提供し、家庭教育力の向上を図るため家庭教育講座を開催しました。

ア 平成25年度家庭教育講座開催状況

館 名	事 業 名	開催日数	参加者数
合同事業	困り感のある子どもをサポートしているおとなのしゃべり場「たんぽぽ」	16	81
	シリーズ発達障がい「門野晴子さんにきく～発達障がいと思春期」	1	42
	シリーズ発達障がい「目に見えにくい障がい～子どもの特性を知ろう」	1	39
	シリーズ発達障がい「発達に凸凹がある子の育ちを考える連続講座」	7	94
	イクメン講座☆パパ同士で語ろう～パパトーク！	7	90
	大切な乳幼児の食事と成長	1	13
	大切な幼児の食事と成長	1	13
	イクメン講座☆パパ同士で語ろう～パパチャレ！子どもが喜ぶ読み聞かせ	1	10
	イクメン講座☆パパ同士で語ろう～パパチャレ！パパシェフのレストラン	1	6
	イクメン講座☆パパ同士で語ろう～パパチャレ！得意なことを生かして子育て・アウトドア編	1	9
	わかることでサポートできる～不妊のお話	1	7
	聞きましょう！語りましょう！育児の話とわらべうた	4	15
	子どもの心をはぐくむおもちゃのお話	2	25
	学力アップの部屋作り～片づけは自立の第一歩	1	23
	整体的子育てってなあに？	1	26
	ママのリラックスティー講座	3	35
	ネットいじめの現状と対策～子どもを守るために親がすべきこと	1	28
	ママのお楽しみ☆気になるにおいをアロマでリフレッシュ！	1	6
	子どものための自分史「僕の！私の！生まれた日」ノートづくり	1	11
	家族を撮る「ちづる」～4月2日は世界自閉症啓発デー	1	40
合 計		53	613

⑨子ども対象講座

子どもを対象とした自然体験事業や職業体験事業などを開催しました。

ア 平成25年度子ども対象講座開催状況

館 名	事 業 名	開催日数	参加者数
合同事業	こどもグリーンクラブ	8	70
	高松子ども科学あそび隊' 13	8	109
	立川宇宙の学校	5	412
	いろいろな仕事のぞいちゃおう！～保育士編	2	43
	いろいろな仕事のぞいちゃおう～旅行会社のお仕事編	1	18
	いろいろな仕事のぞいちゃおう！～昭和記念公園植物管理のお仕事編	1	4
	いろいろな仕事のぞいちゃおう！～証券会社編	1	11

館 名	事 業 名	開催日数	参加者数
合同事業	いろいろな仕事のぞいちゃおう！～気象予報士編	1	20
	いろいろな仕事のぞいちゃおう！～理容師編	1	17
	親子自然観察会 里山へホテルを見に行こう	1	21
	ポリスチレンスタンプをつくろう！ ～ミカンで発泡スチロールが大変身 発泡スチロールの科学	1	21
	木工教室 竹とんぼを作って飛ばそう！	1	14
	夏休み☆アート講座～消しゴムハンコとステキなカード作り	1	12
	自分で作ろう☆デザートつき夏ランチ	1	19
	もうすぐクリスマス★きらきらランプをつくろう！	1	17
	うごくおもちゃをつくろう！	1	13
	中高生限定講座～社会のいろはを学び合おう！	1	10
合 計		36	831

⑩パソコン講座

市民講師によるパソコン入門教室を開催し、地域情報化に向けて取り組みました。

ア 平成25年度パソコン講座開催状況

館 名	事 業 名	開催日数	参加者数
合同事業	ゼロから始めるパソコン講座	20	250
	ワードで文書作成	4	52
	ワード1日講座	1	13
	デジカメ講座	5	59
	インターネット講座	3	25
合 計		33	399

⑪平成25年度に開催されたその他の催し

各地域学習館で学習館まつりを開催し、日ごろの学習成果を作品展や発表会などで披露しました。また、コンサートや映画会など、大人も子どもも楽しめる催物を開催しました。

ア 地域学習館まつり開催状況

館 名	事 業 名	開催日数	参加者数
柴崎学習館	すわっ祭	25	1,433
砂川学習館	砂川学習館まつり	16	1,037
西砂学習館	西砂学習館まつり	12	2,780
高松学習館	高松学習館文化祭	28	730
錦学 習 館	みんなの錦まつり	25	1,259
幸学 習 館	かわせみ祭	9	1,828
合 計		115	9,067

イ 催物事業開催状況

館 名	事 業 名	開催日数	参加者数
柴崎学習館	サマーコンサート2013	1	170
	土曜ファミリー劇場（人形劇、映画会、おはなし会）	4	137
砂川学習館	ときめき春のコンサート「濱田彰子ヴァイオリンの魅力」	1	62
西砂学習館	西砂こども観劇会「たっちゃんとあそぼう」ほか	1	89
	わくわく！一緒に楽しむ音楽会	1	16
	新春にしすな寄席（風間杜夫）	1	70
高松学習館	高松ふれあいサロンコンサート♪	1	33
	高松ふれあい健康フェア	1	230
	クリスマス子どもお楽しみ会	3	144
	たかまつ子どもまつり	1	58
錦 学 習 館	にしき子ども映画会「忍たま乱太郎」ほか	3	254
	子ども観劇会「びんぼうがみとふくのかみ」	1	101
	錦まつりコンサート「メゾ・ソプラノってすばらしい」	1	200
幸 学 習 館	室内楽コンサート	2	316
	幸子ども観劇会「雪の女王」・「おこすなキケン」	1	37
合 計		23	1,917

（７） 学習等供用施設

学習等供用施設は、地域住民の学習、集会、レクリエーションの拠点となるもので、市内に11館あります。各会館には、集会室や学習室などがあり、社会教育関係団体や地域の団体に活発に利用されています。各会館では、地域諸団体からの選出者等で構成された管理運営委員会が日常の管理・運営業務を担い、また、会館まつりや各種講座の開催、会館広報の発行などといった事業も実施しています。

平成18年9月からは指定管理者制度を導入しており、各会館の管理運営委員会を指定管理者として、より地域住民のニーズに対応した管理・運営、および事業の企画等を行っています。

①施設一覧

会 館 名	所在地・電話番号	室 名	定 員	敷地面積	床面積
滝ノ上会館	富士見町4-16-10 TEL527-8762	集 会 室	150	1,189m ²	648m ²
		集 会 兼 休 養 室	80		
		学 習 室	24		
		集 会 兼 保 育 室	30		
こんぴら橋会館	砂川町3-26-1 TEL535-7285	集 会 室	150	1,190m ²	616m ²
		集 会 兼 休 養 室	27		
		学 習 室	39		
		集 会 兼 保 育 室	27		
高 松 会 館	高松町2-25-26 TEL528-1080	集 会 室	150	523m ²	357m ²
		集 会 兼 休 養 室	40		
		学 習 室	18		

会 館 名	所在地・電話番号	室 名	定 員	敷地面積	床面積
若 葉 会 館	若葉町 3－34－1 TEL535－3473	第 一 集 会 室	150	1,883m ²	531m ²
		第 二 集 会 室			
		控 室	15		
		第一集会室兼休養室	30		
		第二集会室兼休養室			
		集 会 兼 保 育 室	24		
		学 習 室	30		
こ ぶ し 会 館	幸町 5－83－1 TEL537－0810	第 一 集 会 室	250	1,396m ²	1,275m ²
		第 二 集 会 室	80		
		第 三 集 会 室			
		集 会 兼 休 養 室	8		
		第 一 学 習 室	50		
		第 二 学 習 室	45		
		第 三 学 習 室			
		第 四 学 習 室	20		
羽 衣 中 央 会 館	羽衣町 2－26－7 TEL524－8601	集 会 兼 保 育 室	10	408m ²	814m ²
		第 一 集 会 室	30		
		第 二 集 会 室			
		第 三 集 会 室	120		
		第 四 集 会 室			
		第一集会室兼休養室	15		
		第二集会室兼休養室	15		
		第 一 学 習 室	30		
		第 二 学 習 室	30		
天 王 橋 会 館	一番町 3－6－1 TEL531－4448	集 会 兼 保 育 室	15	1,262m ²	636m ²
		第 一 集 会 室	180		
		第 二 集 会 室			
		集 会 兼 休 養 室	20		
		学 習 室	30		
柴 崎 会 館	柴崎町 1－16－3 TEL529－1081	集 会 兼 保 育 室	20	754m ²	678m ²
		控 室	10		
		第 一 集 会 室	100		
		第 二 集 会 室			
		休 養 室	40		
		学 習 室	30		
さ か え 会 館	栄町 4－6－2 TEL529－6546	集 会 兼 保 育 室	15	1,911m ²	749m ²
		集 会 室	180		
		集 会 兼 休 養 室	25		
		学 習 室	25		
西 砂 会 館	西砂町 5－11－13 TEL531－0066	集 会 兼 保 育 室	25	1,542m ²	559m ²
		集 会 室	120		
		集 会 兼 休 養 室	20		
		学 習 室	24		
上 砂 会 館	上砂町 1－13－1 TEL535－2541	集 会 兼 保 育 室	20	3,896m ²	1,134m ²
		音 楽 室	20		
		第 二 学 習 室	18		
		第 一 学 習 室	30		
		第 二 集 会 室	100		
		第 一 集 会 室	150		

②平成25年度利用状況

区 分	有 料		無 料		計	
	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数
滝ノ上会館	172	2,488	919	14,130	1,091	16,618
こんぴら橋会館	258	4,494	1,374	17,491	1,632	21,985
高松会館	146	2,410	918	12,363	1,064	14,773
若葉会館	174	3,517	1,563	27,888	1,737	31,405
こぶし会館	305	5,040	2,027	33,528	2,332	38,568
羽衣中央会館	283	5,090	1,299	23,530	1,582	28,620
天王橋会館	205	4,861	885	14,069	1,090	18,930
柴崎会館	407	4,205	1,729	25,012	2,136	29,217
さかえ会館	373	5,643	1,888	25,986	2,261	31,629
西砂会館	76	1,821	380	6,532	456	8,353
上砂会館	496	8,202	2,151	29,579	2,647	37,781
計	2,895	47,771	15,133	230,108	18,028	277,879

※西砂会館は空調機改修工事のため、12月1日から3月6日まで休館

(8) 文化財

立川市の歴史はとても古く、古代の遺跡から近代の建築物まで様々な種類の文化財が数多く残されています。立川市教育委員会では、このような国民共有の財産を後世に伝えていくために、重要な文化財は法令に基づいて保存・保護しています。埋蔵文化財については発掘調査を実施し、遺跡の範囲や分布状況の確認に努めています。また、市民の皆さんが郷土の歴史や文化を身近に感じていただけるように富士見町に歴史民俗資料館を開設し、歴史・民俗・自然に関する資料を展示しています。このほか幸町には江戸時代の民家「小林家住宅」を復元した古民家園を開設しています。

①指定文化財等

市内には、「六面石幢」などの国指定文化財、「立川原合戦戦死者供養鉦鼓」などの東京都指定文化財があります。このほか郷土の歴史上保存する必要があるものや重要なものは、立川市文化財保護条例の規定に基づいて市の文化財に指定し、保護・保存に努めています。平成25年3月に指定された、市指定有形民俗文化財「須崎家内蔵」は、古民家園内への復元にむけて部材等の調査が進められています。



国宝六面石幢



市指定無形民俗文化財「獅子舞」



八幡神社本地仏像

ア 指定文化財等一覧

区分	名称	住所	指定年月日
国 宝	六面石幢	柴崎町 4－20－46 普済寺蔵	昭28. 11. 14
国 重 要 文 化 財	木造大日如来坐像	柴崎町 真如苑蔵	平21. 7. 10
国 指 定 史 跡	玉川上水	一番町、上砂町、砂川町、柏町、幸町	平15. 8. 27
国 登 録 有 形 文 化 財	中野家住宅主屋、蔵	柏町 3－8－1, 2 個人所有	平12. 4. 28
都 指 定 有 形 文 化 財	立川原合戦戦死者供養鉦鼓	曙町 個人蔵	昭40. 11. 16
都 指 定 史 跡	立川氏館跡	柴崎町 4－20－46 普済寺境内	平 6. 3. 22
市 指 定 有 形 文 化 財	普済寺保存の板碑群	柴崎町 4－20－46 普済寺蔵	昭30. 3. 10
〃	八幡神社本地仏像	柴崎町 1－5－15 諏訪神社蔵	昭30. 3. 10
〃	満願寺聯	柴崎町 個人蔵	昭30. 3. 10
〃	柴崎分水訴願状	柴崎町 個人蔵	昭30. 3. 10
〃	諏訪神社獅子頭及び太鼓胴	柴崎町 1－5－15 諏訪神社蔵	昭38. 6. 22
〃	阿豆佐味天神社本殿付棟札	砂川町 4－1－1 阿豆佐味天神社蔵	昭45. 11. 26
〃	公私日記	歴史民俗資料館保管	昭45. 11. 26
〃	勝坂式土器	歴史民俗資料館蔵	昭45. 11. 26
〃	柴崎村野帳附柴崎村地図	〃	昭51. 3. 19
〃	立川村十二景	歴史民俗資料館保管	昭51. 3. 19
〃	小林家住宅	幸町 4－65 古民家園内	平元. 12. 1
〃	砂川十番組大のぼり	歴史民俗資料館蔵	平 3. 3. 28
〃	立川氏文書	歴史民俗資料館蔵	平13. 9. 1
〃	旧石井家住宅 主屋・長屋門・土蔵	国営昭和記念公園こもれびの里地内	平21. 7. 30
〃	砂川村野取反別帳・附 砂川村絵図	歴史民俗資料館保管	平25. 3. 25
〃	柴崎村絵図	歴史民俗資料館蔵	平25. 3. 25
〃	砂川村絵図	歴史民俗資料館蔵	平25. 3. 25
〃	向郷遺跡環状墓群出土の遺物	歴史民俗資料館蔵	平25. 3. 25
市 指 定 史 跡	大和田遺跡	柴崎町 4－5－8 先	昭30. 3. 10
〃	八幡神社本殿跡	柴崎町 1－7－17先	昭30. 3. 10
〃	満願寺跡	柴崎町 1－9－3 先	昭30. 3. 10
〃	柴崎分水	富士見町、柴崎町、錦町	昭30. 3. 10
〃	蚕影神社跡	砂川町 4－1－1 阿豆佐味天神社	昭39. 8. 25
市 指 定 天 然 記 念 物	八幡神社大櫓	柴崎町 1－7－8 先	昭30. 3. 10
市指定有形民俗文化財	多摩川漁撈具	歴史民俗資料館保管	昭57. 7. 27
〃	須崎家内蔵	幸町 自治会蔵	平25. 3. 25
市指定無形民俗文化財	獅子舞	立川市獅子舞芸能保存会	昭42. 9. 13

②埋蔵文化財の保護・保存

埋蔵文化財とは地中に埋もれている土器や石器などの遺物と、住居跡や墓などの遺構を指し、こうした文化財の埋もれている場所を遺跡と呼びます。市内には、教育委員会が確認調査をしたり、伝説、口伝等によって現在20ヶ所が埋蔵文化財包蔵地として周知されています。遺跡は郷土

の歴史を解明するための貴重な資料であり、現状のまま後世に伝えるのが望ましいのですが、やむを得ずその場所を開発しなければならない場合は文化財保護法の規定に基づき調査を実施しています。立会調査は開発中に立ち会いを実施し、試掘・確認調査は開発前に遺跡の有無を確認するための発掘調査を実施します。

なお、調査結果は報告書にまとめ、文化庁や東京都教育委員会等に報告するとともに、図書館等を通じて広く情報提供しています。

ア 平成25年度埋蔵文化財調査一覧

遺跡名	調査地	調査の種別・面積	調査期間	主な検出遺構・遺物
向 郷	錦町 4 丁目	確認調査	1 日	溝（近世以降）縄文土器、陶器
大 和 田	柴崎町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
向 郷	羽衣町 3 丁目	確認調査	1 日	縄文土器
向 郷	錦町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
向 郷	錦町 4 丁目	確認調査	3 日	竪穴住居、土坑、ピット、縄文土器・石器
川 越 道 西	幸町 5 丁目	立会調査	1 日	無し
N o . 21	柴崎町 1 丁目	立会調査	1 日	無し
向 郷	錦町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
下 大 和 田	柴崎町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
大 和 田	柴崎町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
下 大 和 田	柴崎町 4 丁目	確認調査	1 日	竪穴住居、土師器、須恵器
大 和 田	柴崎町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
向 郷	錦町 3 丁目・羽衣町 3 丁目	立会調査	3 日	無し
向 郷	錦町 4 丁目	確認調査	1 日	縄文土器、礫
観 音 寺 原	栄町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
向 郷	錦町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
天王橋 B 地点	一番町 1 丁目	立会調査	1 日	無し
大 和 田	柴崎町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
向 郷	羽衣町 3 丁目	立会調査	1 日	無し
向 郷	錦町 4 丁目	確認調査	1 日	土坑・ピット、縄文土器
宮 ノ 橋	砂川町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
台 の 下	富士見町 3 丁目	立会調査	1 日	無し
観 音 寺 原	栄町 4 丁目	確認調査	1 日	ピット、土坑、石器、磁器
向 郷	羽衣町 3 丁目	立会調査	1 日	無し
向 郷	羽衣町 3 丁目	確認調査	1 日	縄文土器・石器
普 濟 寺	柴崎町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
普 濟 寺	柴崎町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
普 濟 寺	柴崎町 4 丁目	立会調査	1 日	無し
普 濟 寺	柴崎町 4 丁目	確認調査	1 日	無し
台 の 下	富士見町 3 丁目	立会調査	1 日	無し
台	富士見町 3 丁目	立会調査	2 日	無し
大 和 田	柴崎町 4 丁目	立会調査	1 日	無し

遺跡名	調査地	調査の種別・面積	調査期間	主な検出遺構・遺物
台 の 下	富士見町3丁目	立会調査	1日	無し
下 大 和 田	柴崎町4丁目	確認調査	1日	無し
観 音 寺 原	栄町4丁目	立会調査	2日	無し
天王橋B地点	一番町1丁目	立会調査	1日	無し

③歴史民俗資料館

歴史民俗資料館は、郷土に関する資料を収集・保管・展示するとともに、調査・研究も行う施設で、昭和60年12月に開館しました。本館1階の展示室では化石や石器、土器、古文書、民具、伝統技術、芸能の記録といった様々な資料をテーマごとに展示しています。また、2階の収蔵庫には発掘で出土した考古資料や寄贈を受けた多数の資料を保管しています。新館の体験学習室では、ほぼ月に1回の割合で年中行事や食文化を伝える体験学習事業を開催しています。



常設展示室（中世の立川）

また、出張展示や市内教育機関との連携事業も積極的に実施しています。

施設名	所在地・電話番号	開館時間・休館日	敷地面積	建物面積
歴史民俗資料館	富士見町3-12-34 ☎525-0860	午前9時～午後4時30分 月曜日（祝日等の場合は翌日）・年末年始	3,551㎡	1,708㎡

ア 平成25年度利用状況

開館日数	大人	子ども (中学生以下)	計	団体利用	
				件数	人数
307	6,207	2,003	8,210	35	1,607

（団体利用は内数）

イ 平成25年度体験学習会開催状況

行 事 名	回 数	参加者数	行 事 名	回 数	参加者数
手打ちそば作り	2	45	餅つきと鏡餅作り	1	19
多摩川の自然観察	1	14	正しい拓本の取り方を学びませんか	1	7
縄文人に学ぶ石器作り	2	12	講演会「渋沢敬三からのメッセージ」	1	48
夏休み工作体験「竹細工作り」	1	17	講演会「立川の板碑」	1	17
手打ちうどん作りと十五夜飾り	1	15	多摩郷土史フェア関連講演会①	1	31
立川の古村を歩く	1	10	多摩郷土史フェア関連講演会②	1	35
砂川新田発祥の地を歩く	1	21	合 計	15	291

ウ 平成25年度企画展示等実施状況

内 容	場 所	観覧者数
企画展「新収蔵品展」①	資料館特別展示室	922
ミニ企画展「端午の節句展」	資料館ラウンジ	803

内 容	場 所	観覧者数
ミニ企画展「七夕飾り」	資料館エントランス	159
機織り実演	資料館ラウンジ	610
企画展「立川の遺跡2013」	資料館特別展示室	1168
ニホンゴ探検2013	国立国語研究所	248
写真展「立川駅の移り変わり」	資料館廊下	624
東京文化財ウィーク2013公開事業「銅鉦鼓」	資料館特別展示室	900
企画展「合併50周年 立川市と砂川町」	資料館特別展示室	900
ミニ企画展「1964東京オリンピック in Tachikawa」	資料館ラウンジ	587
ミニ企画展「桃の節句展」	資料館ラウンジ	831
企画展「新収蔵品展」②	資料館特別展示室	334
出張ミニ展示「なつかしの電話展」	高松学習館	
出張ミニ展示「こんなんでましたけど」	高松学習館	
パネル展示「立川の古民家」	本庁多目的プラザ	
協働展示「よみがえる機織り」	多摩信富士見町支店	
連携展示「東京オリンピック in Tachikawa」	三井住友信託銀行立川支店	
連携展示「お散歩に行こう 春 根川緑道」	三井住友信託銀行立川支店	
はたおり祭り	資料館体験学習室	234
合 計		8,320

④川越道緑地古民家園

川越道緑地古民家園は、貴重な文化財を保護し、伝統的な生活文化を伝承するため、江戸時代末期に建築された小林家住宅を移築・復元したもので、平成5年10月に開園しました。園内には、茅葺き・入母屋造りの母家のほか、穀倉などがあります。庭も昔の農家の庭を再現しており、来園者には立川の伝統文化に触れていただくことができます。母家では、昔の農機具や生活道具などが展示されているほか、5月には端午の節句展、7月には七夕飾りを開催しています。また、園内の畑では1年間を通じて農作業を行い、年中行事等とあわせて農家の生活を実体験できる「通年体験学習」も開催しており、多くの方に参加いただいています。平成23年度は母屋北側屋根の葺き替えを行いました。平成25年1月に通算来園者数20万人を達成しました。



川越道緑地古民家園

施設名	所在地	開館時間・休館日	敷地面積	建物面積
古民家園	幸町4-65	午前9時～午後4時30分 月曜日（祝日等の場合は翌日・年末年始）	2,153㎡	298㎡

ア 平成25年度利用状況

開館日数	大 人	子ども (中学生以下)	計	団体利用	
				件数	人数
307	5,943	2,214	8,157	43	1,614

（団体利用は内数）

イ 平成25年度体験学習会開催状況

行 事 名	回 数	参加者数
通年体験学習「麦作二番耕」	1	4
通年体験学習「陸稲の種まき・サツマイモ植え付け」	1	15
通年体験学習「麦刈り」	1	6
通年体験学習「麦の脱穀とじゃがいも掘り」	1	12
通年体験学習「麦わら細工作り」	1	7
通年体験学習「手打ちうどんと十五夜飾り」	1	6
通年体験学習「稲刈りとサツマイモ掘り」	1	1
通年体験学習「稲の脱穀」	1	5
通年体験学習「もちつき」	1	15
茶たて	12	155
合 計	21	226

ウ 平成25年度企画展示等実施状況

内 容	場 所	観覧者数
端午の節句展	古民家園母家オカッテほか	1,107
七夕飾り	古民家園母家入口	152
桃の節句展	古民家園母屋オカッテほか	1,021
合 計		2,280

2. 青少年教育

近年、核家族化や少子化、インターネットの急激な普及などにより、学校・家庭・地域社会といった青少年を取り巻く生活環境は著しく変化し、家庭や地域社会の教育力の低下、また、人間関係の希薄化が指摘されているほか、性や暴力に関する情報の氾濫、薬物の乱用といった社会環境の悪化が深刻化しています。

こうした環境から青少年を守るため、立川市では市長の諮問機関として青少年問題協議会を設置し、青少年問題に関する総合施策について調査・審議するとともに、青少年補導連絡会および地域における青少年の健全育成を目的とした青少年健全育成地区委員会等との連携により、地域の安全・安心の向上と社会環境の浄化、非行防止のための諸事業を行っています。

(1) 青少年健全育成市民行動方針

この「青少年健全育成市民行動方針」は、青少年を取り巻く環境の変化に対応した市民運動を推進するため、市が青少年問題協議会に諮問し、同協議会からの答申をもとに様々な角度から検討を行い、平成22年度より改訂し実践しています。この市民運動方針は、3つの柱を定め、家庭・大人・学校・地域が連携して、市民一体となって市民運動を進めることとしています。また、青少年の健全育成を進めるなかでは、乳幼児期の取り組みの大切さから、1つ目の柱の



中学生の主張大会

中にこの時期の取り組みを取り上げています。

この市民行動方針を今年度の青少年健全育成推進のための基本方針と定め、市民運動を推進していきます。

平成26年度市民行動方針

まず行動であらわそう！見守り育てる立川っ子

たすけあい

ちからいっぱい

かつどうし

わくわくしながら

よいきずなで

そだてしよう

《3つの柱》

◎家族でいっしょに取り組もう ～親は子どもの鏡です～

(各項目の抜粋)

- ・乳児から愛情を持って育てよう
- ・子どもとふれ合おう
- ・生活習慣を身につけさせよう
- ・社会性を育てよう

◎大人が意識して実行しよう ～子どもたちは見えています～

(各項目の抜粋)

- ・気軽にはじめよう
- ・大人が手本を示そう
- ・できることから始めよう

◎地域で育てよう ～子どもは地域の財産です～

(各項目の抜粋)

- ・多くの大人で子どもを守ろう
- ・地域に参加しよう
- ・子どもを守ろう

(2) 主な青少年健全育成事業

①青少年健全育成市民運動

青少年健全育成市民運動は、青少年が健やかに成長するように、大人と青少年とがお互いに理解し合って、よりよい社会を築こうとする全市的な運動で、大人は自らの姿勢を正して、明るい家庭と健全な社会環境を築くために努力し、青少年は自らの心と体を鍛えて、若い力を社会に示すように努めていくことが、この運動のねらいとなっています。運動の推進にあたっては、青少

年健全育成市民行動方針を運動の柱として、健全育成パンフレットの配布など市民への運動の浸透を図るほか、さわやかあいさつ運動のより一層の普及につとめ、夏休み期間等を「長期休み期間の対策」とし、重点目標などを定めて青少年の余暇指導及び事故、非行防止等の活動を推進しています。また、運動の一環として、毎月第2日曜日の「家庭の日」の推進や、地域の環境改善活動を行っているほか、青少年健全育成地区委員会へ事業委託し、各地区において地域性を盛り込んだ各種事業を行うなど、幅広い市民運動の展開を図っています。

ア 「家庭の日」の推進

青少年を健全に育成するための最も重要な基盤が家庭であることを認識し、そのため家庭が「いこいの場」と「教育の場」となり、「家庭が明日の力を生み出すような場」として、その機能を十分に発揮できるように、そのきっかけをつくる日として毎月第2日曜日を「家庭の日」と位置付けています。「家族そろってだんらんする」「家族が話し合い、理解し合って教養を高める」など、家庭が意図的に実践し、それを習慣化していくことを願いながら運動を進めています。

イ 環境浄化運動

違法看板、インターネットからの有害な情報の氾濫やゲームセンター、ポルノ雑誌・アダルトビデオなど青少年を取り巻く環境はますます悪化しています。このため、立川市では、立川市路上違反広告物撤去推進員制度を定め、地域の協力を得て、違法看板撤去に取り組んでいます。また、青少年健全育成地区委員会などを中心にパトロール、地域安全安心点検など環境浄化運動を積極的に進めています。

風俗店の客引き・勧誘、ピンクちらしの配布などを防止するため、立川市つきまとい行為、勧誘行為、客待ち行為及びピンクちらしの配布等の防止に関する条例を制定し、青少年が健全に育つ環境づくりを進め、非行の防止に努めています。最近是不審者等の被害が多発している状況が見うけられるところから、不審者注意啓発看板を作成し、青少年健全育成地区委員会内に設置して、被害の防止に努めています。また、地域の子どもたちを連れ去り、不審者等から守るため、子どもたちが痴漢や変質者等に遭ったときに身近な家や商店に避難し、その家から110番等へ緊急通報していただく、「子ども110番」事業を青少年健全育成地区委員会と市、立川警察署で連携するとともに、「子ども110番マップ」を作成し、市立小学校の全児童に配布しました。

平成22年12月には、青少年には好ましくない有害情報が氾濫している事態を憂慮し、東京都青少年健全育成条例の一部改正がされ、インターネット利用環境の整備、図書類の青少年への販売等の制限、児童ポルノの根絶等の規定が設けられました。また、各市において、都知事より委嘱を受けた青少年健全育成協力員が、指定図書類の陳列をより適正に行うため調査を行っています。

②中学生の主張大会

市内の中学生が日常生活を通じて考えていることや体験などを発表することにより、自立心や自主性、創造性、社会性を育てる機会とするとともに、広く一般市民が中学生の意識や行動に対する認識を深め、青少年健全育成の充実に資することを目的とした「中学生の主張大会」を毎年11月に開催しています。この大会は昭和56年から行っているもので、今年で34回を数え、毎回約3,000編の応募があり、原稿審査の上、選出された15人の中学生が本大会でそれぞれの主張を5分程度で発表します。平成25年度より新たな試みとして、表彰された作品のうち中学校1年生及び2年生の作品については、次年度の「中学生の主張東京都大会」兼「少年の主張全国大会東京

都予選」に主催者として推薦します。

③子ども・若者自立支援ネットワーク事業

社会生活を円滑に営む上で困難を抱える子ども・若者を教育、福祉、保健・医療、矯正・更生、雇用、その他の各分野のネットワークを活用して、行政、NPO、社会福祉法人等が実施する当事者にとって最適な支援へとつなぐ事業を実施しています。

④放課後居場所づくり事業

地域や学校の協力で放課後や週末に子どもたちの安全・安心な居場所を設け、体験的事業や学習、運動、文化、伝承遊び活動、地域住民との交流活動等を行っています。

〔放課後子ども教室事業〕

小学校全20校において、主に放課後に、学校施設を活用し地域の方々の参画を得て事業を実施しています。実施日や実施内容については、地域によって異なります。

〔地域居場所づくり事業〕

児童・青少年健全育成団体など、地域活動を行う複数の団体で構成される推進委員会が、小・中学校施設や学習等供用施設、児童会館、学習館、野外施設等を活動拠点に、月に1回以上土曜日を中心に事業を実施しています。

3. 社会体育

週休2日制の定着化による余暇時間の増加などを背景として、近年、健康に対する関心が高まり、その結果としてスポーツを親しむ人が年々増加しています。また、高齢化社会が進む中で、スポーツ愛好者の年齢層も幅広くなり、その目的・内容も多様化する傾向にあります。立川市教育委員会では、こうした多様化する市民の欲求にこたえていくため、体育館や運動場などの施設整備を進めるとともに、各種の競技大会やスポーツ教室を開催し、スポーツの振興を図っています。

（１） スポーツ振興計画

立川市では、平成17年9月に「立川市第2次スポーツ振興計画」を策定し、平成17年度から21年度までを計画期間として市民のスポーツニーズの多様性や特徴を把握し、市民一人ひとりが自らの希望に応じたスポーツの機会を享受できる条件を整備するとともに、「だれでも」・「いつでも」・「どこでも」・「いつまでも」の生涯スポーツのまちづくりを目標に計画を推進してきました。

このような状況のなか、計画の進捗状況及び平成20年度の立川市スポーツ振興審議会の答申等を踏まえ、子どもや障害者、高齢者まで、また体力の違いにかかわらずすべての人が身近にスポーツに親しむことができるよう「生涯スポーツのまち」づくり実現に向けた基本的な方向性を示す「立川市第3次スポーツ振興計画」を平成22年5月に策定し、次の5つの計画目標を達成するため、平成22年度から26年度までスポーツ振興のさらなる推進を図ります。

①市民力と連携したスポーツの振興

スポーツ活動においては、子どもから高齢者まで、また体力の違いにかかわらず、すべての人が分けへだてなく、身近にスポーツを楽しむことができるような取り組みが大きな課題となります。

これらを実現するため、地域の公共施設、学校施設及び民間施設などを活用し、性別、年齢、種目等を問わず、だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも各自の興味や目的に応じてスポーツに親しめる環境を整備することが求められています。これらを推進するため地域の指導者に対する研修や人材の育成を行い、さらに地域住民の主体的な管理運営のもとでの地域スポーツクラブの創設が必要となっています。

立川市における地域スポーツクラブの創設については、地域住民と十分なコミュニケーションを図りながら創設へ向け課題の整理をし、平成23年11月に市内12地区体育会が地域スポーツクラブとなりました。

②ニーズの多様化に対応した新たな事業の展開

スポーツを取り巻く社会環境が大きく変化していく中で、人々の価値観やライフスタイルが多様化し、それにとまってスポーツに対するニーズも変化してきています。これらのニーズを把握し、スポーツを始めるきっかけとなるような初心者向けの軽体操教室やソフトバレーボール交流事業等は必要性を増してきています。

こうした状況を踏まえ、子ども、障害者及び高齢者のスポーツの振興、ニュースポーツへの取り組みやニーズに応える教室・大会等の実施など時代の要請に応じた新たな事業の展開を図ります。

③健康づくりの推進

スポーツは健康づくりや楽しみのために行うことに加え、スポーツを行う上で、自分自身の健康状態や身体機能の特徴、体力の変化等を把握し、運動量や運動の強さ、時間などを正しく判断することは、より安全に効果的に取り組むことに大きく役立ちます。

特に、高血圧や糖尿病など生活習慣病の症状を持つ人や高齢者の方などがスポーツを行う場合、その都度血圧や脈拍などをチェックすることも健康を管理するうえでは必須の条件です。

④関連行政分野との連携の強化・協働事業の実施

生涯スポーツのまちづくりや健康づくりの課題は、他の行政分野と相互に関連し、協力や連携をしてはじめてその目標の達成が可能となります。

また、高齢者や障害者、児童・青少年のスポーツ振興などについては、関連行政分野はもちろんのこと、関係諸団体との協働が不可欠です。関連する施策などについては、関係各課との整合をはかり相互に連携・協力して事業を実施します。

⑤スポーツ施設の利用拡大及び整備・充実

市民の施設利用は、市民体育館などの屋内施設については、団体及び個人で利用できる環境が整っており多くの市民や他市の団体などに活用されています。しかし、老朽化した部分の補修や利用しやすい環境整備が必要です。

野球場、庭球場、多目的運動場などの屋外施設については土・日・祝日及び夜間の利用が圧倒

的に多く、平日の利用については、高齢者によるゲートボールやグランドゴルフ、主婦層のテニスなどに利用されていますが、野球やサッカーなどは、十分な活用がされていない状況です。

また、学校体育施設の開放が進んでおり、地域で多くの社会人などが、一般開放として体育館や校庭を利用しています。

これらの施設については平日には空きがあるものの、休日にはほぼ100%の利用状況であることから、屋内・屋外のスポーツ施設のさらなる効率的な活用を図るため多目的な利用などを検討するとともに、利用の拡大を図っていきます。

(2) 体育施設

市民がスポーツを楽しむには活動の場が必要となりますが、その拠点となるのが市民体育館です。市民体育館は、昭和55年に泉町に開設した泉市民体育館と、平成5年に柴崎町に開設した柴崎市民体育館の2館があり、それぞれ体育室や室内水泳場、トレーニング室などを備え、多くの市民に利用されています。なお、柴崎市民体育館は、平成22年4月から指定管理者制度を導入し、開館時間延長、トレーニングマシンのリニューアル、各種教室



泉市民体育館

等の開催により利用者サービスの向上に努めています。泉市民体育館は、平成26年4月より指定管理者制度を導入し、6月から開館時間の延長を行いました。このほか、市内には陸上競技場や野球場、庭球場、多目的運動場などがあり、様々な種目のスポーツが楽しめるよう施設が整備されています。

また、国民体育大会開催に伴う施設改修として泉市民体育館、立川公園野球場の改修を、また、耐震補強工事として練成館の一部の改修を平成23年度から24年度にかけて行い、平成25年度には、泉市民体育館、立川公園野球場にて国民体育大会が開催されました。

①施設一覧

区 分	施 設 名	所在地・電話番号	施設内容等	上段…敷地面積 下段…建物面積
体 育 館	泉 市 民 体 育 館	泉町786-11 TEL536-6711	体育室2 室内水泳場(25m) トレーニング室	11,745㎡ 8,453㎡
	利用時間	午前9時～午後11時・休館日	毎月第2・第4木曜日、年末年始	
	柴 崎 市 民 体 育 館	柴崎町6-15-9 TEL523-5770	体育室2 室内水泳場(25m) トレーニング室・スタジオ	10,281㎡ 6,434㎡
	利用時間	午前9時～午後11時・休館日	毎月第3月曜日、年末年始	
陸上競技場	立川公園陸上競技場	錦町6-29-62 TEL522-7250	4種公認 400mトラック 収容人員1万人	20,536㎡
野 球 場	立 川 公 園 野 球 場	錦町6-29-62 TEL523-0825	野球場1面 ナイター設備 収容人員1万人	20,368㎡
	見影橋公園野球場 (陸上競技場兼用)	砂川町3-12-1 TEL537-2695	野球場1面 200mトラック ナイター設備	10,535㎡

区 分	施 設 名	所在地・電話番号	施設内容等	上段…敷地面積 下段…建物面積
野 球 場	多摩川緑地野球場 (多目的運動場兼用)	柴崎町 5-11 先 TEL527-6836	野球場 4 面 緑地広場サイ クリングコース	72,075m ²
	立 川 公 園 新 堤 防 運 動 広 場 (多目的運動場兼用)	錦町 5-20	野球場兼サッカー場	10,606m ²
	中 里 野 球 場	西砂町 3-47 TEL531-5733	野球場 2 面	9,892m ²
	泉 町 野 球 場	泉町786-13 TEL535-7371	ソフトボール場 1 面 ナイター設備	5,542m ²
	一番町少年野球場	一番町 6-17 TEL531-5936	野球場 1 面	4,200m ²
	砂 川 中 央 地 区 北 野 球 場	砂川町 5-25-1 TEL534-3899	野球場 1 面	8,800m ²
	砂 川 中 央 地 区 東 野 球 場	砂川町 1-27-1 TEL534-3899	野球場 2 面	9,100m ²
庭 球 場	西 砂 庭 球 場	西砂町 3-68 TEL531-0878	クレイコート 2 面	3,238m ²
	泉 町 庭 球 場	泉町786-7 TEL534-0264	クレイコート 4 面 ナイター設備	2,925m ²
	砂川中央地区庭球場	砂川町 1-41-5 TEL536-6684	クレイコート 4 面	2,836m ²
	錦 町 庭 球 場 (フットサル場兼用)	錦町 5-20 TEL527-9321	オムニコート 4 面 ナイター設備 フットサル 2 面	7,507m ²
	自治大学テニスコート	緑町10	オムニコート 4 面	2,480m ²
ゲ ー ト ボ ー ル 場	泉町ゲートボール場	泉町786-7 TEL534-0264	ゲートボール場 2 面	1,505m ²
	砂 川 中 央 地 区 ゲ ー ト ボ ー ル 場	砂川町 1-42-6 TEL536-6684	ゲートボール場 2 面	1,500m ²
	砂 川 中 央 地 区 東ゲートボール場	砂川町 1-61-4 TEL534-3899	ゲートボール場 2 面	800m ²
多 目 的 運 動 場	中里多目的運動広場	西砂町 3-47 TEL531-5733	サッカー、ゲートボール等	5,333m ²
	砂 川 中 央 地 区 北多目的運動広場	砂川町 5-12-1 TEL534-3899	サッカー、ゲートボール等	8,800m ²
	砂 川 中 央 地 区 多目的運動広場	砂川町 1-54-1 TEL536-6684	少年野球、ゲートボール グラウンドゴルフ	4,600m ²
	自治大学グラウンド	緑町10	少年野球、サッカー	8,702m ²
武 道 場	練 成 館	柴崎町 1-5-7 TEL526-2219	剣道場 2 柔道場 弓道場 相撲場	2,176m ² 1,435m ²
そ の 他	ス ケ ー ト パ ー ク	緑町3173-17		564m ²
	B T R 広 場 (バイクトライアル)	錦町 5-20		450m ²

②平成25年度利用状況

ア 泉市民体育館（開館日数…292日＊）

区 分		第1体育室	第2体育室	トレーニング室	室内水泳場	研修室・会議室	合 計
個 人	大人	9,788	3,170	14,985	46,472		74,415
	子ども	946	1,541		8,081		10,568
	計	10,734	4,711	14,985	54,553		84,983
団 体	大人	77,521	15,045		7,729	4,260	104,555
	子ども	18,373	3,729		11,963	347	34,412
	計	95,894	18,774		19,692	4,607	138,967
教 室	大人	100	6,207	5,846	2,587	478	15,218
	子ども		19		528	8	555
	計	100	6,226	5,846	3,115	486	15,773
合 計	大人	87,409	24,422	20,831	56,788	4,738	194,188
	子ども	19,319	5,289		20,572	355	45,535
	計	106,728	29,711	20,831	77,360	5,093	239,723

＊国体開催のため平成25年9月24日から10月10日まで閉館

イ 柴崎市民体育館（開館日数…345日）

区 分		第1体育室	第2体育室	トレーニング室	室内水泳場	研修室・会議室	スタジオ	ダンススペース	合 計
個 人	大人	11,497	6,309	43,198	43,507			187	104,698
	子ども	1,594	765		10,448			7	12,814
	計	13,091	7,074	43,198	53,955			194	117,512
団 体	大人	54,198	20,594		7,147	4,860			86,799
	子ども	11,044	1,462		3,666	46			16,218
	計	65,242	22,056		10,813	4,906			103,017
教 室	大人	4,899			2,931		21,073		28,903
	子ども				6,090		5,128		11,218
	計	4,899			9,021		26,201		40,121
合 計	大人	70,594	26,903	43,198	53,585	4,860	21,073	187	220,400
	子ども	12,638	2,227		20,204	46	5,128	7	40,250
	計	83,232	29,130	43,198	73,789	4,906	26,201	194	260,650

※利用状況の子どもは、すべて中学生以下

ウ 陸上競技場等

区 分		施 設 名	回 数	利用者数
陸 上 競 技 場		立川公園陸上競技場	74	15,653
		見影橋公園陸上競技場	345	12,347
野 球 場		立川公園野球場	565	21,641
		見影橋公園野球場	470	9,883
		多摩川緑地野球場	1,509	43,975
		立川公園新堤防運動広場	423	10,375
		中里野球場	728	19,309
		泉町野球場	499	11,144

区 分	施 設 名	回 数	利用者数
野 球 場	一番町少年野球場	320	5,480
	砂川中央地区北野球場	724	33,601
	砂川中央地区東野球場	965	26,092
武 道 場	練成館	3,762	48,703
庭 球 場	錦町庭球場	3,736	23,016
	西砂庭球場	1,158	5,523
	泉町庭球場	3,976	18,849
	砂川中央地区庭球場	3,113	15,390
	自治大学テニスコート	347	2,706
ゲートボール場	泉町ゲートボール場	1,241	7,630
	砂川中央地区ゲートボール場	660	3,828
	砂川中央地区東ゲートボール場	2	26
多目的運動広場	中里多目的運動広場	289	12,209
	砂川中央地区北多目的運動広場	522	39,749
	砂川中央地区多目的運動広場	475	8,738
	多摩川緑地野球場	118	22,201
	立川公園新堤防運動広場	13	1,305
	自治大学グラウンド	70	9,139
フットサル	フットサル場（兼用）	378	5,535
合 計		26,482	434,047

＊国体開催のため平成25年9月24日から10月10日まで一部の施設休場

（３） 体育推進事業

①立川市民体育大会

立川市民体育大会は、昭和21年から毎年開かれているもので、4月頃から始まり、翌年の2月頃までほぼ1年を通して開かれています。市民体育大会には、中央大会（地区対抗とオープンの部）と地区大会があり、地区対抗は各地区の代表が出場し、オープンの部と地区大会は、市民が自由に誰でも参加できるようになっています。一昨年の第66回大会には、中央大会と地区大会に延べ3万1千人の参加がありました。

ア 第67回市民体育大会（平成25年度）の開催状況

区 分	種 目	参加者数
中央大会	テニス、サッカー、軟式野球、健康体操、バスケットボール、相撲、水泳、剣道、ソフトボール、登山、柔道、ソフトテニス、バドミントン、空手、弓道、クレ射撃、卓球、陸上競技、バレーボール、駅伝、ゲートボール、合気道、太極拳、ダンス、ミニテニス、ゴルフ、新体操、トライアスロン、吹き矢、自転車	11,607
地区大会 (12体育会)	ソフトボール、バレーボール、運動会、卓球、軟式野球、水泳、バドミントン、マラソン、ゲートボール、テニス、ミニテニス、吹き矢、ソフトバレーボール	15,583
合 計		27,190

②立川スポレクフェスタ

立川スポレクフェスタは、生涯を通してのスポーツ活動が盛んになる中、中高齢者が気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション大会として平成5年に始まりました。参加できるのは、原則として50歳以上の方で、毎年4月から5月にかけて開催されます。一昨年の大会では野球やテ

ニスなど17種目に約2千百人の参加がありました。

立川スポレクフェスタ2013（平成25年度）の開催状況

種 目	参加者数
軟式野球、テニス、ソフトテニス、ミニテニス、ソフトボール、水泳、太極拳、弓道、ターゲットバードゴルフ、バレーボール、バドミントン、ゲートボール、卓球、ダンス、レクリエーション、陸上、吹き矢	2,103

③立川シティハーフマラソン2014

子どもから大人まで、誰でもが気軽に参加できる大会として、「ハーフマラソン」、「3キロレース」、「親子ペアレース」を前年に引き続き開催しました。ハーフマラソンのコースは、陸上自衛隊立川駐屯地滑走路をスタートし、市内を周回後、国営昭和記念公園にフィニッシュするものです。

立川シティハーフマラソン2014のエントリー状況

エントリー数

レース名	人 数
ハーフマラソン	8,224人
3キロ	2,356人
親子ペアレース	636人（318組）
合計	11,216人

④平成25年度に開催されたその他の競技大会・事業

大会・事業名	回 数	参加者数
立川市小学生クラブ交流大会	1	1,000
市民なわとびチャンピオン大会	1	349
体力年齢測定会	1	台風の影響により中止
市民あるけあるけ運動	2	131
高齢者2万歩ハイク	1	74
ソフトバレーボール大会	1	132
合 計	7	1,686

⑤各種スポーツ教室

スポーツの楽しさを理解し、ルールや技術を習得するとともに、仲間づくりやグループ育成の契機として各種のスポーツ教室を実施しています。また、健康志向の高まりの中、各種の「健康づくり教室」への参加者が増加しています。スポーツ教室は、市民体育館などを会場として教育委員会が主催して開くもののほか、地区体育会に運営を委託して開催する地域スポーツ教室があり、幅広い市民の参加を得ています。また、柴崎市民体育館では、指定管理者による各種教室が開催されました。

平成25年度に開催されたスポーツ教室等

区分	名 称	回 数	参加者数
ス ポ ー ツ 教 室	初心者硬式テニス教室	5	145
	夜間硬式テニス教室	5	90
	ハンディ水泳教室	18	123
	少年少女水泳教室	15	405
	太極拳教室	6	106
	エアロビクス教室	12	347
	ソフトテニス教室	5	230
	ヨガ教室	12	764
	中高年硬式テニス教室	14	368
	ランニング教室	5	85
	夜間バドミントン教室	7	160
合 計		104	2,823

区分	名 称	回 数	参加者数
地 域 ス ポ ー ツ 教 室	なわとび指導検定会	17	450
	ソフトバレーボール	145	1,876
	ミニテニス	132	2,301
	ソフトテニス	9	65
	バドミントン	63	1,175
	バレーボール	53	785
	卓球	148	2,053
	ソフトボール	11	157
	ゲートボール	240	1,150
	テニス	11	228
	ダンス	9	60
	剣道	40	160
	少年相撲	3	80
	吹き矢	1	25
	居合道	41	300
合 計		923	10,865

※参加者数はいずれも延べ人数

○柴崎市民体育館スタジオ教室（コース型）

教室名	1期(4～6月)		2期(7～9月)		3期(10～12月)		4期(1～3月)	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
シェイプボクササイズ	13	242	12	169	12	177	12	197
エンジョイエアロ	11	103	13	143	12	103	11	105
親子ヨガ	12	13	13	42	12	26	12	38
はじめてのヨガ	13	279	13	294	12	223	12	216
ビューティーJAZZ	10	52	14	65	8	43	10	31
はじめてのフラダンス	13	243	11	184	10	202	12	218
かんたんピラティスⅠ	10	190	14	259	8	182	9	192
かんたんピラティスⅡ	13	170	11	132	12	293	12	196
パワーヨガ	13	141	13	121	12	118	12	91
やさしいピラティス	12	202	11	140	11	185	13	197
貯筋体操	10	162	14	186	8	137	10	206
ジュニア体操	13	261	11	196	12	241	12	168
骨盤調整ヨガⅠ	13	239	13	207	12	241	12	192
骨盤調整ヨガⅡ	13	128	13	44	12	52	12	62
キッズヒップホップⅠ	13	371	13	351	12	346	12	326
キッズヒップホップⅡ	13	360	13	360	12	344	12	339
アロマリラクゼーションヨガ	13	73	13	111	12	138	12	118
ナイトフラダンス	13	229	13	181	11	132	12	158
わんぱくスポーツ塾	13	192	13	209	12	156	11	189
高齢者筋トレ教室Ⅰ	13	190	13	174	12	243	12	274
高齢者筋トレ教室Ⅱ	13	176	13	150	11	193	12	211
オリジナルコンディショニング	13	282	13	250	11	188	11	134
エンジョイフラダンス	13	202	11	143	10	132	12	141
気軽にフラメンコ	13	81	13	77	12	106	12	119
シェイプバトルボクシング	13	82	12	57	12	25	12	35
合 計	312	4,663	316	4,245	280	4,226	291	4,153

※参加者数は延べ人数

○柴崎市民体育館プール教室

教室名	1期(7月のみ)		2期(9～12月)		3期(1～3月)	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
ちびっこ水なれ	5	123				
ジュニア水なれ	5	149				
ちびっこレベルアップ	5	137				
ジュニアレベルアップ	5	146				
ちびっこスイミングⅠ			45	1,113	34	737
ちびっこスイミングⅡ			32	728	24	547
ジュニアスイミングⅠ			13	397	10	197
ジュニアスイミングⅡ			32	871	24	514
ジュニアスイミングⅢ			16	223	12	208
成人Ⅰ			13	185	10	149
成人Ⅱ			13	199	10	162
合 計	20	555	164	3,716	124	2,514

※参加者数は延べ人数

※プール屋根補修工事のため平成25年4月1日から6月30日まで室内水泳場休業

○柴崎市民体育館スタジオ教室（自由参加型）

スタジオで各種ヨガ、エアロビクス、ベビー体操クラブ等の自由参加型教室（先着順）を行っています。

（４） 学校体育施設開放

社会体育の普及と子どもたちに安全な遊び場を確保することなどを目的に、学校教育に支障のない範囲で、学校の校庭や体育館を夜間を含め一般開放しています。利用できる施設や曜日、時間は学校ごとに決められており、小学校の校庭を遊び場として利用する以外は、すべて教育委員会に登録した団体が対象となっています。

①平成25年度利用状況

学 校 名	利用施設	利用日数	利用者数	学 校 名	利用施設	利用日数	利用者数
第 一 小 学 校	校庭	0	0	松 中 小 学 校	校庭	150	12,876
	体育館	0	0		体育館	244	13,414
第 二 小 学 校	校庭	94	5,645	大 山 小 学 校	校庭	131	4,601
	体育館	261	4,066		体育館	244	6,964
第 三 小 学 校	校庭	169	5,197	柏 小 学 校	校庭	166	7,973
	体育館	280	8,932		体育館	202	3,512
第 四 小 学 校	校庭	258	11,767	上 砂 川 小 学 校	校庭	103	3,599
	体育館	277	11,882		体育館	243	4,930
第 五 小 学 校	校庭	218	7,258	新 生 小 学 校	校庭	75	2,251
	体育館	283	7,517		体育館	200	9,775
第 六 小 学 校	校庭	127	10,087	立川第一中学校	校庭	147	3,186
	体育館	263	6,272		体育館	308	6,254
第 七 小 学 校	校庭	277	18,296	立川第二中学校	校庭	115	3,924
	体育館	233	5,348		体育館	305	4,189
第 八 小 学 校	校庭	189	10,490	立川第三中学校	校庭	81	3,208
	体育館	257	12,429		体育館	290	3,363
第 九 小 学 校	校庭	224	23,100	立川第四中学校	校庭	147	9,432
	体育館	223	4,532		体育館	270	5,037
第 十 小 学 校	校庭	109	6,259	立川第五中学校	校庭	199	3,227
	体育館	225	4,230		体育館	253	4,871
けやき台小学校	校庭	103	4,996	立川第六中学校	校庭	192	5,215
	体育館	236	6,142		体育館	244	3,189
西 砂 小 学 校	校庭	155	15,973	立川第七中学校	校庭	79	888
	体育館	231	5,049		体育館	265	3,726
南 砂 小 学 校	校庭	135	7,286	立川第八中学校	校庭	93	2,246
	体育館	222	3,527		体育館	328	5,063
若 葉 小 学 校	校庭	252	9,340	立川第九中学校	校庭	107	1,914
	体育館	206	5,373		体育館	292	4,718
幸 小 学 校	校庭	203	12,421	計	校庭	4,298	212,655
	体育館	268	3,621		体育館	7,153	167,925

*第一小学校は平成24年7月より建替工事

（５）ハヶ岳山荘

山梨県の清里高原に校外教育の場として、立川市ハヶ岳山荘を開設しています。ハヶ岳山荘は、平成3年に完成した本館（通年利用可）や大体育館などのほか、小体育館、炊事棟などからなり、小学校の自然教室や中学校の移動教室、青少年団体の自然の家等で利用されているほか、市民保養施設として一般の方へ開放しています。



山梨県清里高原にある立川市ハヶ岳山荘

なお、平成21年4月から指定管理者制度を導入し、民間企業のノウハウによる運営を取り入れるとともに、市民以外の利用、宿泊数の拡大、受付時期の早期化などを行い、より利用し易い施設としてサービスの向上に努めています。

①施設概要

敷地面積…38,544m² 所在地：山梨県北杜市高根町清里3545—1 電話番号：0551—48—2309

施設	構造	施設内容	建物面積
本館	鉄筋造2階建	客室（和室10畳）21室（定員1室6人計126人）、食堂、浴室、ロビー、会議室ほか	2,365m ²
宿泊棟	木造平屋建（2棟）	客室（和室8畳）24室（定員1室6人計144人）	565m ²
大体育館	鉄筋造平屋建	収容人員720人	850m ²
小体育館	鉄筋造平屋建	収容人員180人	200m ²
炊事棟			274m ²
管理棟	鉄筋造2階建	和室6室、会議室、食堂、管理人室ほか	423m ²

②平成25年度利用状況

区分	本館（宿泊）	宿泊棟（宿泊）	計
一般利用	7,979		7,979
小学校ハヶ岳自然教室	3,332		3,332
中学校移動教室	238		238
青少年団体ハヶ岳自然の家等	0	1,003	1,003
計	11,549	1,003	12,552

4. 図書館

図書館は、市民一人ひとりの学習を保障する場や情報を発信する場として、その果たす役割はますます重要性を増してきています。立川市教育委員会では「身近なところにある図書館」など下記のとおり図書館づくりの5本の柱をもとに図書館整備を進め、平成7年の中央図書館開館により、8つの地区館とのネットワークを完成させました。また、平成22年度からは、地区図書館に順次指定管理者制度を導入して、サービスの向上や経費の削減を図っており、現在5館が指定管理者によって管理運営されています。

事業面では、子どもたちの読書活動や学習活動を支援するために、学校向けパンフレットを作成・配布するとともに、調べ学習の支援強化の一環として、小学校への定期配送便の回数を学期毎から毎月へ変更するなど利用機会の拡充を進めています。また、図書館システムの更新に併せて、新たにIC機器（自動貸出機・返却機等）を導入し、利用者の待ち時間短縮やプライバシー保護の強化を図るとともに、国立市図書館との相互利用を開始するなど、利用者サービスの向上に努めています。

そのほかに、インターネットを使った蔵書検索、視聴覚資料の貸し出し、リクエストサービス、レファレンスサービス、ハンディキャップサービスなどを実施するとともに、おはなし会や講演会なども開催するなど図書館サービスの充実を図っています。

今後は、図書館づくりの5本の柱の実現に向けて、「図書館基本計画」の主要項目である7つの目標（図書館の将来像）や「第2次子ども読書活動推進計画」の施策の具現化に努め、一層便利で使いやすい図書館を目指していきます。

〈図書館づくりの5本の柱〉

（１）身近なところにある図書館（２）くらしに役立つ図書館（３）親しみやすく利用しやすい図書館（４）誰でも利用できる図書館（５）読書の自由を保障する図書館

【図書館基本計画】

立川市図書館では、平成22年5月、今後5年間の目指す図書館像を明確にし、より適切な利用者サービスを展開するため、「立川市図書館基本計画（平成22年～26年）」を策定し、図書館運営の基本方針としています。この基本計画は、図書館が目指す将来像や機能を踏まえ、これからの立川市図書館サービスの方向性を具体的に示したものです

【第2次子ども読書活動推進計画】

立川市図書館では、平成22年5月、市内の子どもたちが、あらゆる機会と場所において、自主的に読書ができるよう、市と市民が協働して子どもの読書環境の整備を進めていくことを目的に策定しました。この計画は、家庭、地域や学校における、子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性や取組内容を示しています。

〈図書館の将来像〉

- （１）本を読むことの意義を評価する図書館（２）地域の活性化を促す図書館
- （３）子どもたちの成長をサポートする図書館（４）質の高い情報サービスを行う図書館
- （５）障害のある人にも役立つ図書館（６）多種多様な機関と連携・協力する図書館
- （７）市民参画により、成長する図書館

〈平成26年度図書館サービス計画〉

- 目標… 地区図書館と中央図書館の連携を密にし、それぞれの機能が十分に発揮できる体制を強化する中で、立川市が掲げる「心のかよう緑豊かな健康都市立川」の実現をめざす。また、本市の基本理念である「持続可能で、安全・安心の地域づくり～協働による活力あふれる立川～」を達成するためには、図書館がその一翼を担う機関であることを認識し、「図書館づくりの五本の柱」を念頭に置き、ボランティアグループなどとの連携・協力をすすめて、利用の拡大と図書館サービスの充実に努める。

具体的には、立川市第3次基本計画の個別計画である「立川市図書館基本計画（平成22年5月策定）」に基づき、計画の基本理念である「市民や地域の知的・創造活動を推進し、共に歩む図書館」を目指し、開館日、開館時間の拡大やリクエストサービス、インターネット利用サービス、レファレンスサービス、あるいは読書関連の講演会・講座や子ども向け行事の充実を図る。今後は、従前の貸出中心のサービスだけではなく、ITを活用した新しいサービスや職員の企画力、専門性を活かしたサービス、市民ニーズにあった読書支援サービス、人的支援サービスの展開をすすめていくこととする。

●重点施策

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| (1) 立川市図書館基本計画の着実な実施 | (9) 学校との連携の促進 |
| (2) 中央館と地区館との連携によるサービス向上 | (10) ハンディキャップ・サービスの充実 |
| (3) 資料購入費の効率的な活用 | (11) たちかわ読書ウィーク事業の充実 |
| (4) 「立川市図書館情報総合管理システム」の活用 | (12) 保存機能の充実 |
| (5) レファレンスサービスの充実 | (13) 庁内関連課との連携による情報提供・行政支援サービスの拡充 |
| (6) 利用者支援への取組 | (14) 市内関係機関との連携 |
| (7) 児童サービスの充実 | (15) ビジネス支援サービスの充実 |
| (8) 立川市第2次子ども読書活動推進計画の進行管理 | (16) 課題解決コーナーの充実 |
| | (17) 他市図書館との相互利用の定着 |
| | (18) 利用モラルの向上 |

(1) 図書館施設

①施設一覧

館名	所在地 電話番号	蔵書数 (視聴覚資料等含む)	収集図書・施設の特徴	上段…延床面積 下段…開架フロア面積
中央図書館	曙町2-36-2 TEL528-6800	515,274 (うち保存書庫 164,025)	外国語、録音図書、点字図書、視聴覚ブース、情報検索コーナー、レファレンス室、対面朗読室	4,951m ² 2,120m ²
柴崎図書館 ※平成26年8月31日に移転オープン予定	柴崎町1-1-43 TEL525-6177 ※柴崎町2-20-5 TEL525-6177	27,488	※第一小学校との複合施設	185m ² 84m ² ※357m ² ※312m ²
上砂図書館	上砂町1-13-1 TEL535-1531	78,155	地区図書館では最大面積録音室兼対面朗読室	669m ² 448m ²

館名	所在地 電話番号	蔵書数 (視聴覚資料等含む)	収集図書・施設の特徴	上段…延床面積 下段…開架フロア面積
幸 図 書 館	幸町 5-83-1 TEL536-8308	23,949	指定管理者による運営	110m ² 74m ²
西 砂 図 書 館	西砂町 6-12-10 TEL531-0432	58,381	指定管理者による運営	405m ² 268m ²
多摩川図書館	富士見町 6-51-1 TEL525-6905	86,133 (うち保存書庫 26,500)	空襲の資料、屋外閲覧所	629m ² 307m ²
高 松 図 書 館	高松町 3-22-5 TEL527-0015	49,236	指定管理者による運営	341m ² 285m ²
錦 図 書 館	錦町 3-12-25 TEL525-7231	71,838 (うち保存書庫 16,523)	指定管理者による運営	529m ² 327m ²
若 葉 図 書 館	若葉町 3-34-1 TEL535-8841	59,495	指定管理者による運営	351m ² 298m ²

②施設利用時間

ア 開館時間 ◆中央図書館 平日 午前10時～午後7時（4階児童書フロアは午後5時まで）
土・日・祝日 午前10時～午後5時

◆柴崎・上砂・多摩川図書館

午前10時～午後5時

◆幸・西砂・高松・錦・若葉図書館 平日 午前10時～午後7時

土・日・祝日 午前10時～午後5時

イ 休館日 ◆中央・柴崎・上砂・多摩川図書館

月曜日、第3木曜日、年末・年始、特別整理期間、中央図書館の法定電気設備点検日

（月曜日や第3木曜日が国民の祝日と重なった場合は開館し、翌平日が休館）

◆幸・西砂・高松・錦・若葉図書館

第2・第4月曜日、年末・年始、特別整理期間、中央図書館の法定電気設備点検日

（第2・第4月曜日が国民の祝日と重なった場合は開館し、翌平日が休館）



中央図書館ビジネス支援ライブラリー



中央図書館児童書コーナー

③平成25年度利用状況

区 分		中 央	柴 崎	上 砂	幸	西 砂	多摩川	高 松	錦	若 葉	計
貸出 冊数	開館日数	284	284	284	321	321	284	321	321	321	-
	一般図書	348,736	25,423	91,899	62,930	86,468	48,274	46,673	103,077	124,000	937,480
	児童図書	124,277	22,147	85,284	58,117	57,270	39,028	43,196	74,259	77,482	581,060
	視聴覚資料	76,402	372	11,328	1,961	11,214	4,913	984	13,283	15,392	135,849
	計	549,415	47,942	188,511	123,008	154,952	92,215	90,853	190,619	216,874	1,654,389
宅配・ 郵便送	一般図書	66	0	140	0	102	0	0	121	0	429
	点字図書	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	録音図書	3,056	0	240	0	64	0	27	87	0	3,474
計		3,125	0	380	0	166	0	27	208	0	3,906
貸出 総数	一般	348,805	25,423	92,039	62,930	86,570	48,274	46,673	103,198	124,000	937,912
	児童	124,277	22,147	85,284	58,117	57,270	39,028	43,196	74,259	77,482	581,060
	視聴覚資料	79,458	372	11,568	1,961	11,278	4,913	1,011	13,370	15,392	139,323
計		552,540	47,942	188,891	123,008	155,118	92,215	90,880	190,827	216,874	1,658,295
利用者 数	一般	200,782	11,530	37,102	28,878	34,765	19,892	20,698	45,473	52,085	451,205
	児童	15,256	2,505	10,282	7,445	6,183	5,387	4,824	8,560	11,232	71,674
	宅配・郵便送	1,758	0	40	0	56	34	13	35	0	1,936
計		217,796	14,035	47,424	36,323	41,004	25,313	25,535	54,068	63,317	524,815
登録 者数	一般	32,905	2,110	5,042	3,439	5,065	2,326	2,859	4,634	5,069	63,449
	児童	2,230	334	1,426	824	959	516	567	831	1,039	8,726
	計	35,135	2,444	6,468	4,263	6,024	2,842	3,426	5,465	6,108	72,175
レンタル	一般	2,511	159	195	164	139	76	346	376	208	4,174
	児童	277	35	49	74	82	41	69	120	45	792
	計	2,788	194	244	238	221	117	415	496	253	4,966
リク エ ス ト	一般	16,322	1,871	5,779	6,819	5,166	3,456	3,763	9,215	8,561	60,952
	児童	1,183	280	1,025	1,104	613	564	425	868	1,106	7,168
	コーナー 計	82,280	10,143	17,746	24,611	16,909	12,074	11,059	27,961	25,178	227,961
視聴 聴 D B 等	計	99,785	12,294	24,550	32,534	22,688	16,094	15,247	38,044	34,845	296,081
	視聴件数	4,371	-	-	-	-	-	-	-	-	4,371
	視聴人数	4,641	-	-	-	-	-	-	-	-	4,641
対 面	データベース等	486	-	-	-	-	-	-	-	-	486
	マイクプロフィールム	144	-	-	-	-	-	-	-	-	144
	計	630	-	-	-	-	-	-	-	-	630
イン ター ネ ット 端 末 件 数	件数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	時間	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	計	3,194	63	189	238	163	286	305	746	702	5,886

④蔵書冊数

区 分	中央	柴崎	上砂	幸	西砂	多摩川	高松	錦	若葉	計
一 般 図 書	363,536	14,340	42,584	11,631	31,025	54,447	26,216	44,670	35,033	623,482
児 童 図 書	96,740	12,395	29,810	11,661	22,530	20,895	20,709	21,214	20,004	255,958
計	460,276	26,735	72,394	23,292	53,555	75,342	46,925	65,884	55,037	879,440
外国語一般図書	7,062	0	0	0	0	4,317	0	0	0	11,379
外国語児童図書	4,349	0	2	0	0	0	0	0	0	4,351
計	11,411	0	2	0	0	4,317	0	0	0	15,730
点字一般図書	334	0	0	0	0	1,718	0	0	0	2,052
点字児童図書	40	0	0	0	0	489	0	0	0	529
計	374	0	0	0	0	2,207	0	0	0	2,581
合 計 (うち保存書庫)	472,061 (163,825)	26,735 (0)	72,396 (0)	23,292 (0)	53,555 (0)	81,866 (26,500)	46,925 (0)	65,884 (14,058)	55,037 (0)	897,751 (204,383)
雑 誌 (うち保存書庫)	9,595 (43)	491 (0)	2,184 (0)	443 (0)	1,592 (0)	1,528 (0)	1,570 (0)	1,096 (0)	1,329 (0)	19,828 (43)
点 字 F D	63	0	0	0	0	0	0	0	0	63
録 音 図 書	4,964	0	0	0	0	0	0	0	0	4,964
さわる絵本・布の絵本	90	0	0	0	0	0	0	0	0	90
紙 芝 居 (うち保存書庫)	1,151 (157)	262 (0)	568 (0)	214 (0)	484 (0)	436 (0)	466 (0)	386 (0)	291 (0)	4,258 (157)
視 聴 覚 資 料	19,880	0	3,007	0	2,744	2,303	0	4,471	2,838	35,243
カセットテープ	309	0	0	0	6	0	275	1	0	591
ビデオテープ	4,564	0	0	0	0	0	0	0	0	4,564
レーザーディスク	2,597	0	0	0	0	0	0	0	0	2,597
計	27,350 (0)	0 (0)	3,007 (0)	0 (0)	2,750 (0)	2,303 (0)	275 (0)	4,472 (2,465)	2,838 (0)	42,995 (2,465)
(うち保存書庫)										
総 計 (うち保存書庫)	515,274 (164,025)	27,488 (0)	78,155 (0)	23,949 (0)	58,381 (0)	86,133 (26,500)	49,236 (0)	71,838 (16,523)	59,495 (0)	969,949 (207,048)

*一般図書には一般大活字図書を含む。児童図書には児童大活字図書を含む。

*平成25年7月の図書館システム変更に伴い、従来の館名「保存」を廃止し、「保存書庫」として各館ごとにカウントするように変更した。(平成25年度末時点で、中央・多摩川・錦の3館に存在)

(2) 図書館サービス

①図書・視聴覚資料の貸し出し

図書の貸出冊数は1人10冊まで、カセットテープやCDの視聴覚資料は1人3点までで、貸出期間はいずれも2週間となっています。また、団体貸出は、1回300冊以内で、3か月間を限度として貸し出しを行います。なお、視聴覚資料については、中央・錦図書館でカセットテープとCDを、高松図書館でカセットテープを、上砂・西砂・多摩川・若葉図書館でCDをそれぞれ所蔵し、貸し出し及び他館取り寄せを行っています。また、中央図書館のビデオテープとレーザーディスクは館内での視聴のみで、貸し出しは行っていません。

②リクエストサービス

図書館では様々な分野の資料を用意していますが、利用者の求めている資料が書架にない場合には、希望に応じた資料を探し出し、提供するリクエストサービスを行っています。図書（雑誌含む）については、他の利用者が借りている資料は返却され次第、市内の他館に所蔵している場合は交換便で取り寄せて提供しています。また市内の図書館に所蔵していない場合は、購入もしくは都立図書館、他の区市町村の図書館等から借用して提供しています。なお、カセットテープ・CDについては市内図書館で所蔵しているものについてのみ受け付けています。

ア 平成25年度リクエストサービス受付件数

区 分	中央図書館	柴崎図書館	上砂図書館	幸図書館	西砂図書館
一 般	16,322	1,871	5,779	6,819	5,166
児 童	1,183	280	1,025	1,104	613
コンピュータ	82,280	10,143	17,746	24,611	16,909
計	99,785	12,294	24,550	32,534	22,688
区 分	多摩川図書館	高松図書館	錦図書館	若葉図書館	計
一 般	3,456	3,763	9,215	8,561	60,952
児 童	564	425	868	1,106	7,168
コンピュータ	12,074	11,059	27,961	25,178	227,961
計	16,094	15,247	38,044	34,845	296,081

③レファレンスサービス

利用者から寄せられる様々な質問に、各種の資料やデータベース、専門機関への問い合わせなど、図書館の機能をフルに活用して回答していくのがレファレンスサービスです。私たちの身近な暮らしに関わる質問、仕事に関する質問などにも対応しています。

質問は、各図書館に来館のほか電話やEメールでも受け付けています。その場で調べがつかない場合は、都立図書館や国会図書館に問い合わせて回答します。



中央図書館レファレンス室

ア 平成25年度レファレンスサービス件数

区 分	中央図書館	柴崎図書館	上砂図書館	幸図書館	西砂図書館
一 般	2,511	159	195	164	139
児 童	277	35	49	74	82
計	2,788	194	244	238	221
区 分	多摩川図書館	高松図書館	錦図書館	若葉図書館	計
一 般	76	346	376	208	4,174
児 童	41	69	120	45	792
計	117	415	496	253	4,966

④ハンディキャップサービス

視覚に障害を有する方など、図書館を利用するのに障害がある方を対象に、様々なハンディキャップサービスを行っています。サービス内容としては、本を音訳して、録音した録音図書や本を点字に置き換えた点字図書の貸出（郵送・宅配）のほか、こうした録音図書等の作成や、視覚に障害を有する方を対象に本の対面朗読サービスなどを行っています。また、録音図書や点字図書の作成については、講習会を開いて、図書館登録音訳者や点字者の養成に努めています。

ア 平成25年度ハンディキャップサービス利用件数

区 分	中央図書館	柴崎図書館	上砂図書館	幸図書館	西砂図書館
一般図書	66	0	140	0	102
録音図書	3,056	0	240	0	64
計	3,122	0	380	0	166
区 分	多摩川図書館	高松図書館	錦図書館	若葉図書館	計
一般図書	0	0	121	0	429
録音図書	0	27	87	0	3,474
計	0	27	208	0	3,903

⑤他市図書館との相互利用実施状況

利用者の利便性向上を図るために、平成26年2月5日より国立市図書館との相互利用サービスを開始しています。

ア 協定締結状況

協 定 締 結 市	国立市
協 定 締 結 日	平成25年12月25日
利 用 開 始 日	平成26年2月5日

イ 相互利用状況（2／5～3／31）

	国立市民→立川市	立川市民→国立市
利 用 登 録 者 数	402	113
貸 出 冊 数	2,024	954

ウ 本市図書館利用状況（2／5～3／31）

	中央図書館	柴崎図書館	上砂図書館	幸図書館	西砂図書館
利 用 登 録 者 数	354	4	0	1	1
貸 出 冊 数	1,721	11	1	6	4
	多摩川図書館	高松図書館	錦図書館	若葉図書館	合 計
利 用 登 録 者 数	3	3	31	5	402
貸 出 冊 数	15	48	198	20	2,024

（３） 図書館事業

①図書館全体事業

毎年、立川地域文庫連絡会と共催で、文庫まつりを開いているほか、子どもにとっての読書の大切さ、子どもへの読み聞かせの方法などの講演会や講座を開催しています。

ア 平成25年度講演会等開催状況

事 業 名	講 師	回 数	参加人数
講座「図書館使いこなし術」小学生編	図 書 館 職 員	1	9
講座「図書館使いこなし術」中学生編	図 書 館 職 員	1	4
講座「読み聞かせ入門」	図 書 館 職 員	1	25
子どもと本のボランティア研修	野 坂 悦 子	1	43
	笠 原 由 紀 子	1	48
	井 沢 尚 子	1	30
講演会「絵本の力 子どもたちに伝えたいこと～」	垂 石 眞 子	1	38
文庫まつり（昔話を楽しもう）	立川地域文庫連絡会と共催	1	26
文庫まつり（みんなあつまれ！おはなし会）		1	17
文庫まつり（極地に暮らす生き物たち）	國 分 互 彦	1	31
講座「本好きな子どもに育てるには」	笠 原 由 紀 子	1	87
	湯 沢 朱 実	1	
	浅 木 尚 実	1	
子ども読書活動推進関係者研修	浜 地 真 知 子	1	38
講座「図書館を利用した情報検索」	図 書 館 職 員	2	5
ビジネス支援セミナー 「創業支援セミナー」・「就活セミナー」 ・「図書館でビジネスを始めよう」	図 書 館 職 員 ・ 産 業 振 興 課 相 談 員	3	12

イ 平成25年度講習会等開催状況

事 業 名	講 師	回 数	参加人数
点 訳 者 ・ 音 訳 者 講 習 会	平 松 陽 子	1	43
デ イ ジ ー 講 習 会	NPO法人 DAISY TOKYO	3	26

②図書館別事業

ア 平成25年度地区図書館別事業開催状況

事業名	館名	回数	参加人数
定例おはなし会（対象 4歳～小学2年生）			
おはなし会	中央図書館	46	491
	柴崎図書館	11	52
	上砂図書館	39	517
	幸図書館	11	49
	西砂図書館	44	279
	多摩川図書館	35	183
	高松図書館	10	52
	錦図書館	46	471
	若葉図書館	58	633
	計	300	2,727
乳幼児のおはなし会（対象 0～3歳と保護者）			
おはなしパチパチ	中央図書館	22	482
おはなしだいすき	上砂図書館	23	210
さいわいおはなし会	幸図書館	12	203
おはなしでてこい	西砂図書館	11	192
おはなしわくわく	多摩川図書館	9	49
おはなしひろば	高松図書館	6	87
おはなしばすけっと	錦図書館	12	70
おはなしびよびよ	若葉図書館	24	177
	計	119	1,470
イベントおはなし会			
夏のおはなし会	中央図書館	1	22
冬のおはなし会		1	30
おおきい子のためのおはなし会		1	26
来館団体向けおはなし会		2	121
子ども読書の日 おはなしパチパチ	柴崎図書館	1	20
わくわくホリデーおはなし会		1	8
わくわくホリデーおはなしパチパチ		2	25
わくわくホリデーおはなし会		1	8
すわのもりおはなし会クリスマススペシャル	上砂図書館	1	8
クリスマスおはなし会		1	104
出張おはなしだいすき		3	40
わくわくホリデーおはなし会		1	4
わくわくホリデーおはなしだいすき	高松図書館	1	2
くわのみ学級おはなし会		2	35
子どもの読書週間おはなし会		1	18
夏休み大おはなし会		1	20
わくわくホリデーおはなし会	多摩川図書館	1	5
クリスマスおはなし会		1	98
冬のおはなし会		2	30
わくわくホリデーわくわくおはなし会		1	4
わくわくホリデーおはなし会	錦図書館	1	5
わくわくホリデーおはなし会		1	8
子どもの読書週間おはなし会		1	3
クリスマスおはなし会		1	21
クリスマス乳幼児向けおはなし会	若葉図書館	1	28
みどりのおはなし会		1	20
わくわくホリデーおはなし会		1	12
冬まつりおはなし会		1	53
子どもの読書週間おはなし会	上砂図書館	1	2
わくわくホリデーおはなし会		1	61
クリスマスおはなし会		1	54
クリスマスおはなし会 in さかえ会館		1	20
	計	38	915
映画会その他			
半日図書館員	中央図書館	1	3
	上砂図書館	1	2
	若葉図書館	1	3
夏の平和講座「絵本から考える 平和・被爆者の話」	柴崎図書館	1	11
講座「読む人権」		1	3
夏のおたのしみ会	上砂図書館	1	39
夏休み工作教室		1	36



お話し会

事業名	館名	回数	参加人数
夏休み映画会	多摩川図書館	1	75
本の探し方講座		1	3
たかまつ子どもまつり・人形劇	高松図書館	1	58
クリスマス映画会		1	80
じどうイベントの日	錦図書館	9	116
	計	20	429

③図書のリサイクル事業

図書館内で除籍した資料を公共施設や市民等に提供し、資料の有効活用を図っています。資料の内、児童書は主に保育園、学童保育所、学校などの公共施設に、一般書は市民に提供しています。

④小・中学校向け利用案内等

図書館では、児童サービスの向上を目指して、各地区図書館のサービスエリア内にある小学校に出向いて、新一年生を対象に利用案内を行っています。また、おすすめ図書リストを年3回作成し、全小・中学生に配布しています。

そのほか、小・中学校の教職員に対して、「図書館利用案内」と「お勧め新刊リスト」を作成し配布しています。

⑤小・中学校との連携

読書支援強化の一環として、全小学校へ月1回定期配送便を運行し、学級文庫向け図書や調べ学習用図書の団体貸出を行っています。

また、全中学校と連携し、本を紹介するPOP作りやPOPバトルを行うとともに、調べ学習支援のパスファインダーの作成や学校に出向いてのブックトークを実施するなど、連携強化、情報交換を進めています。

⑥職場体験（職場訪問含む）等

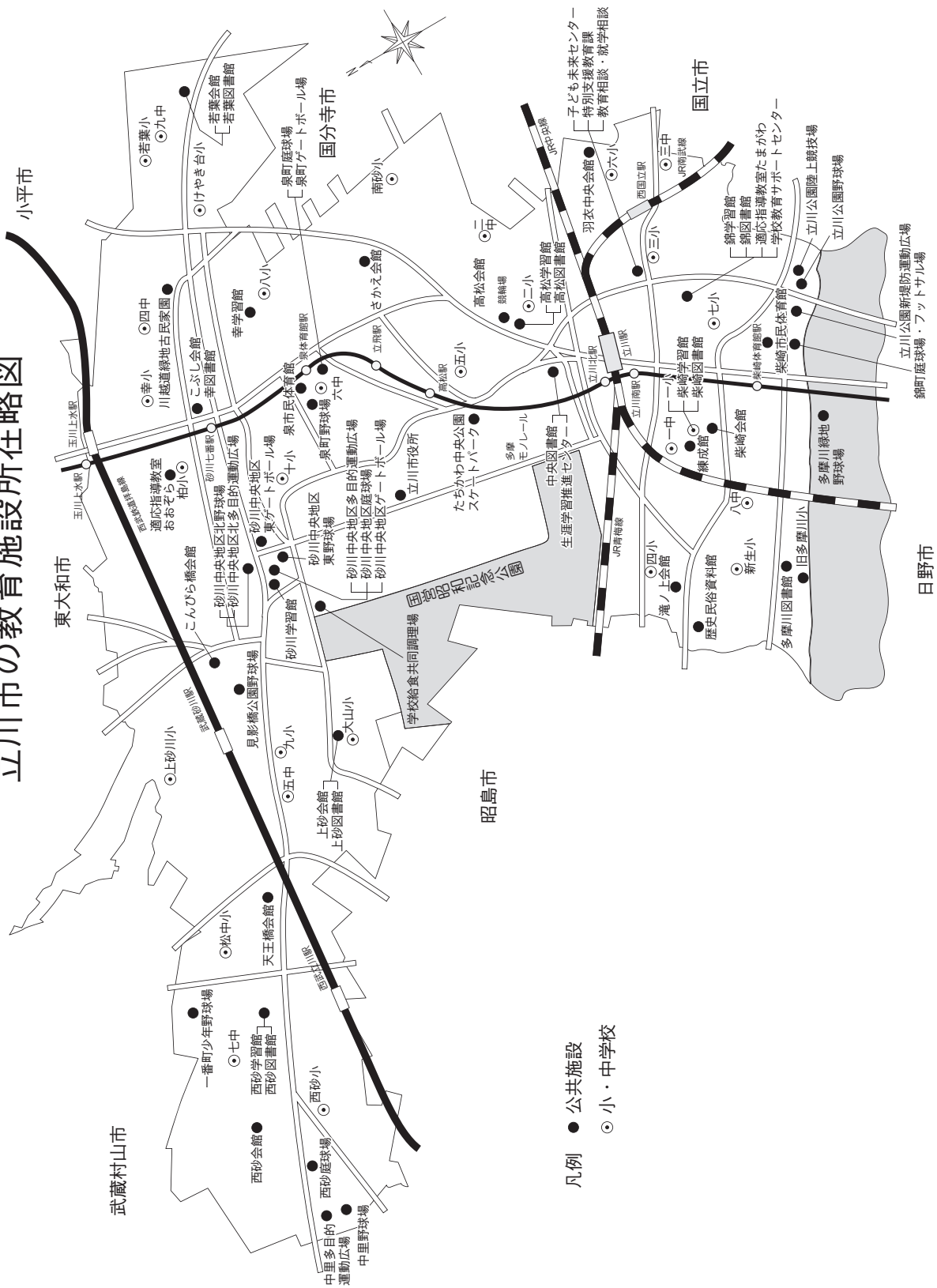
図書館では、小・中学校が進路学習の一環として行っている職場体験・職業体験を受け入れています。館内見学のほか、図書の配架や装備など、普段目に触れることの少ない図書館実務を体験してもらいます。

そのほか、小学校3年生の社会科見学など図書館訪問の受け入れも実施しています。

⑦図書ボランティア支援等

小学校等で読み聞かせを行っている保護者・図書ボランティアに対して、「読み聞かせ講座」や「本の修理講座」を開催するなど、ボランティアの技術向上を図るとともに連携、協働を進めています。

立川市の教育施設所在略図



立川の教育 平成26年度版（2014）

平成26年 8 月発行

編集・発行 立川市教育委員会

〒190-8666 立川市泉町1156-9

TEL042-523-2111 内線2464

この印刷物は、再生紙を使用しています。

